

第214図 一ノ板遺跡第IV次調査遺構全体図

で、壁柱穴を基本としている。切り合い関係から3時期を有するものと考えられる。

• HY 1『第214図、第215図』

〈平面形状〉

ほぼ東西方向を示すもので、南東部をHY 5によって切られている。現況での長さは、長軸方向が3.65m、短径4.20mを測る。

〈柱穴跡〉

風倒木壙のFY 3とFY 4によって破壊され、東壁直下に沿ったP 1～P 4の4本だけが確認された。直径が20cm前後で、深さが25cm～36cmをなし、内側に約60°の傾きを示している。

〈壁の状況〉

西側は不明であるが、東側は直角に近い立上りを示し67cmを測る。周溝は認められない。

〈覆土の状況〉

2～16の15枚の層序が確認されているが、HY 1に伴うものは7・9～11の4枚で、他はFY 3の風倒木壙によるものである。

〈炉跡〉

検出されなかった。

〈検出遺物〉

土器片92点、石器658点の計750点が覆土7・9及び床面から検出されている。土器はループ文を主体にしたI群土器と結束縄文を地文とするVII群土器を中心に突刺文のVI群土器が多くみられる。

• HY 2『第214図、第216図、第217図』

〈平面形状〉

長径7.1m、短径4.15mを有する長方形プランの竪穴住居跡で、南西部がHY 5によって切られている。

〈柱穴跡〉

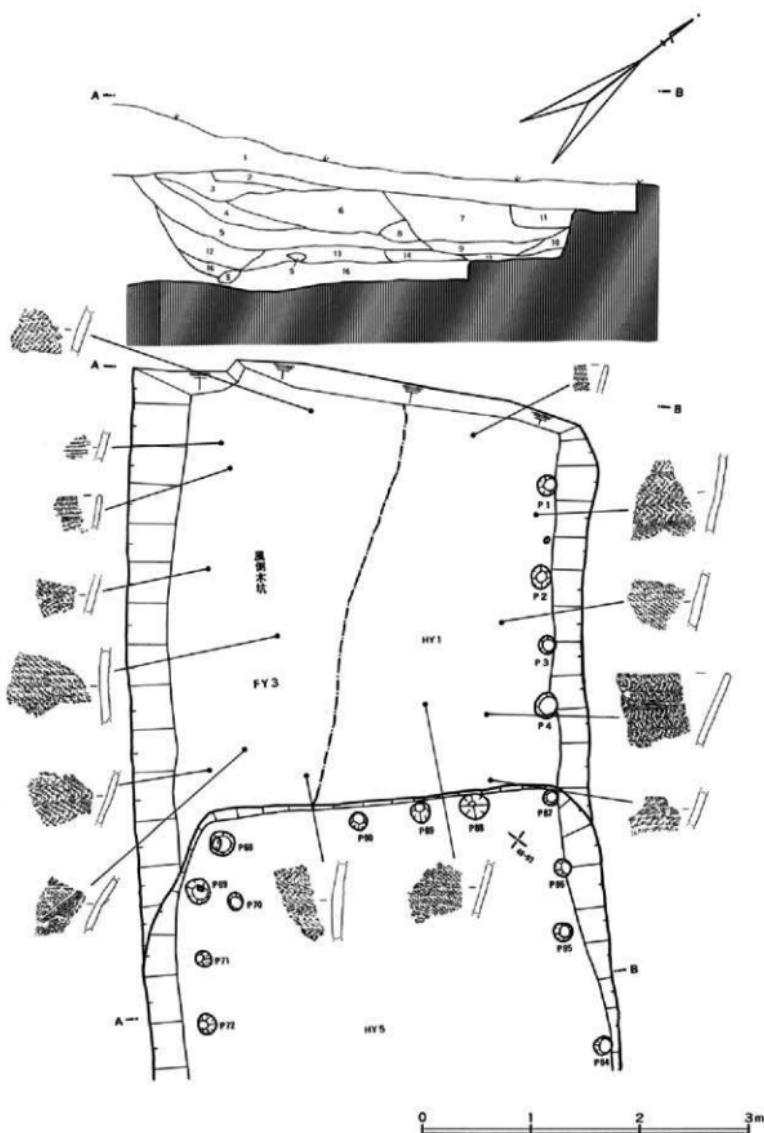
柱の間隔を30cm～35cmをなすもので、P 1～P 34の30本が壁直下で配置されている。柱の大きさはP 35の30cmを除けば15cm～20cm前後で、深さも40cm位と一定している。柱の傾きは、65°～78°を示している。

〈壁の状況〉

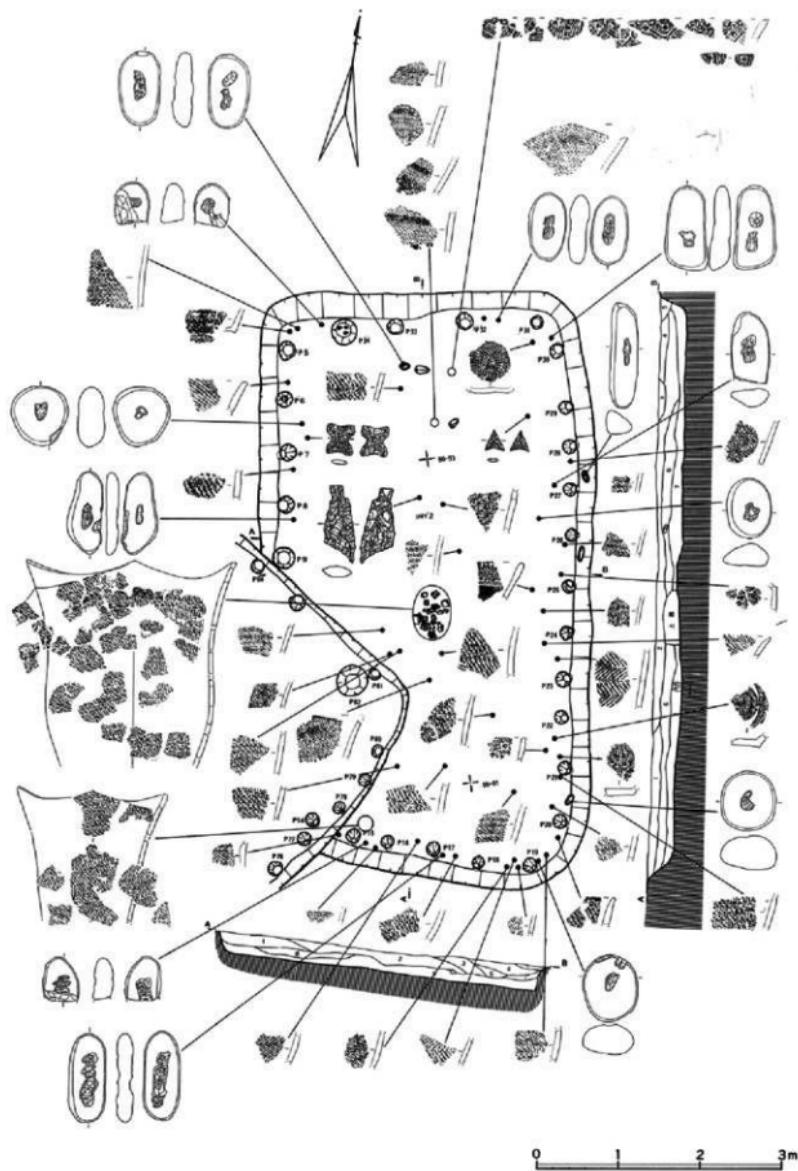
ほぼ直角で、若干南側が緩やかな立上りを呈し、確認面の深さは29cm～34cmと一定している。周溝は認められない。

〈覆土の状況〉

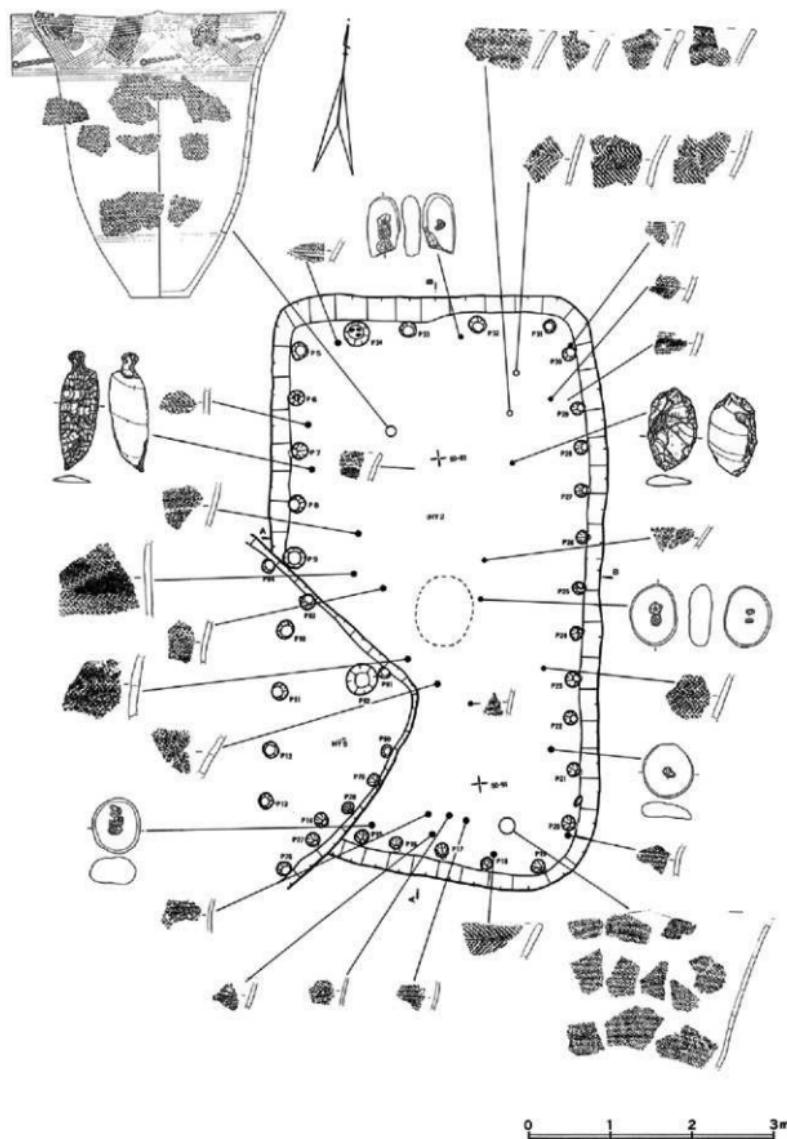
覆土は7枚確認された。1層から4層は廃絶後に堆積した層で、暗褐色土でサラサラしてお



第215図 一ノ坂遺跡第1次調査HY 1平面図



第216図 一ノ坂遺跡第IV次調査HHY 2床面上平面図



第217図 一ノ坂遺跡第Ⅳ次調査HY 2床面平面図

り、5層～8層は暗褐色で焼土を含んでいる。8・9層は意図的に敷いた感じを受け、9層の上部と床面に集中的に炭化物と遺物が認められている。

〈炉跡〉

床面のほぼ中央部に約50cm×70cmの範囲で焼けた痕跡が見られた。

〈検出遺物〉

一括土器2点を含む土器片556点、石匙・石鎌等の分類石器が26点、フレーク・チップ等の剥片178点、それに礫器16点の計776点が検出されている。この中で、土器片は、ループ分を主体とするI群土器を中心に、単節縄文のII群土器、羽状縄文を施すIII群土器の他、結束縄文を有するVII群土器がみられた。

- HY 3 『第214図、第218図』

〈平面形状〉

主軸方向を東西に向く長方形プランの住居跡で、南側に位置するHY 5を切って構築している。規模は、東側が調査区外であるために明確にできなかったが、長径が約7m、短径は3.45mであった。

〈柱穴跡〉

確認した範囲のP35～P47の13本で、30cm～50cmの間隔で配置されている。柱穴の大きさは、18cm前後を有し、南側で40cm～50cm、西側が20cm～40cmの深さをもつ。柱の傾きは、67°～79°を示していた。

〈壁の状況〉

西側が53cmで緩やかにたちあがり、南側が41cmではほぼ直角に立ち上がる。周溝は存在しない。

〈覆土の状況〉

覆土は自然堆積で6枚からなっている。床面に近い5・6層を中心に遺物を多く含んでいる。

〈炉跡〉

中央に近い箇所に若干の焼土が認められるが炉跡に属するものではない。

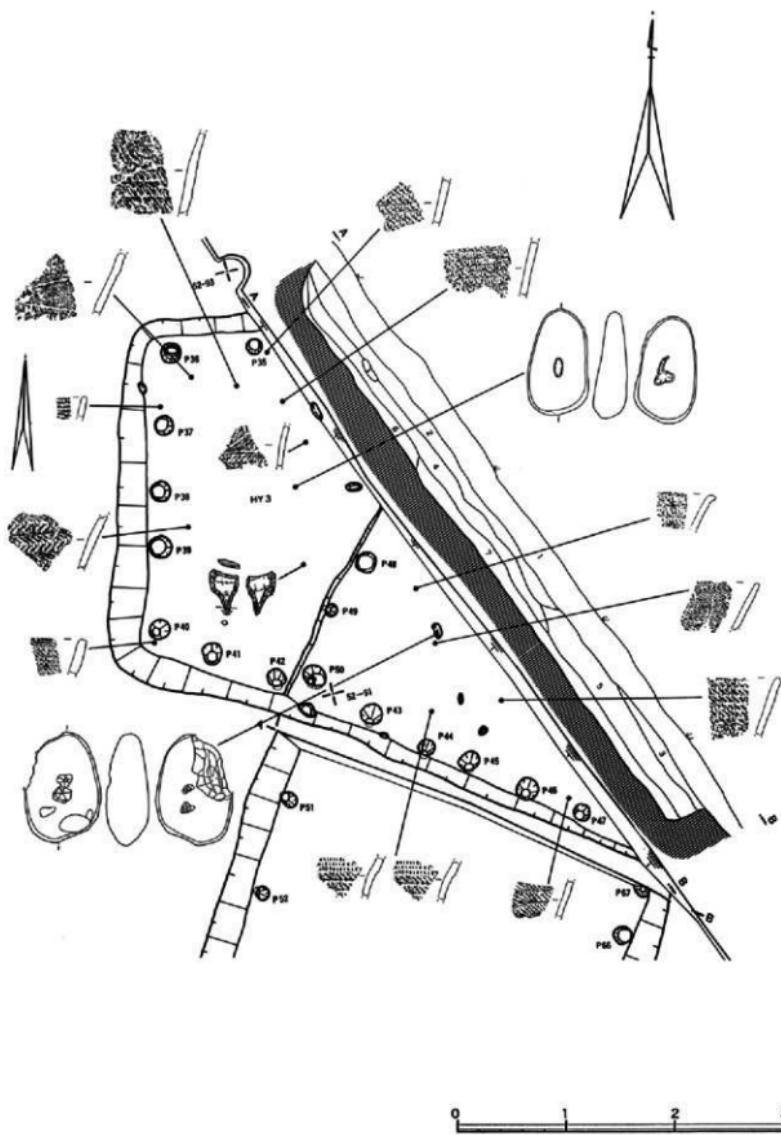
〈検出遺物〉

土器片332点、分類石器が17点、凹石2点、それに剥片が251点の計602点が認められている。土器の殆どは、ループ文のI群土器を主体としている。

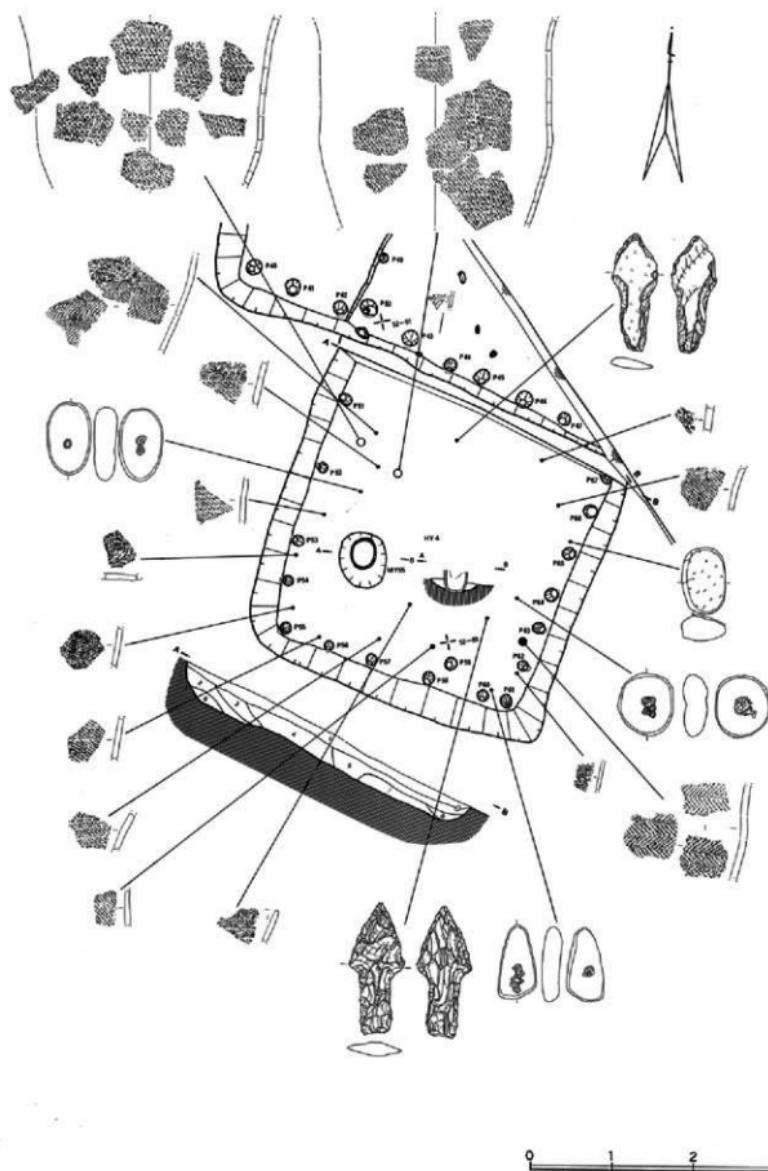
- HY 4 『第214図、第219図』

〈平面形状〉

主軸長が南北を示す長方形プランの住居跡で、北端の部分が未調査となっている。HY 3に切られているが、壁が深いことから比較的明瞭に確認することができた。現長の長さは6.9m、幅が3.75mをなす。南東寄りに縄文後期初頭の埋設土器が存在する。



第218図 一ノ坂遺跡第IV次調査HY3平面図



第219図 一ノ坂遺跡第IV次調査H HY 4平面図

〈柱穴跡〉

柱穴は、P 48～P 67までの19本を確認した。柱の間隔は、東側で20cm～30cm西側が40前後と西側がやや広いのが特徴である。柱の深さは、P 52が62cmと最も深く、平均でも50cmと深い。柱の傾きは、住居側に対し61°～82°を示していた。

〈壁の状況〉

全体的に緩やかで、西側が44cm、東で35cm、南側で42cmを測る。

〈覆土の状況〉

覆土は8枚で、東西側からの堆積状況を示している。

〈炉 跡〉

認められなかった。

〈検出遺物〉

土器片335点、分類石器14点、剥片類が169点に凹石等の礫器が4点の総数522点が覆土の6層を中心として出土している。この中で第Ⅳ群石器の石鋸1点と第Ⅲ群石器の両尖匕首1点が注目される。土器は、I群土器を中心にⅢ群・Ⅳ群・Ⅴ群土器が含まれている。

• HY 5 『第214図、第220図』

〈平面形状〉

HY 1の住居跡に重なるように確認された。長方形プランをなす長径5.25m、短径4.28mを測る。

〈柱穴跡〉

P 68～P 90までの23本で構成している。柱間の間隔は東西左右が50cm～100cm、南北が20cm～40cmと主軸方向が幅を保っている。柱穴の状況は住居側に対し、63°～80°の傾きをなしており、深さは48cm、大きさは21cmが平均的な数字である。

〈壁の状況〉

段丘寄りは緩やかであるが、他は直角に近く、西側で72cmと深くなっているが東及び南北に関しては40cm前後であった。

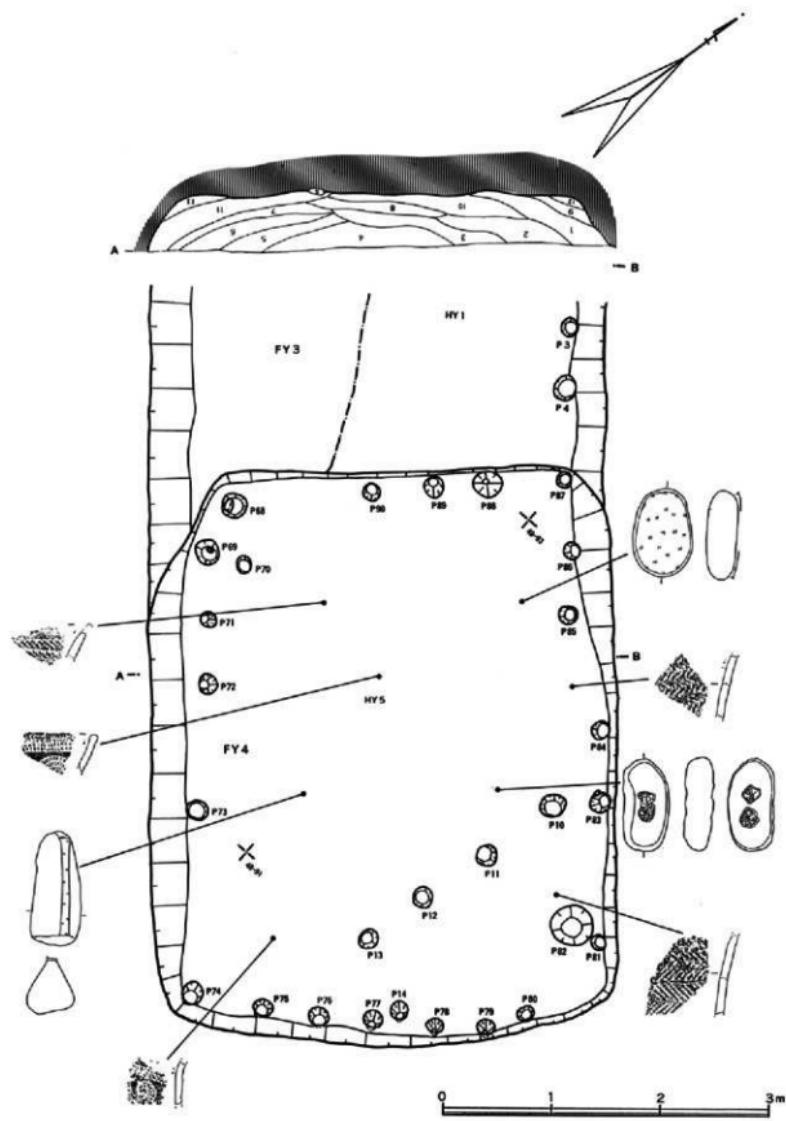
〈覆土の状況〉

住居内部の覆土は、13枚で東西方向から交互の堆積状況より、自然堆積とみられる。遺物は10層～13層を中心に認められた。

〈炉 跡〉

中央やや南よりに若干の焼けた痕跡が認められたが炉跡としては成立しないものと考えられる。

〈検出遺物〉



第220図 一ノ坂遺跡第Ⅳ次調査H-HY 5平面図

土器片が25点と凹石・磨石類が3点、石器としては、石鏃1点と剥片65点の計94点が認められたにすぎない。

III 検出された遺物

今回の調査で検出された遺物は、東調査区を中心にして3,463点検出されている。ここでは、土器と石器に大別しその概要を述べることにする。

1) 出土土器『第221図～第224図、第226図～第230図』

土器は、堅穴住居跡の出土の1,340点と遺構外出土の334点を合わせ計1,674点が検出されている。いずれも磨滅が著しく、文様の判別される土器としては僅かであった。153点を選別して以下、第1次調査の分類に従って簡単に説明を加える。

2) 出土土器の分類

第IV次調査出土の土器には次の8群、16類が含まれる。

〈I群土器〉 ループ文を地文として構成するもの。

- I群a 1類=ループ文を全面に施すもの。

『第221図-1・3・5・6・12・13、第222図-6～9・11～16、第224図-1～19、121図版-13、127図版-90・91、第226図-8～10・12・13～18、第228図-4・3・7・10・13、第229図-7・15～20・22、128図版-106・118、第230図-1・4、第227図-2』

- I群a 2類=ループ文を羽状に施すもの。

『第221図-2・21』

- I群b類=ループ文を地文とし、無文帶の区画文様を構成するもの。

『第121図-2第222図-2～5・20、第51図、第228図-5、第229図-12～15』

- I群c 1類=ループ文を地文とし、沈線文を主体に文様を構成するもの。

『第121図-17・18・21～24、第226図-6、第228図-1』

- I群c 2類=ループ文を地文とし、コンバス文を主体に文様を構成するもの。

『第222図-10』

- I群d類=ループ文を地文とし、竹管文を主体に文様を構成するもの。

『第221図-14・19、第51図』

- I群e類=ループ文を地文とし、突刺文を主体に文様を構成するもの。

『第222図-10、128図版-110』

〈II群土器〉 単節繩文を地文として構成するもの。

- ・Ⅱ群a類=単節縄文を全面に施すもの。

『第221図-1次番, 第223図-16~23・25, 第228図-11, 第230図-7・8』

- ・Ⅱ群e類=ループ文を地文とし、突刺文を主体に文様を構成するもの。

『第223図-26』

〈Ⅲ群土器〉 羽状縄文を地文として構成するもの。

- ・Ⅲ群a1類=羽状縄文を全面に施すもの。

『第228図-5・8・11, 第229図-6』

- ・Ⅲ群a2類=羽状縄文を菱状に配して構成するもの。

『第223図-8~15』

〈Ⅳ群土器〉 無節縄文を地文として構成するもの。

『第228図-2, 第228図-12』

〈Ⅴ群土器〉 複節縄文を地文として構成するもの。

『第229図-21』

〈Ⅵ群土器〉 組紐縄文を地文として構成するもの。

『第227図-3』

〈Ⅶ群土器〉 結束縄文を地文として構成するもの。

『第221図-7~10, 第223図-1~5, 第223図-6・7, 第224図-20~22, 第227図-1, 第226

図-19第229図-8, 第230図-6, 第230図-5』

〈Ⅷ群土器〉 土器の部分片を一括したもので、沈線文・突刺文・竹管文等で文様を構成するものを本群とした。この中には地文を有するものも含まれるものと考えられる。

- ・Ⅷ群a類=コンバス文を主体としたもの。

『第222図-1』

- ・Ⅷ群b類=竹管文を主体としたもの。

『第221図-13, 第223図-28, 第229図-5・6, 第230図-9』

- ・Ⅷ群c類=突刺文を主体としたもの。

『第221図-11・12, 第223図-24・27, 第226図-7, 128図版-116』

- ・Ⅷ群d類=沈線文・竹管文・突刺文等の組み合わせを主体としたもの。『第221図-15』

- ・Ⅷ群e類=貼付文を主体としたもの。

『第222図-1』

以上、出土土器の詳細は下記の第25表を参照。

3) 出土石器

第Ⅳ次調査出土の石器は、堅穴住居跡の出土の1,388点と遺構外出土の401点を合わせ計1,789点が検出されている。いずれも磨滅が著しく、文様の判別される土器としては僅かであった。

4) 出土石器の分類

分類石器は、I群石器20点、II群石器59点、III群石器9点、IV群石器13点、V群石器12点、VI群石器4点、VII群石器3点、K群石器1点、X群石器1点の合計122点が出土した。VII群石器の出土はなし。これらの石器について8点を作図、他は写真図版で示した。分類・細別については、第Ⅰ次調査に準じ「第26表一ノ坂遺跡第Ⅳ次調査出土石器計測観察表」を作成した。

〈I群石器〉

石鎚に分類したもので、完成石器3点、未完成品は17点。

〈II群石器〉

石匙に分類したもので、完成石器は21点認められる。

〈III群石器〉

両尖匕首に分類したもので、全て未完成品で占められる。第Ⅰ段階～第Ⅴ段階の石器群であり、破損面を有す形態のIII群Ib類に細類される。出土地区をみると住居跡が5点、住居外が2点、第Ⅲ次調査区・表採が各1点であった。

〈IV群石器〉

石鋸に分類したもので、完成直前の2点を除き、大半が未完成品である。出土地区は住居跡9点、住居外3点、第Ⅲ次調査区1点であった。

〈V群石器〉

石錐に分類したもので、2形態が出土している。住居跡から7点、住居外から5点の出土。

〈VI群石器〉

石籠に分類したもので、未完成の形態を有す。

〈VII群石器〉

搔器に分類したもので、2形態出土しており、使用痕を有すものが1点認められる。

〈K群石器〉

磨製石器に分類したもので、基部集辺の破損がある。石材は綠泥片岩を使用。

〈X群石器〉

石製品を一括して本類とする。第Ⅳ次調査区からはX群b類に細類した形態が出土している。石材は黒曜石を使用。

5) 磺 器

凹石28点、磨石3点の合計31点が出土。住居跡からの出土が大半であった。

第25表一ノ坂第IV次調査出土礪器分類計測表を参照。

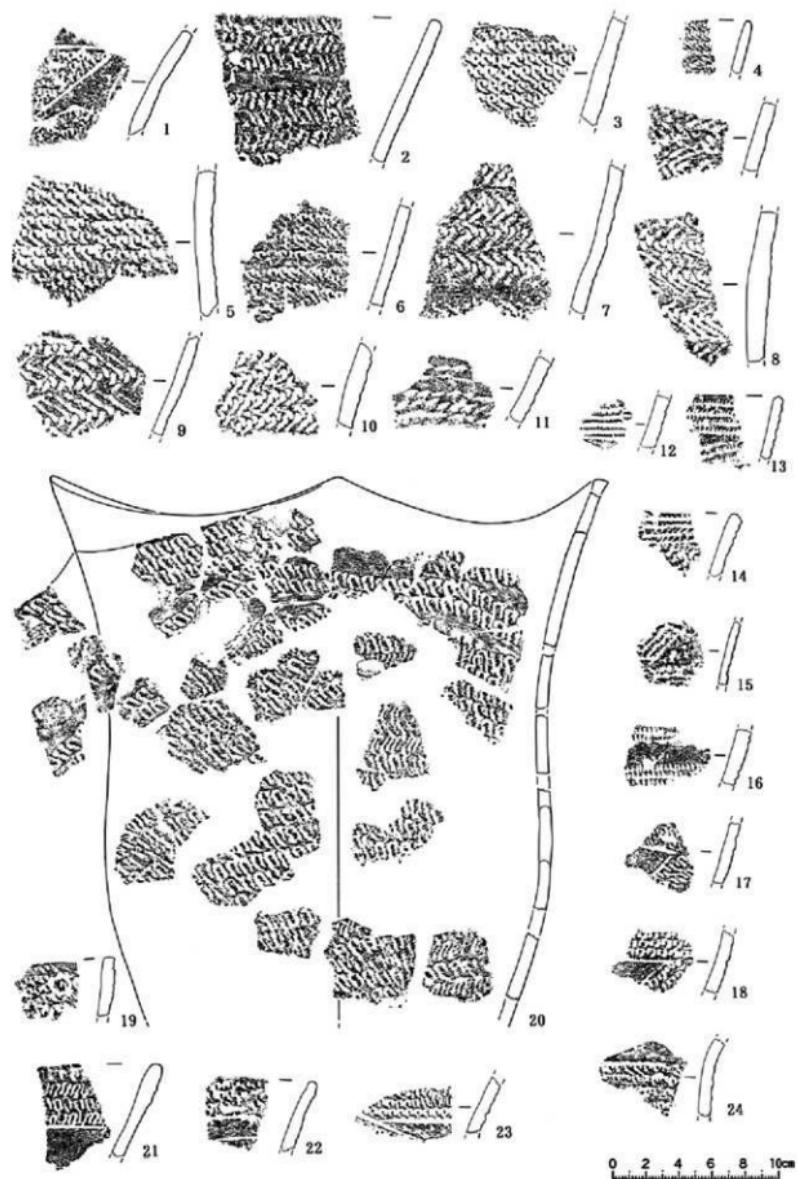
VI 要 約

今回の調査では、小規模な竪穴群が5棟確認されている。しかも、重複した住居の検討では3時期に亘ることが判明しており、列挙すればI期がHY1の1棟、II期がHY2・HY4の2棟、III期がHY3・HY5の2棟で、短期間に建て替えられていることが判る。しかも、住居内からの出土土器を見るだけでは、年代的な相違は認められず、大型住居跡とも同様である。

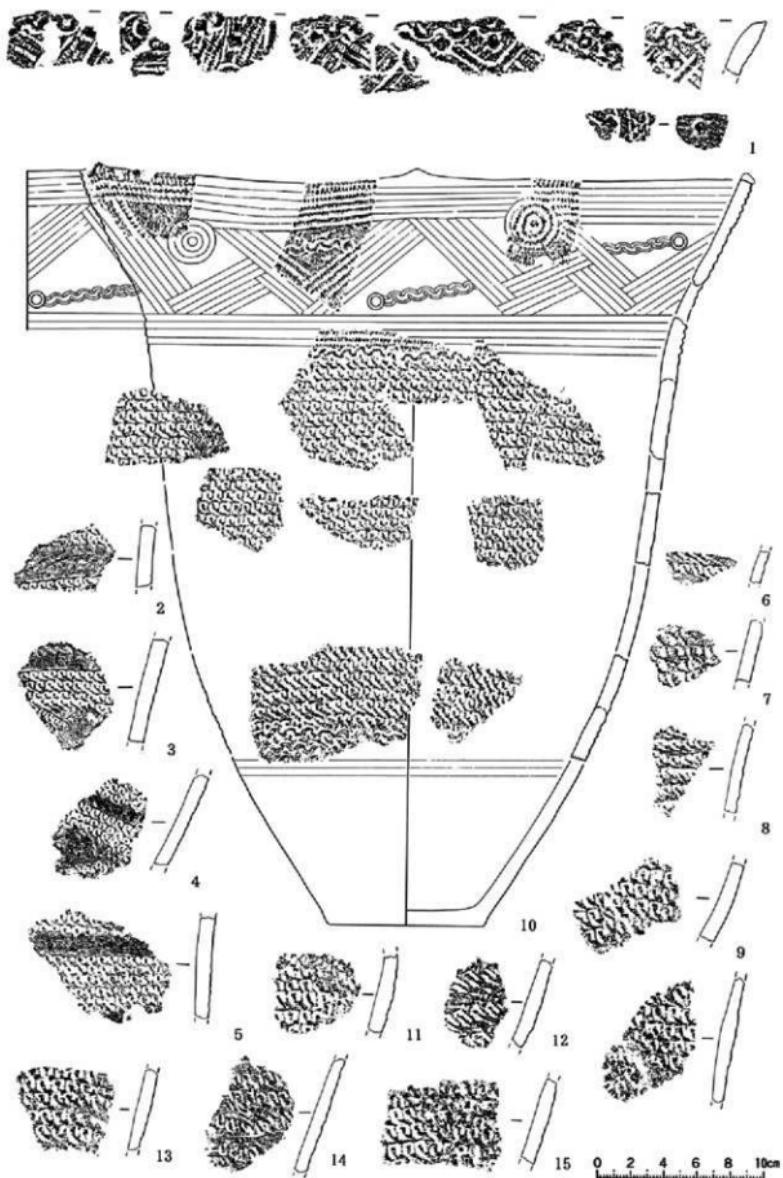
縄文前期初頭の竪穴住居は、米沢市では万世町桿山地内の法将寺遺跡で3棟、大字松原地内の松原遺跡で1棟、大字諸仏地内の大壇遺跡で1棟の3遺跡、計5棟の発見例がある。

いずれも壁柱穴で長方形プランを示し、炉は浅い地床炉もしくは認められないもので、今回の住居跡と共通している。遺物も極端に少なく、この時期の特徴ともいえる。

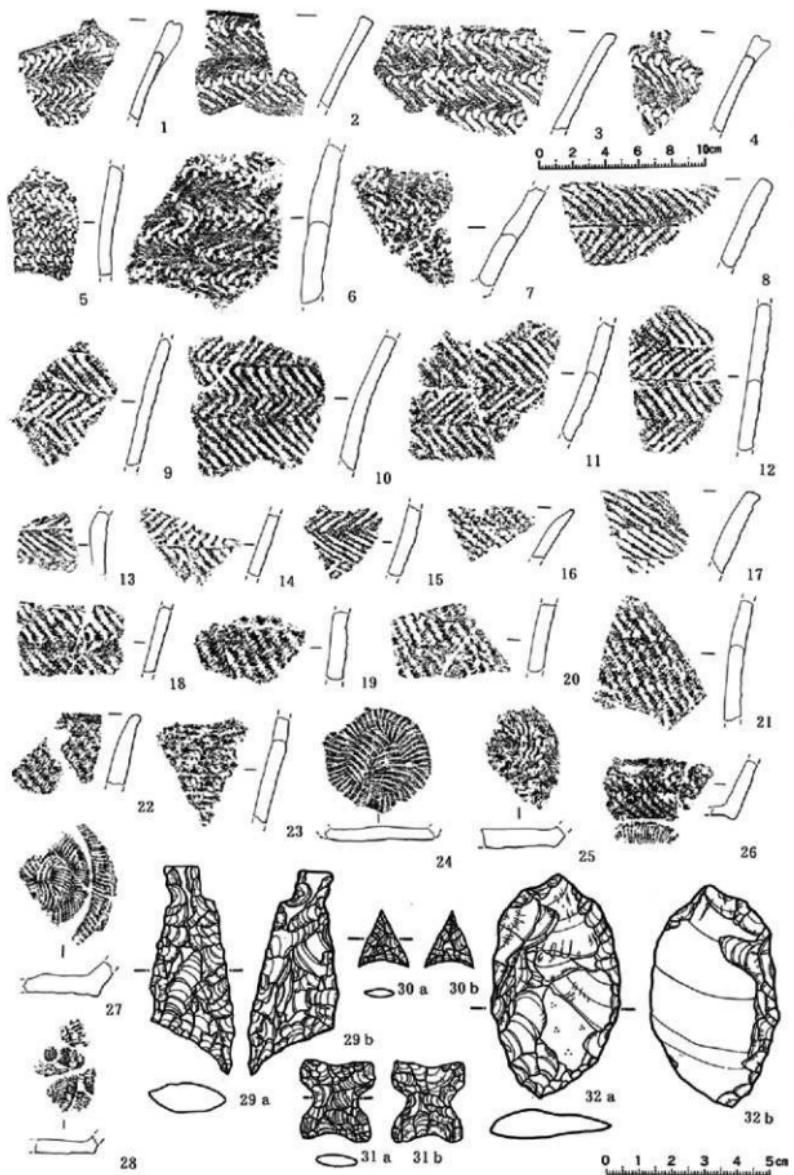
問題は、大型住居跡と小規模住居跡の関連であるが、この点は総括の中で詳しく触れることにしたい。



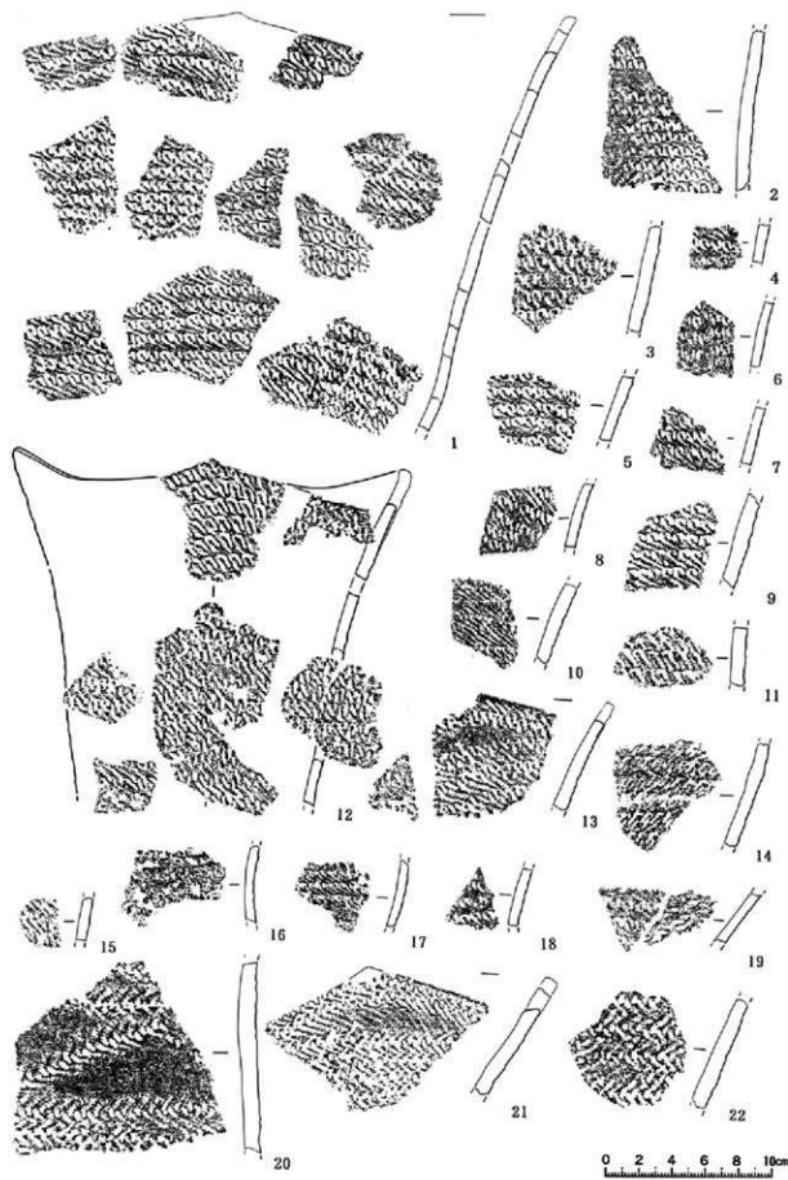
第221図 一ノ坂遺跡第Ⅳ次調査出土土器拓影・石器実測図(1)



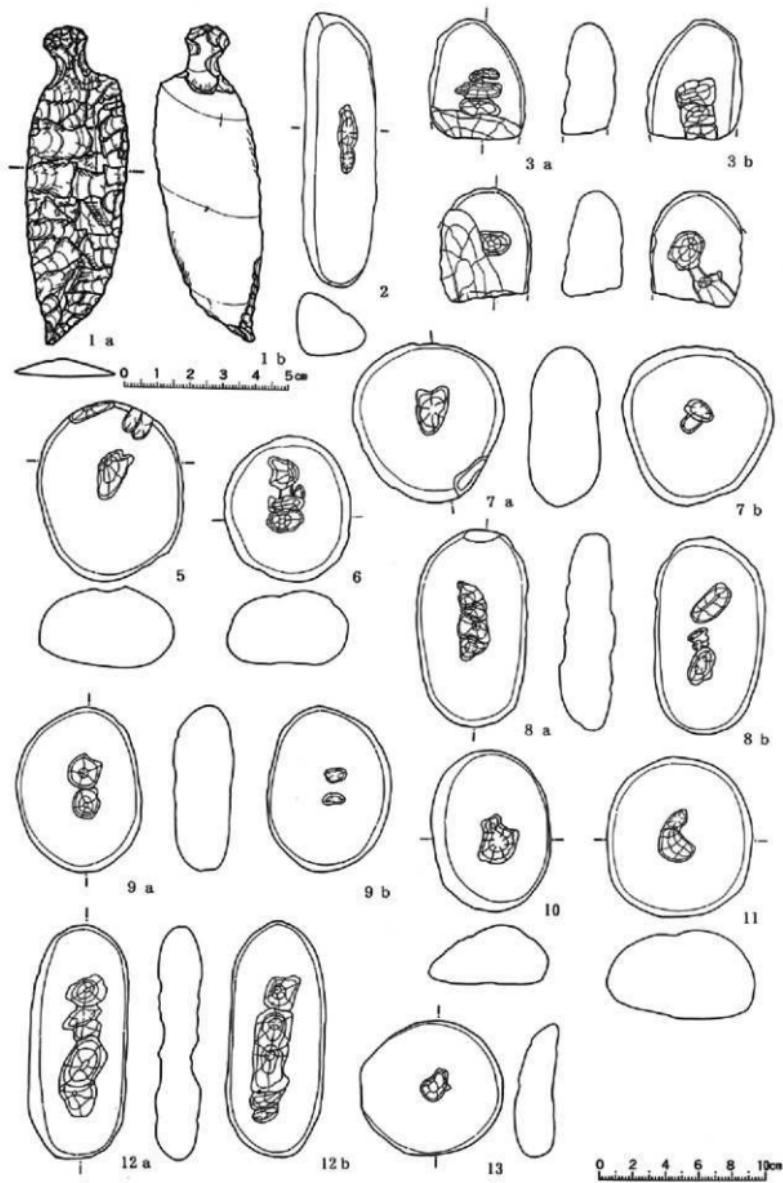
第222図 一ノ坂遺跡第IV次調査出土土器拓影・石器実測図(2)



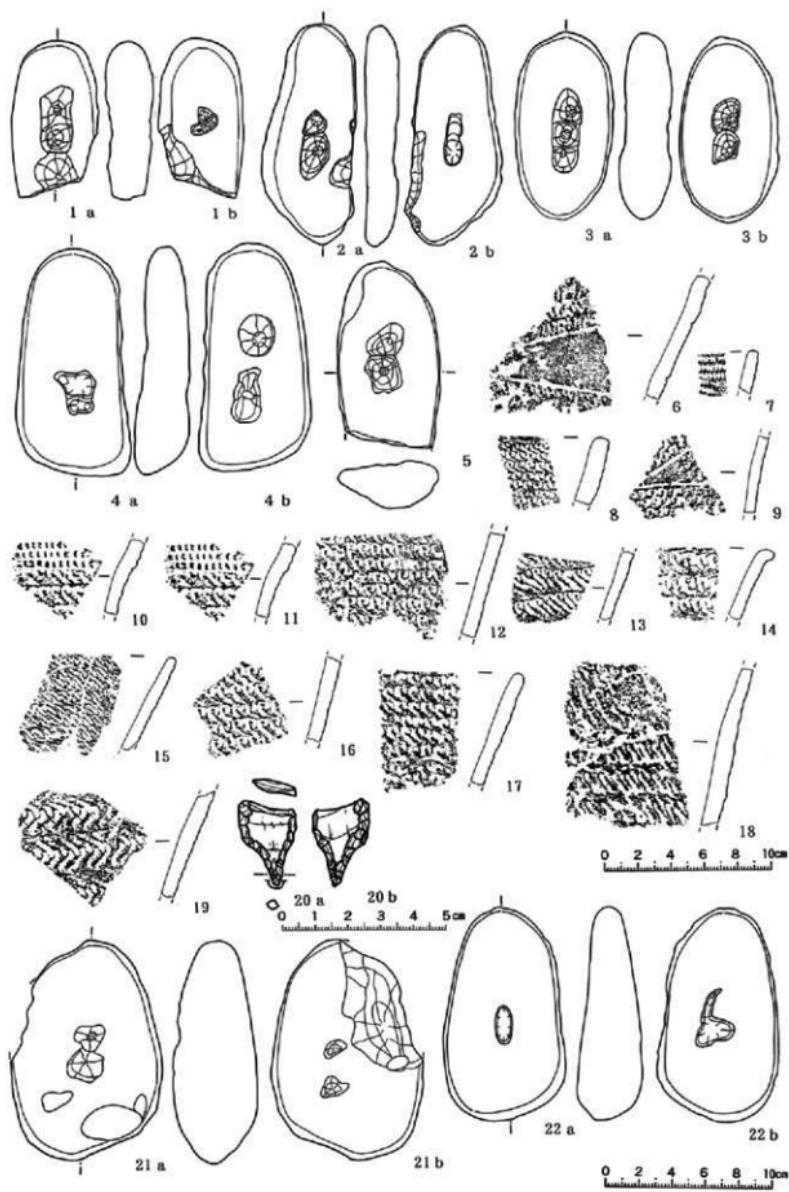
第223図 一ノ坂遺跡第IV次調査出土土器拓影・石器実測図(3)



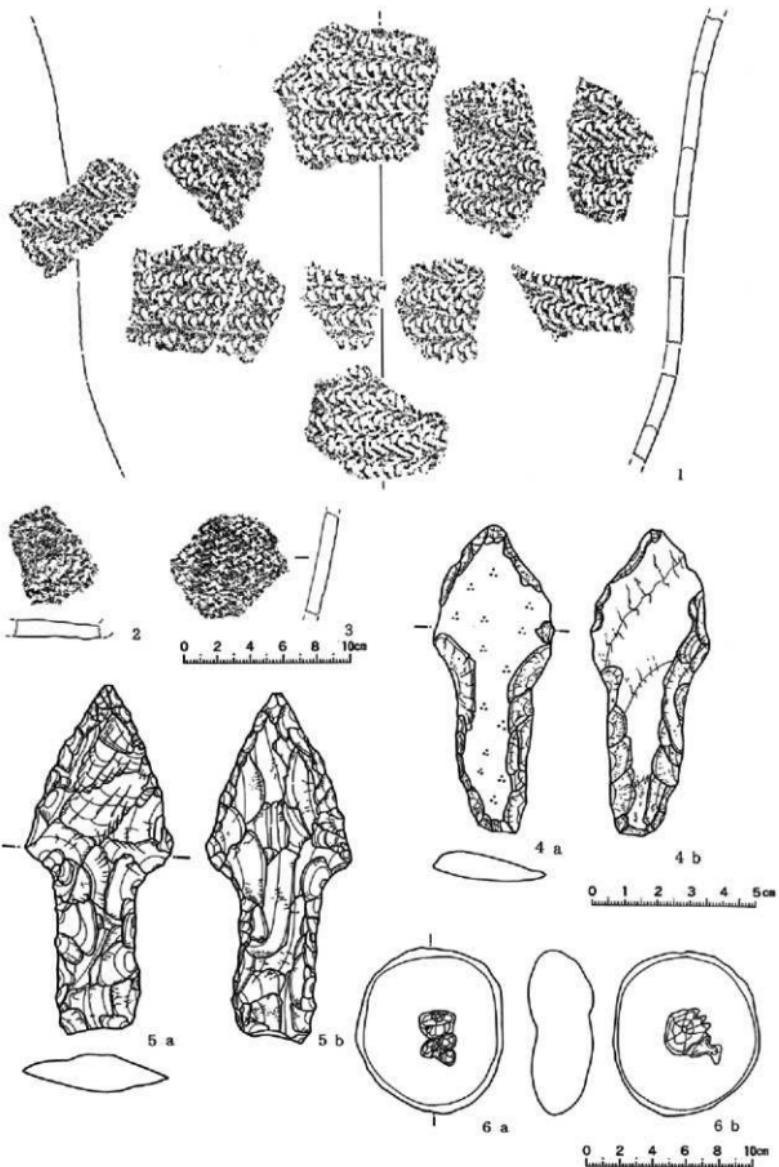
第224図 一ノ坂遺跡第17次調査出土土器拓影・石器実測図(4)



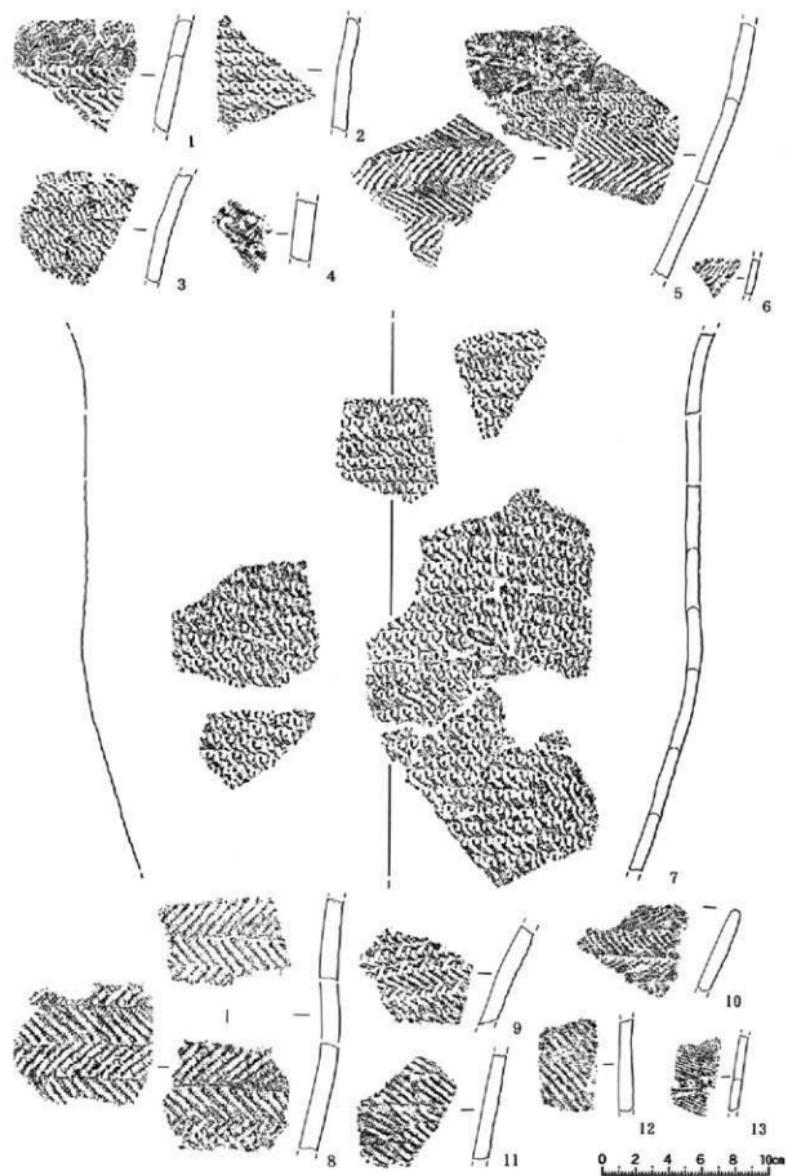
第225図 一ノ坂遺跡第IV次調査出土土器拓影・石器実測図(5)



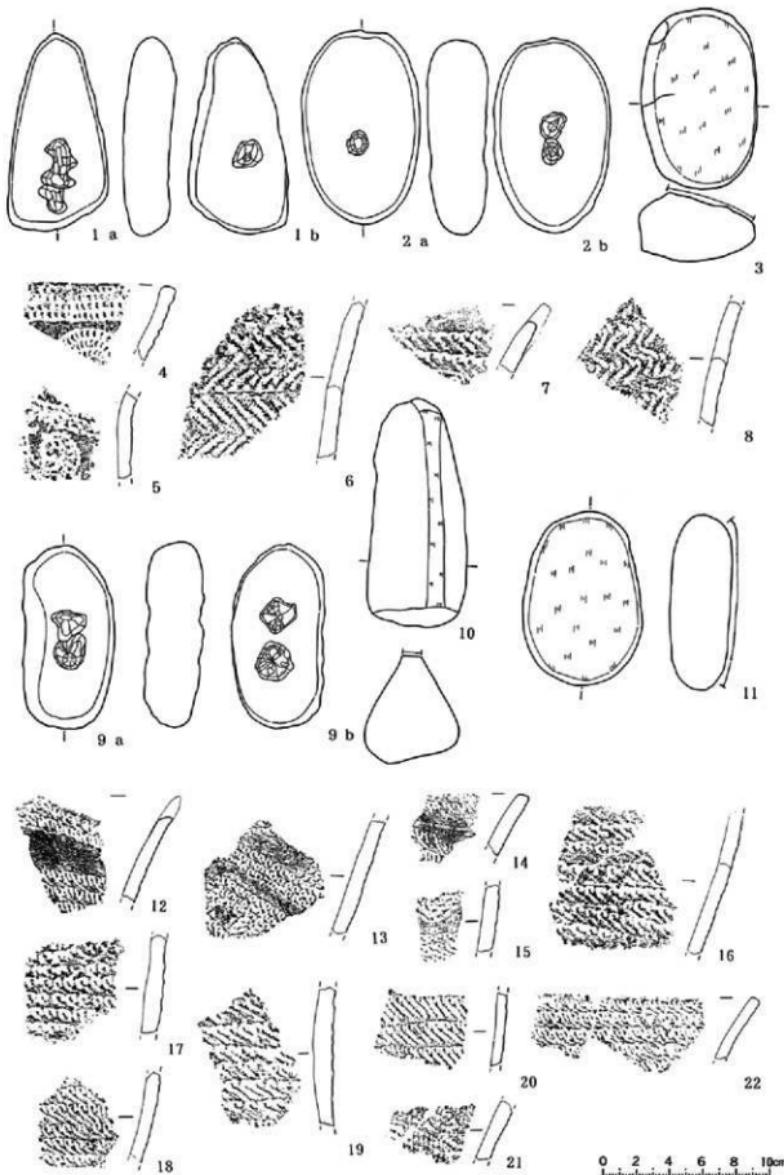
第226図 一ノ坂遺跡第IV次調査出土土器拓影・石器実測図(6)



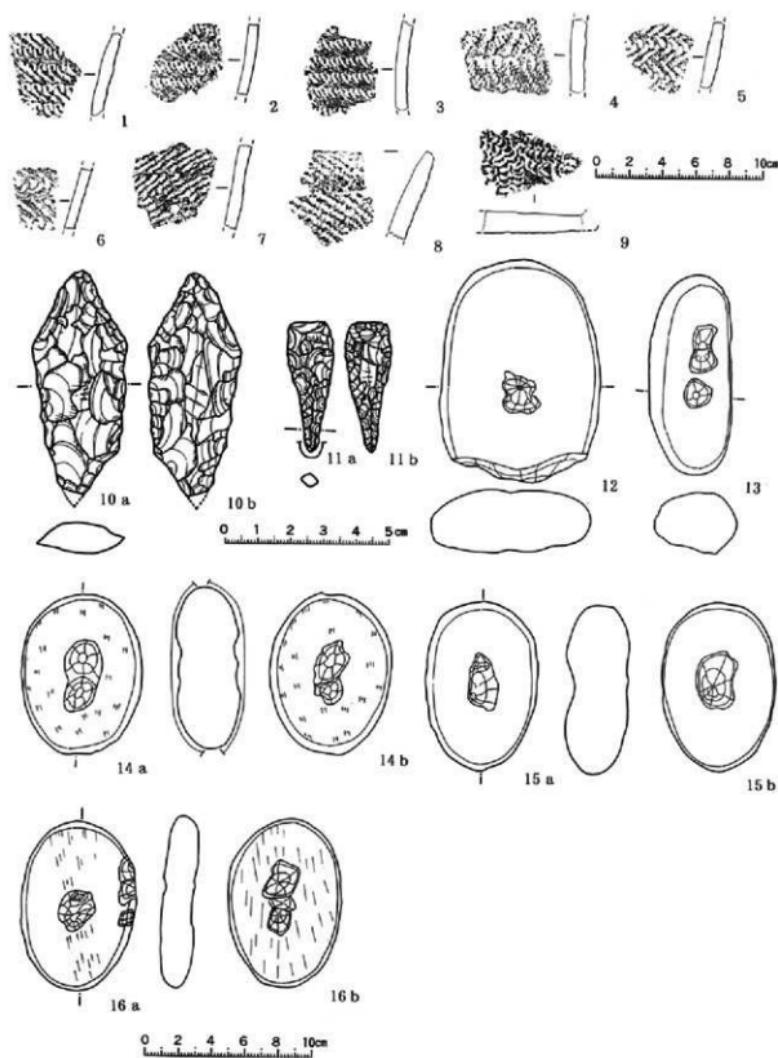
第227図 一ノ坂遺跡第Ⅳ次調査出土土器拓影・石器実測図(7)



第228図 一ノ坂遺跡第IV次調査出土土器拓影・石器実測図(8)



第229図 一ノ坂遺跡第IV次調査出土土器拓影・石器実測図(9)



第230図 一ノ坂遺跡第IV次調査出土土器拓影・石器実測図(10)

第25表 一ノ坂遺跡第N次調査出土土器観察表

通し No	団体No	牌印No	出土地区	群	体 部	施文手法	文様構成	内面調整	分類	
1	121回版-	1	第221回- 1	HY1	深鉢形	胴上部	ループA類・沈文A	ミガキ横・継	I群a'類	
2	121回版-	2	第221回- 2	HY1	深鉢形D	口縁部	ループ類Cによる羽状施文	I b 文様等	I a ² ・I b	
3	121回版-	3	第221回- 5	HY1	深鉢形	胴 部	ループB類	ナデ横+ミガキ横・継	I群a'類	
4	121回版-	4	第221回- 3	HY1	深鉢形	胴 部	ループC類	ナデ横	I群a'類	
5	121回版-	5	第221回- 6	HY1	深鉢形	胴 部	ループC類	ミガキ横・継	I群a'類	
6	121回版-	6	第221回- 7	HY1	深鉢形	胴上部	結束繩文B	ナデ横・斜+ミガキ横	Ⅵ群土器	
7	121回版-	7	第221回- 8	HY1	深鉢形	胴 部	結束繩文B	ナデ横	Ⅵ群土器	
8	121回版-	8	第221回- 9	HY1	深鉢形	胴 部	結束繩文B	ナデ横+ミガキ横	Ⅵ群土器	
9	121回版-	9	第221回- 10	HY1	深鉢形	胴 部	結束繩文B	ナデ・ミガキ横	Ⅵ群土器	
10	121回版-	10	第221回- 11	HY1	深鉢形	胴上部	突刺文A	マメツ不明	Ⅶ群c類	
11	121回版-	11	第221回- 長矢	HY1	深鉢形	胴 部	半周繩文B ²	ミガキ横	II群a類	
12	121回版-	12	第221回- 4	HY4	深鉢形 I	口縁部	ループC類		I群- I類	
13	121回版-	13	—	HY2	深鉢形	胴 部	ループC類		I群a'類	
14	121回版-	14	第221回- 21	HY2	深鉢形 A	口縁部	ループ類Cによる羽状施文と沈文B	ミガキ横+ナデ横	I a ² ・I c	
15	121回版-	15	第221回- 13	HY2	深鉢形 A	口縁部	竹管文C	ミガキ横	Ⅵ群b類	
16	121回版-	16	第221回- 15	HY2	深鉢形	胴上部	突刺文C	ミガキ横	Ⅶ群d類	
17	121回版-	17	第221回- 14	HY2	深鉢形 D	口縁部	竹管文C	ミガキ横	Ⅶ群d類	
18	121回版-	18	第221回- 16	HY2	深鉢形	胴上部	竹管文D	ミガキ横	Ⅶ群b類	
19	121回版-	19	第221回- 18	HY2	深鉢形	胴 部	ループA類+沈文A	ミガキ横	I群c'類	
20	121回版-	20	第221回- 22	HY2	深鉢形 I	口縁部	ループB類+沈文A	ミガキ横・継	I群c'類	
21	121回版-	21	第221回- 24	HY2	深鉢形	胴上部	ループC類+沈文B	ミガキ横	I群c'類	
22	121回版-	23	第221回- 17	HY2	深鉢形	胴 部	ループA類+比羅文A	ミガキ横	I群c'類	
23	121回版-	24	第221回- 23	HY2	深鉢形	胴 部	ループB類+沈文B	ミガキ・ナデ横	I群c'類	
24	121回版-	25	第221回- 19	HY2	深鉢形 I	口縁部	ループA+竹管文A	ナデ横	I群d類	
25	121回版-	26	第221回- 12	HY2	深鉢形	胴 部	突刺文C類	ミガキ横	Ⅶ群c類	
26	121回版-	27	第222回- 4	HY2	深鉢形	胴 部	ループB類	M c 文様等	I群b類	
27	121回版-	28	第222回- 5	HY2	深鉢形	胴 部	ループA類	I a 文様等	I群b類	
28	122回版-	29	第222回- 20	HY2	深鉢形 A	上半部	ループC類	M c 文様等	ミガキ横・継	I群b類
29	123-30 a ~ j	—	第222回- 1	HY2	深鉢形 H	口縁部	沈文B+祐付文	ミガキ横	Ⅶ群a'-e	
30	123-31 a ~ i	—	第222回- 10	HY2	深鉢形 A	部分	突刺文C+コンバス文	Xt-Xc文様等	ナデ横・斜+ミガキ横・継	I e - c'
31	123-32 a ~ i	—	第222回- 6	HY2	深鉢形	胴 部	ループC類	ミガキ横	I群a'類	
32	123回版-	33	第222回- 3	HY2	深鉢形	胴 部	ループB類	ナデ・ミガキ横	I群b類	
33	123回版-	34	第222回- 7	HY2	深鉢形	胴 部	ループC類解け	ミガキ横	I群a'類	
34	123回版-	35	第222回- 9	HY2	深鉢形	下胴部	ループC類	ミガキ横・継	I群a'類	
35	123回版-	36	第222回- 2	HY2	深鉢形	胴 部	ループC類	ミガキ横・継	I群b'類	
36	123回版-	37	第222回- 8	HY2	深鉢形	胴 部	ループB類	ミガキ横	I群a'類	
37	123回版-	38	第222回- 16	HY2	深鉢形	胴 部	ループC類	ナデ横+ミガキ横	I群a'類	
38	123回版-	39	第222回- 11	HY2	深鉢形	胴 部	ループB類	ミガキ横	I群a'類	
39	124回版-	40	第222回- 12	HY2	深鉢形	胴 部	ループC類	ミガキ横・継	I群a'類	
40	124回版-	41	第222回- 13	HY2	深鉢形	胴 部	ループC類	ナデ・ミガキ横	I群a'類	
41	124回版-	42	第222回- 15	HY2	深鉢形	胴 部	ループC類	ミガキ横・ナデ横	I群a'類	
42	124回版-	43	第222回- 14	HY2	深鉢形	胴 部	ループC類	ミガキ横+ナデ横	I群a'類	
43	124回版-	44	第222回- 1	HY2	深鉢形 A	口縁部	結束繩文B	ミガキ横・継	Ⅵ群土器	
44	124回版-	45	第222回- 2	HY2	深鉢形 A	口縁部	結束繩文B	ミガキ横・継	Ⅵ群土器	
45	124回版-	46	第223回- 4	HY2	深鉢形 A	口縁部	結束繩文B	ミガキ横・継	Ⅵ群土器	
46	124回版-	47	第223回- 3	HY2	深鉢形 A	口縁部	結束繩文B	ミガキ横・継	Ⅵ群土器	
47	124回版-	48	第223回- 5	HY2	深鉢形	胴 部	結束繩文A	ナデ横+ミガキ横	Ⅵ群土器	

通し No.	図版No.	説明No.	出土地区	器形	体 部	施文手法	文様構成	内面調整	分類	
48	124図版- 49	第2238-	6	HY2	深鉢形	胴 部	結束織文B		マツツ不明	
49	124図版- 50	第2238-	7	HY2	深鉢形	胴 部	結束織文B	ナデ模+ミガキ縫	直群土器	
50	124図版- 51	第2238-	8	HY2	深鉢形D	下胴部	単節織文B ³	マツツ不明	直群 a'類	
51	124図版- 52	第2238-	9	HY2	深鉢形	胴 部	単節織文B ³	マツツ不明	直群 a'類	
52	124図版- 53	第2238-	13	HY2	深鉢形	胴 部	単節織文B ³	ナデ模	直群 a'類	
53	124図版- 54	第2238-	10	HY2	深鉢形	胴 部	単節織文B ³	ナデ模+ミガキ縫	直群 a'類	
54	124図版- 55	第2238-	11	HY2	深鉢形	胴 部	単節織文B ³	マツツ不明	直群 a'類	
55	124図版- 56	第2238-	12	HY2	深鉢形	胴 部	単節織文B ³	ナデ模+ミガキ縫	直群 a'類	
56	125図版- 57	第2238-	14	HY2	深鉢形	胴 部	単節織文B ³	マツツ不明	直群 a'類	
57	125図版- 58	第2238-	15	HY2	深鉢形	胴 部	単節織文B ³	ミガキ縫	直群 a'類	
58	125図版- 59	第2238-	16	HY2	深鉢形D	胴 部	単節織文A ¹	ミガキ縫・ナデ模	直群 a'類	
59	125図版- 60	第2238-	17	HY2	深鉢形D	胴 部	単節織文A ³	ミガキ縫	直群 a'類	
60	125図版- 61	第2238-	18	HY2	深鉢形	胴 部	単節織文B ²	ナデ模+ミガキ縫	直群 a'類	
61	125図版- 62	第2238-	19	HY2	深鉢形	胴 部	単節織文B ³	ナデ模+ミガキ縫	直群 a'類	
62	125図版- 63	第2238-	20	HY2	深鉢形	胴 部	単節織文B ³	ナデ模+ミガキ縫	直群 a'類	
63	125図版- 64	第2238-	21	HY2	深鉢形	胴 部	単節織文B ³	ナデ模+ミガキ縫	直群 a'類	
64	125図版- 65	第2238-	22	HY2	深鉢形	胴 部	単節織文B ³	ナデ模+ミガキ縫	直群 a'類	
65	125図版- 66	第2238-	24	HY2	深鉢形	底 部	突刺文B		直群 c 類	
66	125図版- 67	第2238-	25	HY2	深鉢形	底 部	単節織文A ¹		直群 a'類	
67	125図版- 68	第2238-	26	HY2	深鉢形	底辺部	単節織文A ² +突刺文B	ナデ模	直群 c 類	
68	125図版- 69	第2238-	23	HY2	深鉢形	胴 部	単節織文A ¹	ナデ模	直群 a'類	
69	125-70-a~o	第2248-	1	HY2	深鉢形C	上半部	ループC類	ナデ模~継+ミガキ縫~継	I群 a'類	
70	126図版- 71	第2248-	2	HY2	深鉢形	胴 部	ループA類	ナデ模+ミガキ縫	I群 a'類	
71	126図版- 72	第2248-	3	HY2	深鉢形	胴 部	ループC類	マツツ不明	I群 a'類	
72	126図版- 73	第2248-	7	HY2	深鉢形	胴 部	ループC類	ナデ・ミガキ縫	I群 a'類	
73	126図版- 79-i	第2248-	4	HY2	深鉢形	胴 部	ループB類	ナデ・ミガキ縫	I群 a'類	
74	126図版- 70-n	第2248-	6	HY2	深鉢形	胴 部	ループB類	ナデ模・継	I群 a'類	
75	126図版- 70-h	第2248-	5	HY2	深鉢形	胴 部	ループB類	ナデ模+ミガキ縫	I群 a'類	
76	126図版- 74	第2248-	13	HY2	深鉢形E	口縁部	ループC類	ミガキ縫・継	I群 a'類	
77	126図版- 75	第2248-	8	HY2	深鉢形	胴 部	ループC類	ナデ模+ミガキ縫	I群 a'類	
78	126図版- 76	第2248-	11	HY2	深鉢形	胴 部	ループF類	ナデ模	I群 a'類	
79	126図版- 77	第2248-	9	HY2	深鉢形	胴 部	ループC類	ミガキ縫・継	I群 a'類	
80	126図版- 78	第2248-	10	HY2	深鉢形	下胴部	ループE類	ミガキ縫	I群 a'類	
81	126-79-a~h	第2248-	12	HY2	深鉢形E	上半部	ループC類	ナデ模~継+ミガキ縫~継	I群 a'類	
82	126図版- 80	第2248-	14	HY2	深鉢形	下胴部	ループF類	マツツ不明	I群 a'類	
83	126図版- 81	第2248-	19	HY2	深鉢形	胴 部	ループB類	ナデ模+ミガキ縫	I群 a'類	
84	126図版- 82	第2248-	18	HY2	深鉢形	胴 部	ループB類	ナデ模	I群 a'類	
85	126図版- 83	第2248-	17	HY2	深鉢形	胴 部	ループE類	ナデ・ミガキ縫	I群 a'類	
86	126図版- 84	第2248-	20	HY2	深鉢形	胴 部	結束織文A	V b 文様帶	ナデ模~継+ミガキ縫~継	直群土器
87	126図版- 85	第2248-	22	HY2	深鉢形	胴 部	結束織文B	ナデ模~継+ミガキ縫~継	直群土器	
88	126図版- 86	第2248-	16	HY2	深鉢形	胴 部	ループA類	ミガキ縫・ナデ模	I群 a'類	
89	126図版- 87	第2248-	15	HY2	深鉢形	胴 部	ループE類	ナデ模	I群 a'類	
90	127図版- 88	第2248-	21	HY2	深鉢形	口縁部	結束織文B	ナデ・ミガキ縫	直群土器	
91	127図版- 89	第2238-	27	HY2	深鉢形	底 部	突刺文B	ナデ・ミガキ縫	直群 c 類	
92	127図版- 90			HY2	深鉢形	胴 部	ループB類	ミガキ縫~継	I群 a'類	
93	127図版- 91			HY2	深鉢形	胴 部	ループB類	ミガキ縫~継	I群 a'類	
94	127図版- 92	第2238-	28	HY2	深鉢形	底 部	竹管文D		ミガキ縫・斜	
95	127図版- 93	第51回	HY2	深鉢形	胴 部	ループB類	V c 文様帶	ミガキ縫~継	I群 b 類	

通し No	国版No	特国No	出土地区	器形	体 部	直文手法	文様構成	内面調整	分 類
96	12780版- 94	第 5188	HY2	深鉢形	下面部	ループB類	Vd 文様帶	ミガキ横~継	I群b類
97	12780版- 95	第 5194	HY2	深鉢形	下面部	ループB類	Vd 文様帶	ミガキ横~継	I群b類
98	12780版- 96a ~ i	第 22785- 1	HY4	深鉢形	胴 部	結束縞文A		ナデ横+紙+ミガキ横~継	Ⅳ群土器
99	12800版- 97	第 22688- 7	HY3	深鉢形	口縁部	変側文C		ミガキ横	Ⅳ群c類
100	12800版- 98	第 22688- 6	HY3	深鉢形	胴 部	ループC類+沈縞文A		マメツ不明	I群c類
101	12800版- 99	第 22688- 10	HY3	深鉢形	胴上部	竹管文C+ループC類		ミガキ横	I群a類
102	12800版- 100	第 22688- 8	HY3	深鉢形D	口縁部	ループB類		ミガキ横	I群a類
103	12800版- 101	第 22688- 12	HY3	深鉢形	胴 部	ループC類		ナデ横+ミガキ横~継	I群a類
104	12800版- 102	第 22688- 14	HY3	深鉢形D	口縁部	ループC類		ミガキ横~斜	I群a類
105	12800版- 103	第 22688- 16	HY3	深鉢形	胴 部	ループC類		ミガキ横	I群a類
106	12800版- 104	第 22688- 9	HY3	深鉢形	胴 部	ループA類		ミガキ横	I群a類
107	12800版- 105	第 22688- 13	HY3	深鉢形	胴 部	ループE類		ミガキ横	I群a類
108	12800版- 106	—	HY3	深鉢形	口縁部	ループC類		ミガキ横	I群a類
109	12800版- 107	第 22688- 17	HY3	深鉢形D	口縁部	ループC類		ミガキ横	I群a類
110	12800版- 108	第 22688- 18	HY3	深鉢形	胴 部	ループF類		ナデ横+ミガキ継	I群a類
111	12800版- 109	第 22688- 15	HY3	深鉢形	口縁部	ループF類		ミガキ横~斜	I群a類
112	12800版- 110	—	HY3	深鉢形	胴 部	ループB類+変側文C		ミガキ横	I群e類
113	12800版- 111	第 22688- 19	HY3	深鉢形	胴 部	結束縞文B		マメツ不明	Ⅳ群土器
114	12800版- 112	第 22688- 1	HY4	深鉢形	胴 部	沈縞文B+ループE類		ナデ+ミガキ横	I群c類
115	12800版- 113	第 22688- 4	HY4	深鉢形	胴 部	ループB類		ミガキ横	I群a類
116	12800版- 114	第 22688- 5	HY4	深鉢形	胴 部	ループB類+单筋縞文B ¹	Vd 文様帶	ナデ横+ミガキ継	I b ~ III a ¹
117	12800版- 115	第 22688- 3	HY4	深鉢形	胴 部	ループC類		ナデ横+ミガキ継	I群a類
118	12800版- 116	—	HY4	深鉢形	口縁部	変側文C		ミガキ横~継	Ⅳ群c類
119	12800版- 117	第 22688- 5	HY4	深鉢形	胴 部	ループB類+单筋縞文B ¹	Vd 文様帶	ナデ横+ミガキ継	I b ~ III a ¹
120	12800版- 118	—	HY4	深鉢形	胴 部	ループB類		ミガキ横	I群a類
121	129-119 a ~ f	第 228- 7	HY4	深鉢形	胴 部	ループC類		ナデ+ミガキ横~斜	I群a類
122	129-120 a ~ e	第 228- 8	HY4	深鉢形	胴 部	單筋縞文B ¹		ミガキ横	Ⅳ群a類
123	12900版- 121	第 22688- 10	HY4	深鉢形	口縁部	ループE類		マメツ不明	I群a類
124	12900版- 122	第 22688- 11	HY4	深鉢形	胴 部	單筋縞文A ¹		ナデ横+ミガキ横	Ⅳ群a類
125	12900版- 123	第 22688- 13	HY4	深鉢形	胴 部	無筋縞文		ナデ+ミガキ横	I群a類
126	—	第 22688- 2	HY4	深鉢形	胴 部	ループB類		ナデ+ミガキ横	Ⅳ群土器
127	13000版- 124	第 22688- 4	HY5	深鉢形	口縁部	竹管文C	X c 文様帶	ミガキ横	Ⅳ群b類
128	13000版- 125	第 22688- 5	HY5	深鉢形	胴 部	竹管文C	X d 文様帶	ミガキ横	Ⅳ群b類
129	13000版- 126	第 22688- 6	HY5	深鉢形	胴 部	單筋縞文B ¹		マメツ不明	Ⅳ群a類
130	13000版- 127	第 22688- 8	HY5	深鉢形	胴 部	結束縞文B		ミガキ横~斜	Ⅳ群土器
131	13000版- 128	第 22688- 12	グリット	深鉢形A	口縁部	ループC類	II a 文様帶	ミガキ横~継	I群b類
132	13000版- 129	第 22688- 13	グリット	深鉢形	胴 部	ループB類	Vb 文様帶	ミガキ横~継	I群b類
133	13000版- 130	第 22688- 14	グリット	深鉢形	口縁部	ループC類		ミガキ横	I群b類
134	13000版- 131	第 22688- 16	グリット	深鉢形	胴 部	ループC類		ミガキ横	I群a類
135	13000版- 132	第 22688- 20	グリット	深鉢形	胴 部	ループE類		ミガキ継	I群a類
136	13000版- 133	第 22688- 18	グリット	深鉢形	胴 部	ループC類		ミガキ横~継	I群a類
137	13000版- 134	第 22688- 19	グリット	深鉢形	胴 部	ループC類		ナデ+ミガキ横	I群a類
138	13000版- 135	第 22688- 15	グリット	深鉢形	胴 部	ループB類	Vc 文様帶?	ミガキ横	I群b類
139	13000版- 136	第 22688- 17	グリット	深鉢形	胴 部	ループB類		ナデ+ミガキ横	I群a'類
140	—	第 22688- 7	グリット	深鉢形B	口縁部	ループE類		ミガキ横	I群a'類
141	—	第 22688- 22	グリット	深鉢形A	口縁部	ループC類		ミガキ横	I群a'類
142	13000版- 137	第 22688- 2	グリット	深鉢形	胴 部	ループC類		ナデ+ミガキ横	I群a'類
143	13000版- 138	第 22688- 6	グリット	深鉢形	胴 部	結束縞文A		ミガキ横	Ⅳ群土器

通し 番号	図版No.	捕获番号	出土地区	形	体 部	陶文手法	文様構成	内面調整	分類
144	130回版- 139	第230回- 1	グリット	深鉢形	胴 部	ループE類		ナデ模・ミガキ縫	I群a類
145	130回版- 140	第229回- 21	グリット	深鉢形	胴 部	複周縦文		ナデ・ミガキ縫	V群土器
146	130回版- 141	第230回- 8	グリット	深鉢形 I	口部	单周縦文A ¹		ナデ・ミガキ縫	II群a類
147	130回版- 142	第230回- 7	グリット	深鉢形	胴 部	单周縦文A ²		ナデ模・ミガキ縫	II群a類
148	130回版- 143	第230回- 5	グリット	深鉢形	胴 部	束縛文B		ナデ模・ミガキ縫	V群土器
149	130回版- 144	第230回- 4	グリット	深鉢形	胴 部	ループE類		ミガキ縫	I群a類
150	130回版- 145	第228回- 12	H Y3	深鉢形	胴 部	無記縦文		マメツ不明	N群土器
151	130回版- 146	第230回- 9	グリット	深鉢形	底 部	竹管文D			複群b類
152	国版- 174	第227回- 3	H Y4	深鉢形	胴 部	斜周縦文		ナデ模・ミガキ縫	V群土器
153	国版- 176	第227回- 2	H Y4	深鉢形	底 部	ループB類			I群a類

第26表 一ノ坂遺跡第IV次調査出土石器計測観察表

I群石器〔石芯〕

通し 番号	導出物	国 番 号	捕获番号	出土地区	部位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	断 面	測量部位	備 考
1	B Z 5	第131回版- 14		G39-100	II	5.48	4.18	1.38	33.4	達質 灰岩	I A群- I a類	I - II a + R ¹⁻²	未完成品
2	B Z 52	第131回版- 12		H Y2	f	5.54	4.25	1.15	27.6	達質 灰岩	I A群- I a類	I - II b + R ²⁻³	未完成品
3	B Z 109	第130回版- 119		H Y2	f	4.14	2.96	1.29	12.0	達質 灰岩	I A群- I a類	I - II a + R ¹⁻²	未完成品
4	B Z 30	第130回版- 129		H Y2	f	5.18	3.30	0.95	18.8	達質 灰岩	I A群- I a類	I - III a + R ¹⁻²	未完成品
5	B Z 62	第132回版- 27		H Y3	f	6.60	4.30	1.18	35.2	達質 灰岩	I A群- I a類	I - III a + R ¹⁻²	未完成品
6	B Z 64	第131回版- 12		H Y4	f	5.28	3.68	0.48	16.0	達質 灰岩	I A群- I a類	I - III a + R ¹⁻²	未完成品
7	B Z 74	第131回版- 15		H Y2	f	3.70	2.44	1.09	13.4	達質 灰岩	I A群- I a類	I - III a + R ¹⁻²	未完成品
8	B Z 43	第132回版- 26		H Y5	f	5.56	3.58	1.15	21.2	達質 灰岩	I A群- V a類	I - III a + R ¹⁻²	未完成品
9	B Z -	第131回版- 6		H Y3	f	2.43	1.64	0.32	1.4	達質 灰岩	I A群- V a類	I - III a + R ¹⁻²	未完成品
10	B Z 36	第131回版- 8		H Y5	II f	2.04	1.46	0.38	0.7	達質 灰岩	I A群- V a類	未完成品	
11	B Z 100	第131回版- 7		H Y2	床面	1.64	(1.04)	0.18	0.4	達質 灰岩	I A群- X b類	脚部欠損	
12	B Z 25	第131回版- 10	第233回- 30	H Y2	II I	1.66	1.47	0.24	0.5	達質 灰岩	I A群- X c類	完成品	
13	B Z 106	第131回版- 9		H Y2	床面	(1.98)	(1.22)	0.24	0.5	達質 灰岩	I A群- X d類	脚部・先端部欠損	
14	B Z -	第131回版- 4		G39-100	II	1.35	1.08	0.28	0.4	達質 灰岩	I B群- I a類	I b + R ⁴	未完成品
15	B Z 77	第131回版- 17		H Y3	f	2.96	2.16	0.34	2.6	達質 灰岩	I B群- I a類	I - III a + R ¹⁻²	未完成品
16	B Z 14	第131回版- 3		G39-100	II	1.56	0.44	0.16	0.4	達質 灰岩	I B群- II a類	I - III b + R ⁴	未完成品
17	B Z 2	第131回版- 2		G39-100	II	1.57	1.27	0.34	0.7	達質 灰岩	I B群- II b類	I - III a + R ¹⁻²	未完成品
18	B Z 27	第131回版- 16		H Y2	f	2.31	1.82	0.45	1.8	達質 灰岩	I B群- II a類	I - III a + R ⁷	未完成品
19	B Z 12	第131回版- 5		G39-100	II	1.42	(1.04)	0.28	0.5	達質 灰岩	I B群- II b類	I - III a + R ⁴	脚部有り
20	B Z 13	第131回版- 1		G39-100	II	1.38	1.30	0.18	0.4	達質 灰岩	I B群- V a類	I - III a + R ¹⁻⁵	被削面有り

II群石器〔石匙〕

通し 番号	導出物	国 番 号	捕获番号	出土地区	部位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	断 面	測量部位	備 考
21	B Z 108	第130回版- 122		H Y2	f	6.80	3.98	1.70	4.8	達質 灰岩	I A群- I c類	I - III a + R ⁷⁻⁸	未完成品
22	B Z 118	第130回版- 116		H Y2	II	5.89	3.18	1.54	24.0	達質 灰岩	I A群- II a類	I - III a + R ⁷⁻⁸	未完成品
23	B Z 20	第134回版- 65		I T - I K	II	5.56	4.56	1.36	37.2	達質 灰岩	I A群- V a類	I - III a + R ⁷⁻⁸	第2次調査出土
24	B Z 25	第130回版- 118		H Y2	II	5.85	3.48	0.92	14.6	達質 灰岩	I A群- V a類	I - III a + R ⁷⁻⁸	未完成品
25	B Z 24	第132回版- 38		H Y2	f	7.94	4.64	1.65	49.2	達質 灰岩	I A群- V a類	I - III a + R ⁷⁻⁸	未完成品
26	B Z 91	第134回版- 71		H Y4	f	(6.02)	5.26	0.94	34.2	達質 灰岩	I A群- V b類	I - III b + R ⁷⁻⁸	研磨面有り
27	B Z 9	第130回版- 121	第230回- 10	G39-100	II	6.71	2.02	0.97	19.2	達質 灰岩	I A群- V a類	I - III a + R ⁷⁻⁸	未完成品
28	B Z 67	第132回版- 35		H Y3	f	5.32	2.12	0.65	5.0	達質 灰岩	I A群- X a類	I - III a + R ⁴⁻⁶	使用痕有り
29	B Z 38	第132回版- 33	第223回- 29	H Y2	f	8.10	2.38	0.70	10.0	達質 灰岩	I A群- X c類	I - III a + R ⁴⁻⁶	使用痕有り
30	B Z 51	第131回版- 52		H Y1	II	7.50	4.70	1.36	45.0	達質 灰岩	I B群- I a類	I - III b + R ⁷⁻⁸	未完成品
31	B Z 44	第134回版- 70		H Y2	II	(5.62)	5.22	0.95	32.4	達質 灰岩	I B群- I b類	I b + R ⁹	研磨面有り
32	B Z 111	第134回版- 68		H Y2	f	(5.12)	5.85	1.31	40.4	達質 灰岩	I B群- I b類	I - III a + R ⁴⁻⁶	研磨面有り
33	B Z 40	第133回版- 58		I T - I K	II	9.44	5.06	1.50	58.5	達質 灰岩	I B群- I a類	I - III a + R ⁷⁻⁸	第2次調査出土

番号	測定番号	地盤番号	出土地点	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (kg)	石材	組成	測量調整	備考
34	BZ 44	第13300E- 29		I T-1区	III	(3.33)	4.16	0.56	9.6	II B群-X b類	I - II b + R ⁷⁺⁸	基準次標準出土
35	BZ 4	第13300E- 81		G39-100	II	(3.50)	3.98	0.89	13.2	II B群-X b類	I - II b + R ⁷⁺⁸	被覆面有り
36	BZ 49	第13300E- 61		HY1	I	6.92	4.62	1.18	40.8	II B群-X a類	I - II b + R ⁷⁺⁸	未完成品
37	BZ 71	第13300E- 54		HY2	I	6.68	3.88	1.11	26.6	II B群-X b類	I - II b + R ⁷⁺⁸	未完成品
38	BZ 61	第13300E- 66		HY3	I	7.00	4.33	1.24	34.4	II B群-X b類	I - II b + R ⁷⁺⁸	未完成品
39	BZ 3	第13300E- 67		G39-100	II	(6.33)	5.12	1.56	58.0	II B群-X a類	I - II a + R ⁷⁺⁸	未完成品
40	BZ 16	第13300E- 77		G39-100	II	(4.52)	4.62	0.82	22.2	II B群-X b類	I - II b + R ⁷⁺⁸	被覆面有り
41	BZ 6	第13300E- 59		G39-100	II	9.00	3.38	1.32	44.6	II B群-V a類	I - II b + R ⁷⁺⁸	未完成品
42	BZ -	第13300E- 62		G39-100	II	7.00	3.02	1.16	24.2	II B群-X b類	I - II a + b + R ⁷⁺⁸	未完成品
43	BZ 20	第13300E- 69		G39-99	II	(4.26)	4.43	0.81	16.4	II B群-X a類	I - II b + R ⁵	被覆面有り
44	BZ 23	第13300E- 82		G39-99	II	(3.90)	2.98	0.86	14.0	II B群-V a類	I - II b + V b類	被覆面有り
45	BZ 110	第13300E- 78		HY2	I	(3.80)	4.00	0.80	14.6	II B群-X a類	I - II b + V b類	被覆面有り
46	BZ 88	第13300E- 76		HY3	I	(4.98)	4.29	0.85	22.0	II B群-V b類	I - II b + V b類	被覆面有り
47	BZ 60	第13300E- 72		HY4	I	6.90	3.16	0.74	15.4	II B群-X a類	I - II b + R ⁴⁺⁵	未完成品
48	BZ 17	第13300E- 53		G39-99	II	6.16	2.10	0.55	8.8	II B群-X b類	I - II b + R ⁴⁺⁵	未完成品
49	BZ 50	第13300E- 39		HY2	I	6.62	3.26	1.16	21.0	II B群-X a類	I - II b + R ⁴⁺⁵	未完成品
50	BZ 13	第13300E- 74		HY2	I	(4.20)	2.74	0.64	4.3	II B群-X b類	I - II b + R ⁴⁺⁵	被覆面有り
51	BZ 24	第13300E- 87		HY2	I	(5.02)	3.71	0.71	18.5	II B群-X b類	I - II b + R ⁴⁺⁵	被覆面有り
52	BZ 90	第13300E- 63		HY4	I	5.66	3.12	0.67	11.6	II B群-X b類	I - II b + R ⁴⁺⁵	被覆面有り
53	BZ 68	第13300E- 55		HY3	I	6.20	2.90	0.64	12.6	II B群-X b類	I - II b + R ⁴⁺⁵	未完成品
54	BZ 53	第13300E- 18	第22558-1	HY2	I	9.70	2.98	0.56	16.4	II B群-X a類	I - II b, Y + R ⁴⁺⁵	完成品
55	BZ 116	第13300E- 29		HY2	I	5.66	2.00	0.55	6.9	II B群-X a類	I - II b + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
56	BZ 43	第13100E- 19		HY4	I	6.60	2.68	0.47	10.8	II B群-X a類	I - II b, Y + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
57	BZ 11	第13100E- 36		G39-100	II	5.82	3.10	0.43	7.4	II B群-X a類	I - II b + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
58	BZ 107	第13100E- 21		HY2	I	5.60	3.05	0.66	9.1	II B群-X a類	I - II b + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
59	BZ 29	第13300E- 49		HY2	I	(4.50)	2.90	0.58	7.0	II B群-X b類	I - II b + R ⁴⁺⁵	被覆面有り
60	BZ 47	第13300E- 50		HY2	I	(3.71)	1.95	0.52	3.7	II B群-X b類	I - II b + R ⁴⁺⁵	被覆面有り
61	BZ 66	第13100E- 20		HY3	I	5.22	3.08	0.46	6.1	II B群-X b類	I - II b + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
62	BZ 117	第13100E- 22		HY2	I	5.66	1.64	0.48	5.1	II B群-X d類	I - II b + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
63	BZ 70	第13100E- 24		HY3	I	6.90	2.27	0.56	8.7	II B群-X b類	I - II b + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
64	BZ 37	第13100E- 27		HY5	I	4.90	2.10	0.75	5.6	II B群-X d類	I - II b + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
65	BZ 115	第13100E- 25		HY2	I	6.48	2.10	0.55	8.7	II B群-X e類	I - II b + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
66	BZ 54	第13200E- 30		HY2	I	5.00	1.98	0.60	5.6	II B群-X a類	I - II b + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
67	BZ 69	第13200E- 26		HY3	I	7.30	2.25	0.50	9.1	II B群-X e類	I - II b + R ⁴⁺⁵	完成品
68	BZ -	第13100E- 23		HY4	I	6.02	2.38	0.53	8.0	II B群-X c類	I - II b + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
69	BZ 59	第13200E- 31		HY4	I	5.60	2.30	0.46	5.3	II B群-X e類	I - II b + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
70	BZ 46	第13200E- 32		HY2	I	4.38	3.28	0.46	7.3	II B群-X f類	I - II b + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
71	BZ 94	第13500E- 75		HY3	I	(4.23)	2.95	0.83	9.8	II C群-X b類	I - II b + R ⁴⁺⁵	被覆面有り
72	BZ 58	第13500E- 73		HY4	I	(4.47)	4.72	0.45	11.4	II B群-X b類	I - II b + R ⁴⁺⁵	被覆面有り
73	BZ 93	第13300E- 48		HY4	I	(4.17)	2.25	0.40	12.6	II B群-X a類	I - II b + R ⁴⁺⁵	被覆面有り
74	BZ 14	第13300E- 46		I T-1区	II	5.20	2.45	0.70	18.0	II B群-X a類	I - II b + R ⁴⁺⁵	基準次標準出土
75	BZ 18	第13300E- 47		G39-102	II	4.93	2.54	0.65	7.9	II B群-X a類	I - II b + R ⁴⁺⁵	使用瓶有り
76	BZ 97	第13300E- 54		西側斜面	II	3.50	2.58	0.50	3.1	II B群-X a類	I - II b + R ⁴⁺⁵	未完成品
77	BZ 108	第13200E- 34		HY2	I	5.14	2.30	0.45	5.1	II B群-X a類	I - II b + R ⁴	
78	BZ 78	第13300E- 45		HY3	I	6.40	1.87	0.36	2.5	II B群-X a類	I - II b + R ⁴⁺⁵	
79	BZ 96	第13300E- 44		HY4	東面	3.71	2.64	0.31	2.0	II B群-X a類	I - II b + R ⁴⁺⁵	ハジケ面有り

Ⅲ群石器〔両尖七首〕

通し 番号	遺物名	出 版 書 号	種別番号	出土地区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	石材	組 織	測量調整	備 考
89	B Z 29	第136回版 - 94		G50-91	Ⅲ (13.74)	8.36	3.88	440.0	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅰ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
91	B Z 29A	第136回版 - 93		G50-91	Ⅲ (13.34)	8.66	3.76	470.0	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅰ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
92	B Z -	第136回版 - 109		—	(11.00)	4.88	1.50	100.0	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅱ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
93	B Z 57	第136回版 - 108		HY3	f (9.55)	7.50	3.50	260.0	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅱ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
84	B Z 91	第137回版 - 102		HY4	f (11.00)	7.02	4.45	350.0	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅱ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
85	B Z 65	第136回版 - 95		HY3	f (7.00)	4.94	1.80	67.0	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
96	B Z 16	第127回版 - 97		IT-146	Ⅲ (10.20)	6.97	2.78	280.0	達 買 真 岩	Ⅴ群-V b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	第Ⅴ次調査出土	
87	B Z 27	第136回版 - 96		HY2	f (6.32)	3.62	1.98	46.8	達 買 真 岩	Ⅴ群-V b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
88	B Z 31	第137回版 - 99		HY2	f (8.80)	3.10	3.45	150.0	達 買 真 岩	Ⅴ群-V b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	

Ⅳ群石器〔石鉈〕

通し 番号	遺物名	出 版 書 号	種別番号	出土地区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	石材	組 織	測量調整	備 考
89	B Z 42	第138回版 - 110		HY2	f (5.28)	3.59	1.68	26.2	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅲ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
90	B Z 101	第138回版 - 105		HY1	堆積	(4.34)	3.75	1.66	22.2	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅲ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り
91	B Z 26	第139回版 - 114		HY2	f (8.33)	5.00	2.02	99.0	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅲ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
92	B Z 22	第138回版 - 104		G39-102	Ⅲ (13.60)	4.58	3.62	165.0	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅲ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	断面石器	
93	B Z 112	第138回版 - 111		HY1	f (4.80)	3.15	1.22	39.2	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅲ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
94	B Z 12	第137回版 - 101		T2-KY3	Ⅲ (5.42)	4.60	1.99	36.2	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅲ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	第Ⅴ次調査出土	
95	B Z 72	第137回版 - 98		HY2	f (5.32)	4.00	1.12	29.2	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅲ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
96	B Z 76	第138回版 - 106		HY3	f (4.40)	3.48	0.84	10.8	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅲ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
97	B Z 85	第138回版 - 107		HY3	f (6.04)	3.04	1.66	25.4	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅲ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
98	B Z 192	第135回版 - 88	第227回版-4	HY4	f	9.35	3.60	1.02	27.2	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	断面石器
99	B Z 87	第135回版 - 89	第227回版-5	HY4	f	10.48	4.42	1.28	40.0	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	断面石器
100	B Z 21	第137回版 - 103		G39-102	Ⅲ (6.80)	3.34	1.58	38.8	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	
101	B Z 35	第137回版 - 100		G50-91	Ⅲ (8.76)	4.60	1.42	46.4	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁹	破損面有り	

Ⅴ群石器〔石錐〕

通し 番号	遺物名	出 版 書 号	種別番号	出土地区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	石材	組 織	測量調整	備 考
102	B Z 114	第132回版 - 41	第226回版-20	HY2	f	2.65	1.74	0.38	1.7	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ b類	I - Ⅲ b + R ²⁻⁵	尖端部欠損
103	B Z 33	第135回版 - 91		G48-90	f	2.70	1.20	0.27	0.8	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ b類	I a + R ⁴	
104	B Z 45	第132回版 - 42		HY2	f	2.64	1.05	0.38	0.9	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ b類	I - Ⅲ a b + R ¹⁻⁵	尖端部欠損
105	B Z 56	第135回版 - 90		HY2	f	1.74	0.90	0.23	0.3	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ b類	I - Ⅲ a b + R ¹⁻⁴	
106	B Z 73	第135回版 - 92		HY2	f	2.20	1.30	0.40	0.9	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ b類	I - Ⅲ a b + R ¹⁻⁴	
107	B Z 75	第132回版 - 40		HY3	f	4.43	0.86	1.00	3.1	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ b類	I - Ⅲ b + R ²⁻⁵	尖端部欠損
108	B Z 83	第135回版 - 84		HY3	f	3.08	1.60	0.36	1.4	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁵	
109	B Z 14	第132回版 - 43		G39-100	Ⅱ	2.56	1.24	0.40	1.4	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ c類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁵	
110	B Z 1	第135回版 - 80		G39-100	Ⅱ	3.95	1.35	0.62	3.5	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ c類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁵	使用痕有り
111	B Z 8	第135回版 - 85		G39-102	Ⅱ	3.26	1.34	0.57	2.2	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ c類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁴	使用痕有り
112	B Z 55	第135回版 - 83		G50-93	Ⅱ	4.24	1.16	0.48	2.3	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ c類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁵	使用痕有り
113	B Z 49	第135回版 - 86		HY1	f	3.06	1.15	0.35	1.4	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅳ c類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁵	

VI群石器〔石錐状石器〕

通し 番号	遺物名	出 版 書 号	種別番号	出土地区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	石材	組 織	測量調整	備 考
114	B Z 23	第139回版 - 117		G50-99	f	7.07	3.74	2.13	49.8	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅴ b類	I - Ⅲ a + R ⁹	未完成
115	B Z 41	第139回版 - 112		HY2	f	6.92	3.30	1.73	29.4	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅴ b類	I - Ⅲ a + R ⁹⁻⁸	未完成
116	B Z 39	第139回版 - 115		HY3	f	6.24	2.80	0.35	12.0	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅴ b類	I - Ⅲ a b + R ²⁻⁸	未完成
117	B Z 15	第139回版 - 113		G39-102	Ⅱ	7.76	5.96	1.66	47.5	達 買 真 岩	Ⅴ群-Ⅴ b類	I - Ⅲ a + R ⁹	未完成

Ⅴ群石器〔搔器〕

遺物名	遺物番号	回 取 番 号	擇回番号	出土地区	層位	高さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	細 類	測量調整	備 考
118 B.Z. -	H13300版-	60	—	HY2	f	4.84	2.89	1.47	17.0	珪質頁岩	見跡-a類	I-Eb+R ¹⁻⁴	
119 B.Z. 14	H13300版-	57	—	G39-100	E	3.74	2.32	0.56	5.4	珪質頁岩	見跡-b類	I-Eb+R ¹⁻⁴	使用痕有り
120 B.Z. 34	H13300版-	56	—	G48-90	E	4.20	2.14	0.85	8.0	珪質頁岩	見跡-b類	I-Eb+R ¹⁻⁴	

X群石器〔磨製石斧〕

遺物名	遺物番号	回 取 番 号	擇回番号	出土地区	層位	高さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	細 類	測量調整	備 考
121 B.Z. 48	H13400版-	64	—	HY1	f	—	—	—	14.4	綠色片岩	—	—	磨製石斧の破片

X群石器〔石製品〕

遺物名	遺物番号	回 取 番 号	擇回番号	出土地区	層位	高さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	細 類	測量調整	備 考
122 B.Z. 39	H13100版-	11	—	HY2	f	2.48	2.39	0.43	2.4	黑耀石	X群-b類	I-Na+b+R ¹⁻⁴	

第27図 一ノ坂遺跡第N次調査出土器物分類計測表

遺物名	遺物番号	出土地区	種別	層位	分類	高さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	細 類	測量調整	備 考
1 355	HY2	圓石	f	IA+E D+C1	8.5	8.1	(2.4)	220	安山岩	第22505- 13			
2 376	HY2	圓石	f	IB+E A+C1	9.7	7.4	3.9	370	安山岩	第22505- 10			
3 364	HY2	圓石	f	IA+E A+C2	9.7	9.0	4.6	580	閃綠玢岩	第22505- 7			
4 366	HY2	圓石	f	IA+E A+C2	9.7	8.5	5.2	580	安山岩	第22505- 11			
5 374	HY2	圓石	f	IB+E A+C2	10.8	8.7	5.0	620	閃綠玢岩	第22505- 5			
6 363	HY2	圓石	f	IB+E A+C3	13.7	6.7	3.4	460	砂 岩	第22505- 4			
7 362	HY2	圓石	f	IA+E A+C3	(6.5)	(5.4)	3.2	140	砂 岩	第22505- 4			
8 380	HY2	圓石	f	IB+E D+C3	13.1	(5.3)	2.2	380	砂 岩	第22505- 2			
9 365	HY2	圓石	f	IB+E C+C4	16.3	5.1	3.2	480	砂 岩	第22505- 2			
10 373	HY2	圓石	f	IB+E A+C6	(11.1)	6.4	2.7	240	閃綠玢岩	第22505- 5			
11 371	HY2	圓石	f	IB+E A+C7	10.0	7.3	3.6	480	閃綠玢岩	第22505- 9			
12 368	HY2	圓石	f	IB+E A+C8	11.1	5.8	3.2	280	砂 岩	第22505- 3			
13 369	HY2	圓石	f	IB+E A+C8	(9.20)	5.2	2.9	200	砂 岩	第22505- 1 欠損面有り			
14 372	HY2	圓石	f	IB+E A+C9	11.9	6.8	3.4	3.5	安山岩	第22505- 8			
15 378	HY2	圓石	f	IA+E A+C10	8.9	7.4	4.2	440	閃綠玢岩	第22505- 6			
16 345	HY2	圓石	f	IB+E A+C11	(7.2)	5.5	3.8	250	砂 岩	第22505- 3			
17 362	HY2	圓石	f	IB+E A+C12	14.0	6.1	2.9	320	安山岩	第22505- 12			
18 379	HY3	圓石	f	IB+E A+C2	12.8	7.5	3.9	500	砂 岩	第22505- 22			
19 390	HY3	圓石	f	IB+E A+C8	13.4	9.0	4.9	700	閃綠玢岩	第22505- 21 欠損面有り			
20 391A	HY4	圓石	f	IB+E A+C5	11.6	7.1	3.8	470	安山岩	第22505- 2			
21 370	HY4	圓石	f	IA+E A+C3	9.8	8.9	3.9	450	安山岩	第22505- 6			
22 343A	HY4	圓石	f	IB+E A+C4	11.7	5.8	3.0	300	砂 岩	第22505- 1			
23 403	HY4	磨石	f	IB+E A+D'1	10.9	6.8	4.1	440	幽灰岩	第22505- 3			
24 377	HY5	圓石	f	IB+E A+C7	10.9	5.4	3.4	300	安山岩	第22505- 9			
25 405A	HY5	磨石	f	IB+E A+C'1	13.6	6.3	5.6	650	閃綠玢岩	第22505- 10			
26 386	HY5	磨石	f	IB+E A+D'2	10.5	6.9	3.8	430	幽灰岩	第22505- 11			
27 304	G48-68	圓石	E	IB+E A+C1	(13.2)	9.2	3.4	730	閃綠玢岩	第22505- 12 欠損面有り			
28 401A	G48-70	圓石	E	IB+E A+C2	10.0	6.7	3.9	410	砂 岩	第22505- 15			
29 328	G48-68	圓石	E	IB+E A+C4+D'2	9.9	6.7	2.0	290	砂 岩	第22505- 16			
30 402-B	G49-79	圓石	E	IB+E A+C6	12.0	6.8	3.8	290	砂 岩	第22505- 13			
31 227	G48-68	圓石	E	IB+E A+C7+D'2	9.7	7.3	3.8	420	閃綠玢岩	第22505- 14			

第4節 第V次調査

I 調査の経過『第202図』

今回の調査は6月11日から開始する。遺跡の南西に宅地造成の計画があることから、4m×14mのトレンチを配して調査を実施したが遺構・遺物は発見されなかった。念のため、付近一帯の分布調査と試掘（1m×1m）も並行して進めたが、遺構や遺物も認められず、市道を境の西側には遺跡の範囲が及ばないものと判断される。

本格的な第V次調査は、野菜の収穫が終了した11月5日から実施する。第III次調査で堅穴住居群が確認された東側に隣接して調査区を配置したもので、段丘の下部に沿って細長く南北16m、東西10mの160m²を設定した。表土剥離は人力で行い、2日間を用し、面整理・精査と進めてところ、重複する堅穴住居群が確認された。

住居跡番号は、からの通し番号とし、今回はHY 6からとする。

遺構は、第IV次調査で確認したHY 4の一部を除くとHY 6～HY 13の8棟の堅穴住居跡と土壙2基が検出されているが、前年度の調査区と比較すると少なかった。11月27に現地説明会を開催し、11月28日に埋め戻し終了した。

II 検出された遺構

今回の第V次調査で検出された遺構は、堅穴住居跡8棟と土壙2基の計10基である。さらに下層にも遺構が確認されたが、上層面の確認で留めておいた。

ここでは、堅穴住居を中心その概要を記す。

1) 堅穴住居跡『第232図』

HY 6～HY 13の8棟が3層上面より確認されている。いずれも、長方形プランを示すもので、壁柱穴を基本としている。切り合い関係から4時期を有するものと考えられる。

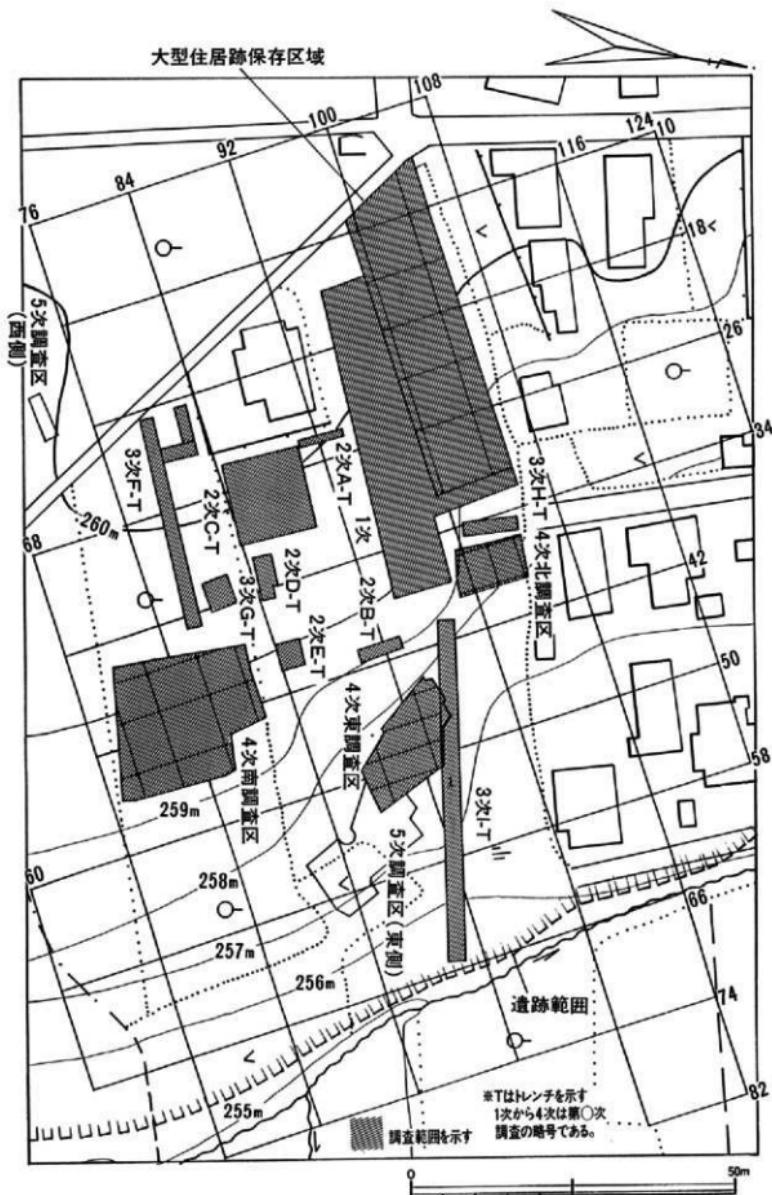
・ HY 6 『第232図、第233図』

〈平面形状〉

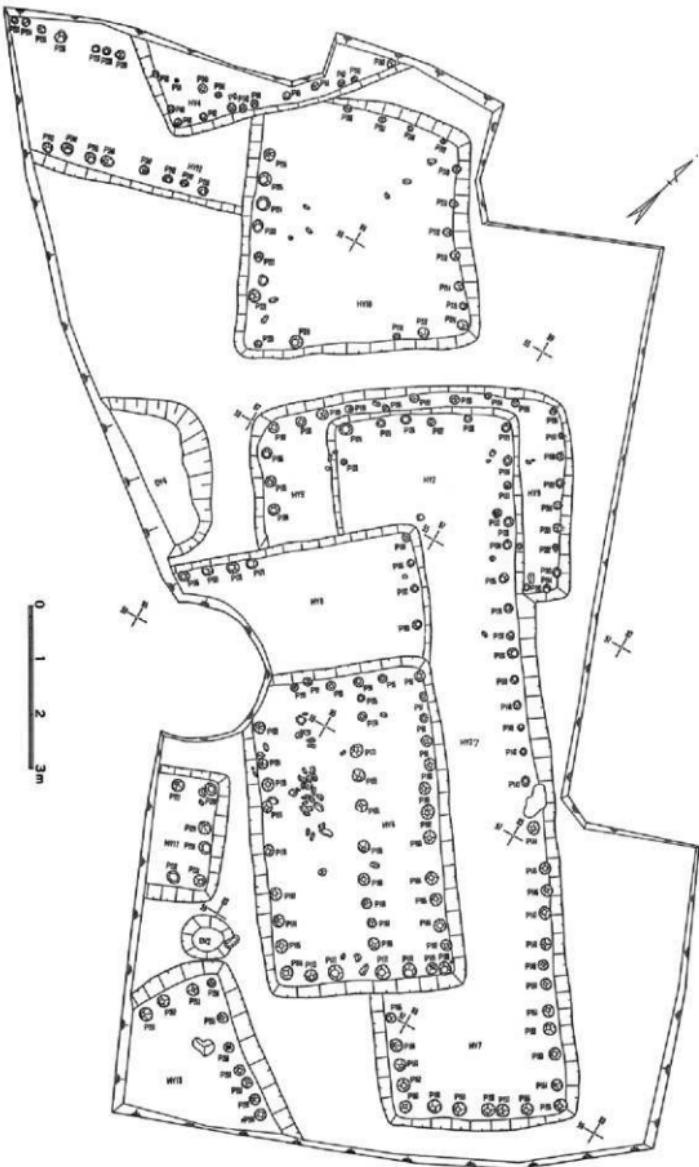
ほぼ東西方向を示す長方形プランの住居跡で、長軸が6.00m、短径3.73mを測り、HY 7とHY 8を切って構築している。

〈柱穴跡〉

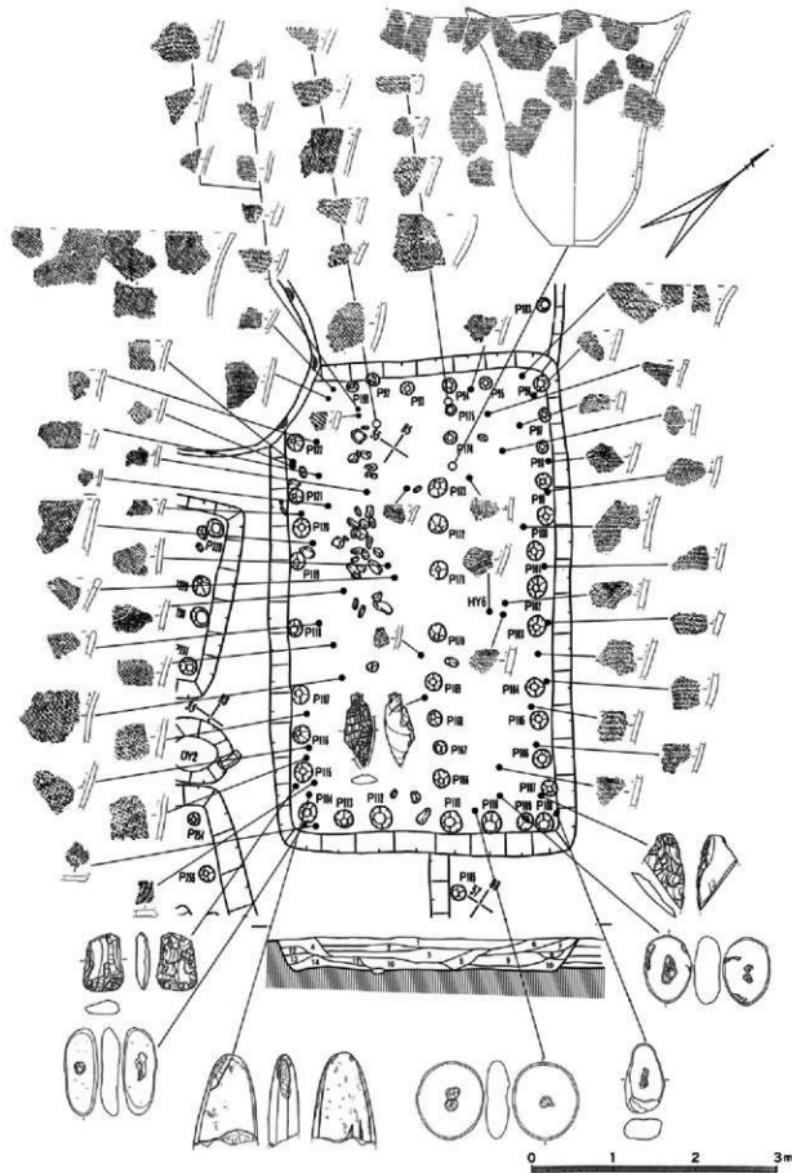
東壁直下に沿ってP91～P122の32本で構成している。柱の間隔は平均30cm前後と狭いのが



第231図 一ノ坂遺跡第Ⅰ次～第V次調査グリッド配図



第232図 一ノ坂遺跡第V次東側調査区遺構全体図



第233図 一ノ坂遺跡第V次調査HY 6平面図

特徴である。柱の直径は20cm前後であるが、深さが30cm～62cmと一定していない。内側に約60°の傾きを示している。

〈壁の状況〉

西側が43cm、東側44cm、南と北側が40cmを測り、ほぼ直角に近い立上りを示している。周溝は認められない。

〈覆土の状況〉

1～16の16枚の層序が観察され床面に近い14層～16層を中心に遺物が認められた。土色は黒褐色と暗茶褐色で占められ、微砂質で焼土と僅かに木炭片が混入している。

〈炉跡〉

検出されなかったが、住居跡床面の西側から検出された礫群には、焼成を受けた痕跡を示すものが含まれている。

〈検出遺物〉

土器片は破片で占められ289点。石器は、分類石器として石匙2点・石錐1点・尖頭器2点・石籠1点の計6点と剥片193点、それに凹石・磨石等の礫器が8点の496点が床面直上及び床面から検出されている。土器はループ文を主体にしたI群土器と単節縄文のII群土器、結束縄文を地文とするIII群土器を中心に突刺文のIV群土器の順で多くみられる。

• HY 7『第232図、第234図』

〈平面形状〉

今回調査で確認された住居跡では、最大の規模をなす。HY 6・HY 8によって西側が切られ、西北部ではHY 9を切って構築している。長方形プランを示すもので、長軸が13.6m、幅が3.85mを測るもので、所謂「ロングハウス」の仲間に加わるものと考えられる。

〈柱穴跡〉

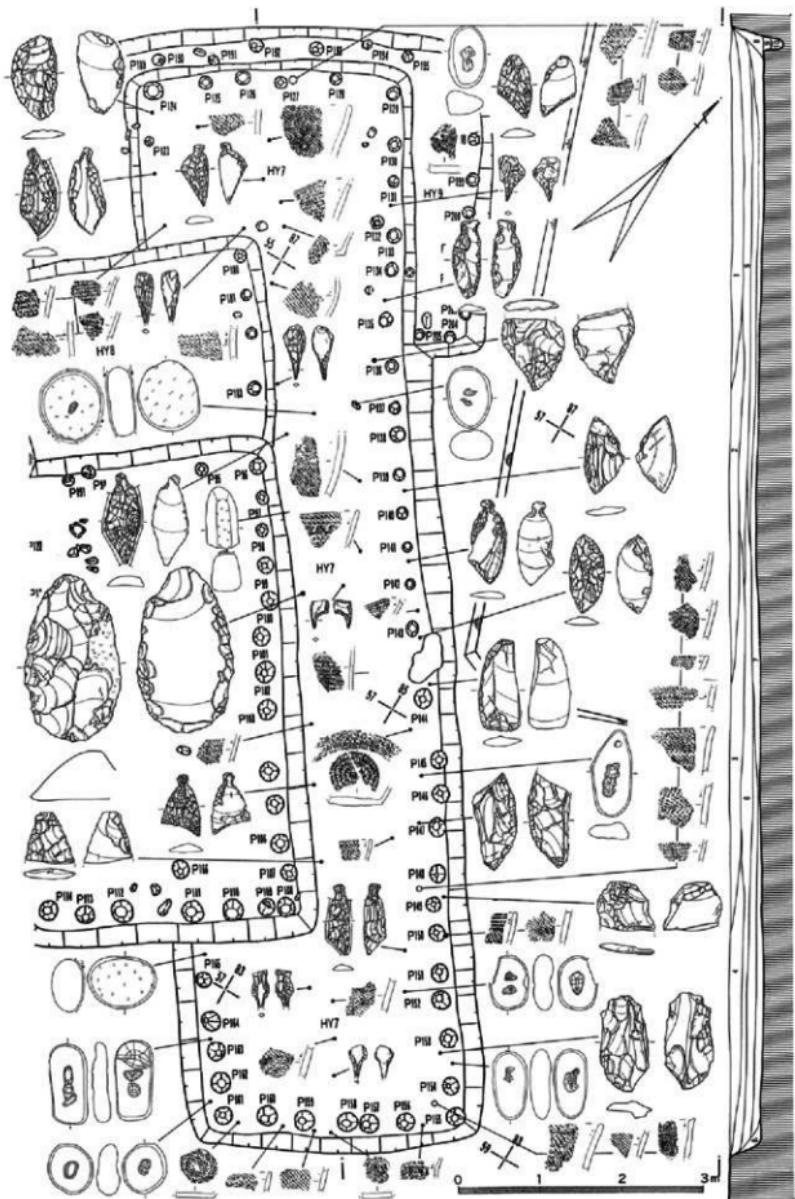
壁直下に配置され、P123～P175の52本を確認した。住居跡北西部に関しては、後世の削平により搅乱を受け確認が困難であった。柱の間隔は東側で45cm、南側が20cm～40cmを示し、柱の大きさは平均で20cm前後、深さは40cm～50cm位と一定している。柱の傾きは、63°～75°を示している。

〈壁の状況〉

ほぼ直角で、深さは30cm～33cmと一定している。周溝は認められない。

〈覆土の状況〉

覆土は8枚確認され、暗褐色、暗黄褐色を有し礫を含んでいる。遺物は7層と床面に集中し



第234図 一ノ坂遺跡第V次調査HY 7平面図

ている。

〈炉 跡〉

認められなかった。

〈検出遺物〉

土器片は口縁部片10点・胴部片148点、底部片5の計163点と石匙10点の計163点と石匙10点、両尖匕・首石銛・石匙等の未完成品石器が7点、石錐3点、石寃1点の分類石器に剥片が109点、礫器が11の総数304点が検出されている。この中で、土器片は、ループ分を主体とするI群土器が圧倒的に多く、僅かに単節縄文のII群土器、無節縄文を施すIV群土器の他、結束縄文を有するVII群土器が含まれている。

• HY 8 『第232図、第235図』

〈平面形状〉

HY 6によって東側が切られ、南側は果樹のために確認されなかつたことから全容は明確にできなかつた。西側での現長の長さは4.25mである。

〈柱穴跡〉

確認した範囲のP176～P183の8本で、柱穴の径は、20cm前後を有し、平均30cmの深さをもつ。柱の傾きは、67°～81°を示している。

〈塙の状況〉

壁は比較的浅く緩やかに立ち上がり、西側で21cm、東側が20cmを測る。周溝は存在しない。

〈覆土の状況〉

覆土は自然堆積で6枚からなつてゐる。床面に近い6層を中心には遺物が検出された。

〈炉 跡〉

中央に近い箇所に若干の焼土が認められるが炉跡に属するものではない。

〈検出遺物〉

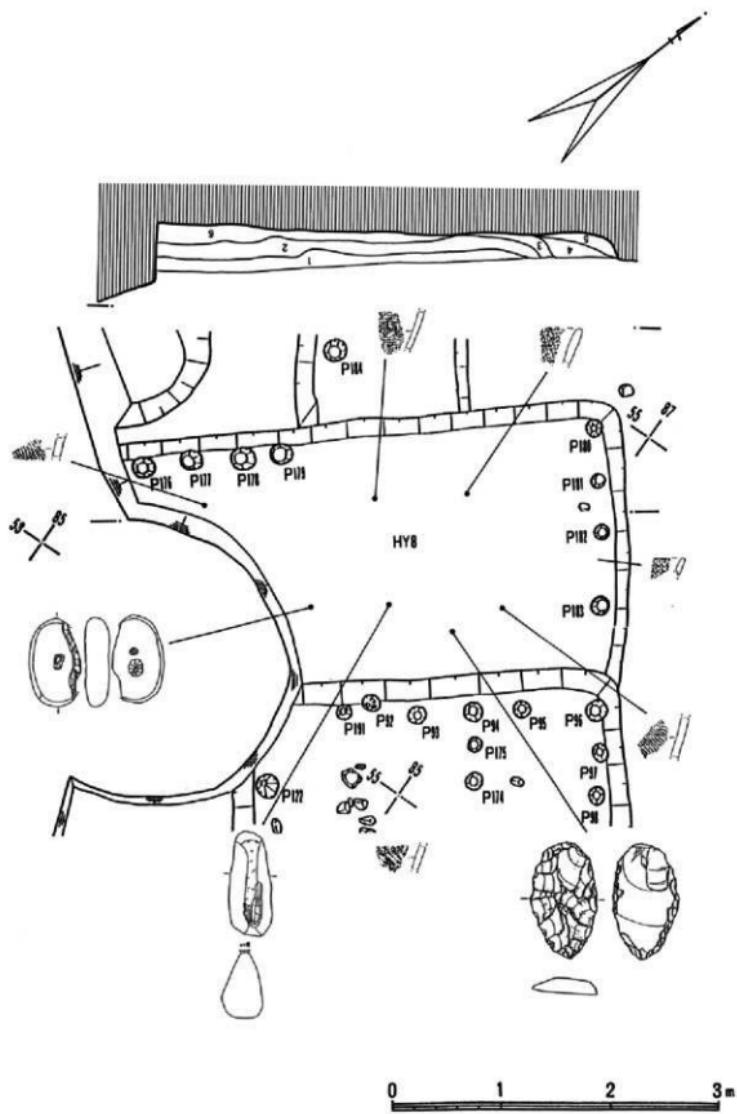
土器片65点、石匙の未完成品1点、剥片6点、凹石1点、磨石1点の計74点が認められてゐる。土器の殆どは、ループ文のI群土器と単節縄文のII群土器を主体としている。

• HY 9 『第232図、第236図』

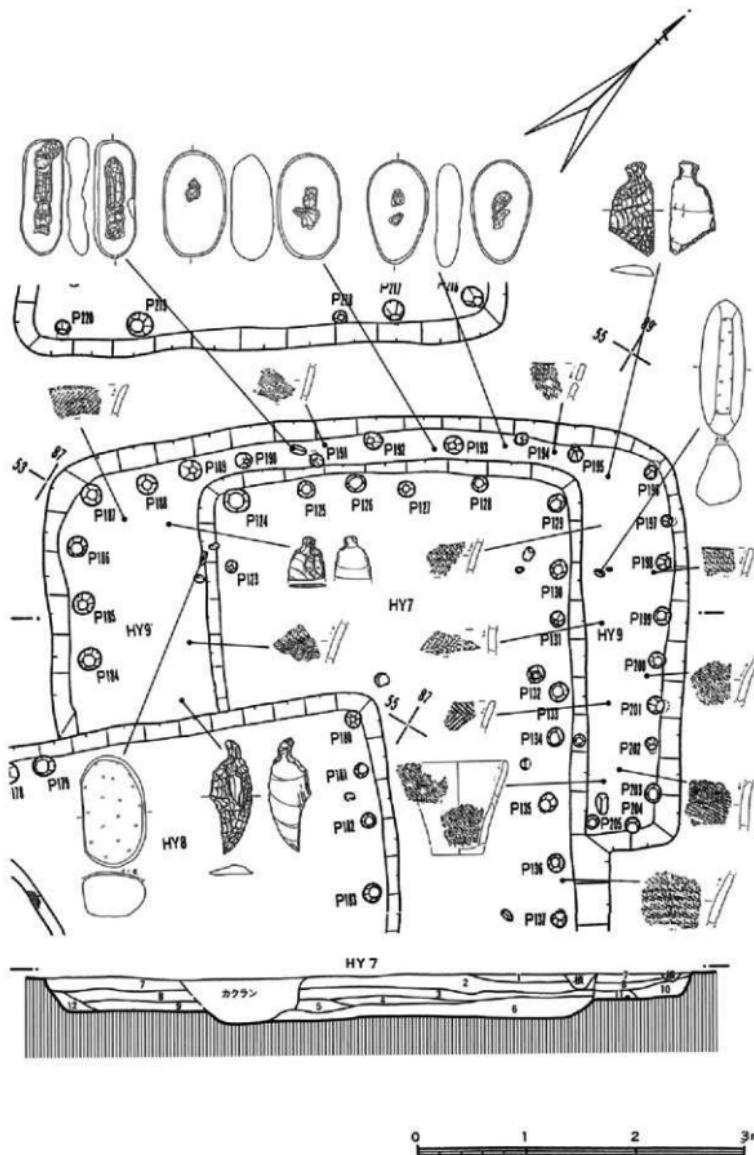
〈平面形状〉

主軸長が東西を示す長方形プランの住居跡で、南側を中心にHY 7とHY 8によって大きく切られている。長軸の長さは5.65m、幅が3.655mをなす。

〈柱穴跡〉



第235図 一ノ坂遺跡第V次調査HY8平面図



第236図 一ノ坂遺跡第V次調査HY 9平面図

柱穴は、P 184～P 205の22本を確認した。柱の間隔は、約30cmを測り、深さは平均で30cmをなす。柱の傾きは、住居側に対し59°～78°を示していた。

〈壁の状況〉

ほぼ直角に立ち上がり、平均21cmを測る。周溝は認められない。

〈覆土の状況〉

覆土は6枚で、小礫を含むのを特徴としている。土色は、黒褐色と暗褐色で微砂質土が主体に堆積している。

〈炉 跡〉

認められなかった。

〈検出遺物〉

土器片27点、石匙・石錐等の分類石器が6点、剥片類が17点の総数50点が床面を中心として出土している。土器は、I群・II群土器を中心となる。

- HY10『第232図、第237図』

〈平面形状〉

平明形状がやや不整な方形プランを示す住居跡で、一部、北西隅をHY4が切っている。長径5.25m、短径4.28mを測る。

〈柱穴跡〉

柱穴は、P 206～P 226の21本で構成していおり、南側の柱穴の存在しない箇所は後世の搅乱によるものである。柱間の間隔は40cm～50cm、深さは平均30cmで20cm前後を示している。柱穴の状況は住居側に対し、64°～80°の傾きをなしていた。

〈壁の状況〉

直角に近い立上りを有し、東側で37cm、西側が32cm前後であった。

〈覆土の状況〉

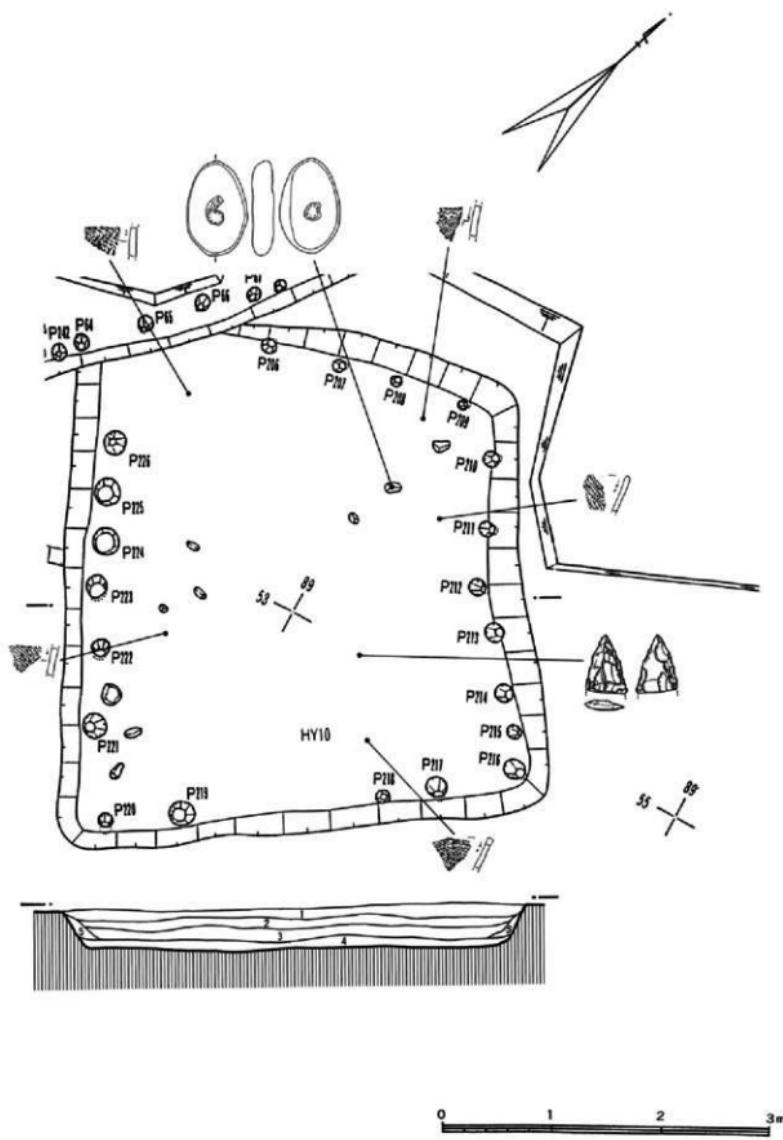
住居内部の覆土は6枚に分けられる。土色は、暗褐色と暗茶褐色で遺物は6層から床面にかけて認められた。

〈炉 跡〉

確認されなかった。

〈検出遺物〉

土器片は、口縁部片2点と胴部片18点の計20点。破損した石錐1点と凹石・磨石類が7点、剥片17点の総数で35点がある。



第237図 一ノ坂遺跡第V次調査HY10平面図

• HY11『第232図、第236図』

西側が調査区外に加わっていることから全容は不明であるがほぼ方形プランを示すものとみられる。幅は2.50mを測り、柱穴は壁直下をめぐり、P227P232の6本を確認した。

覆土は7枚で、5・7層より土器片9点と剥片13点が認められている。

• HY12『第232図、第238図』

〈平面形状〉

第N次調査で一部確認したが掘り下げを実施しなかったものである。HY4・HY10の構築よって破壊され、南側も調査区外に加わっていることから全容は不明であるが、長方形プランを有する住居跡で、幅は柱穴の状況から2.60mと推測される。

〈柱穴跡〉

柱穴は、P233～P239・P59・P240～P250の19本を確認している。柱間の間隔は20cm～40cm、深さは平均30cmで、径が12cm～20cm前後を示している。柱穴の角度は住居側に対し、74°～88°の傾きをなしていた。

〈壁の状況〉

ゆるやかに立上り、32cm前後であった。

〈覆土の状況〉

住居内部の覆土は7枚に分けられる。土色は、暗褐色と暗茶褐色で遺物は6層から床面にかけて認められた。

〈炉跡〉

確認されなかった。

〈検出遺物〉

土器片4点と両尖匕首の失敗品1点に剥片8点のみであった。

• HY13『第232図、第239図』

〈平面形状〉

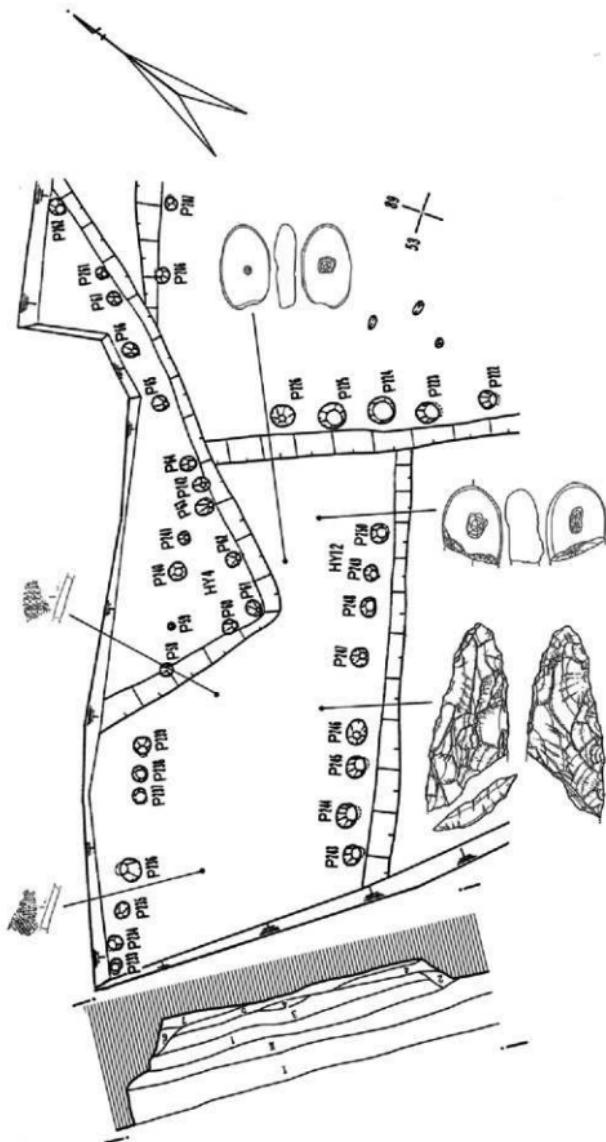
調査区の南東部に位置しするもので、未調査部分であることから全体の様子は明確にできない。

〈柱穴跡〉

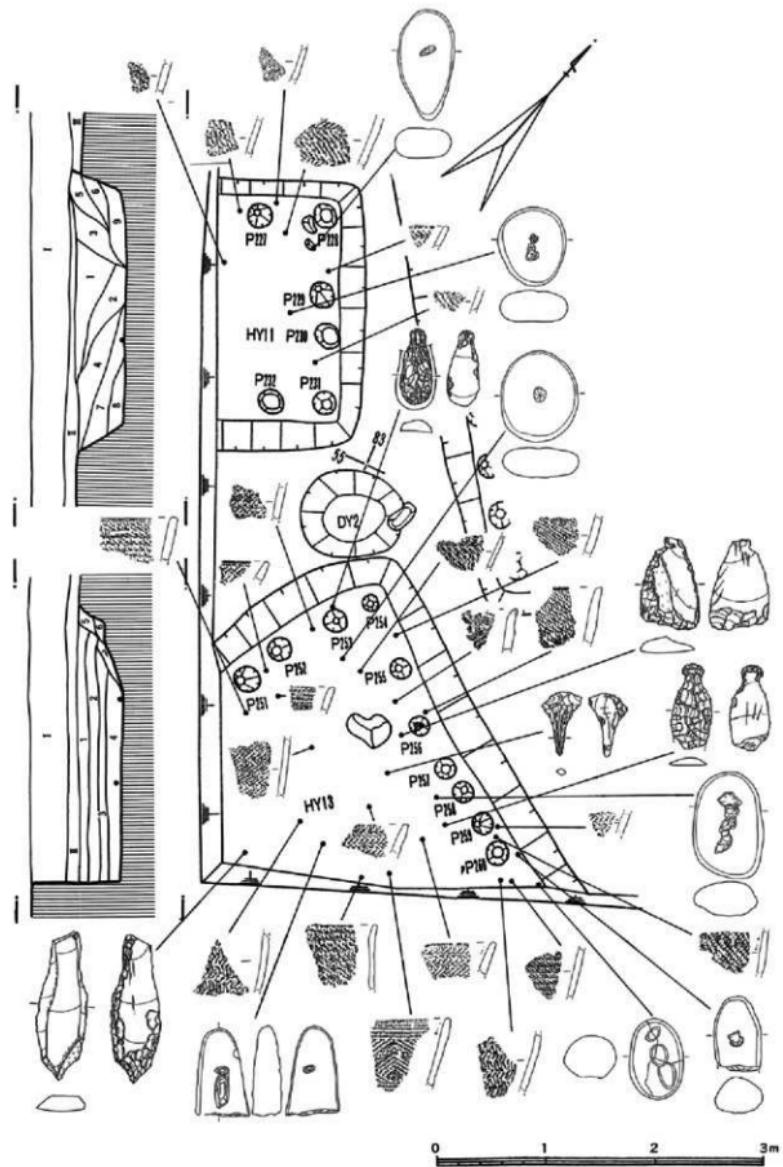
柱穴は、P251～P260の10本を確認している。柱間の間隔は30cm～50cm、深さは平均40cmをなし、径は24cm前後を示している。柱穴の角度は住居側に対し68°～82°の傾きをなしていた。

〈壁の状況〉

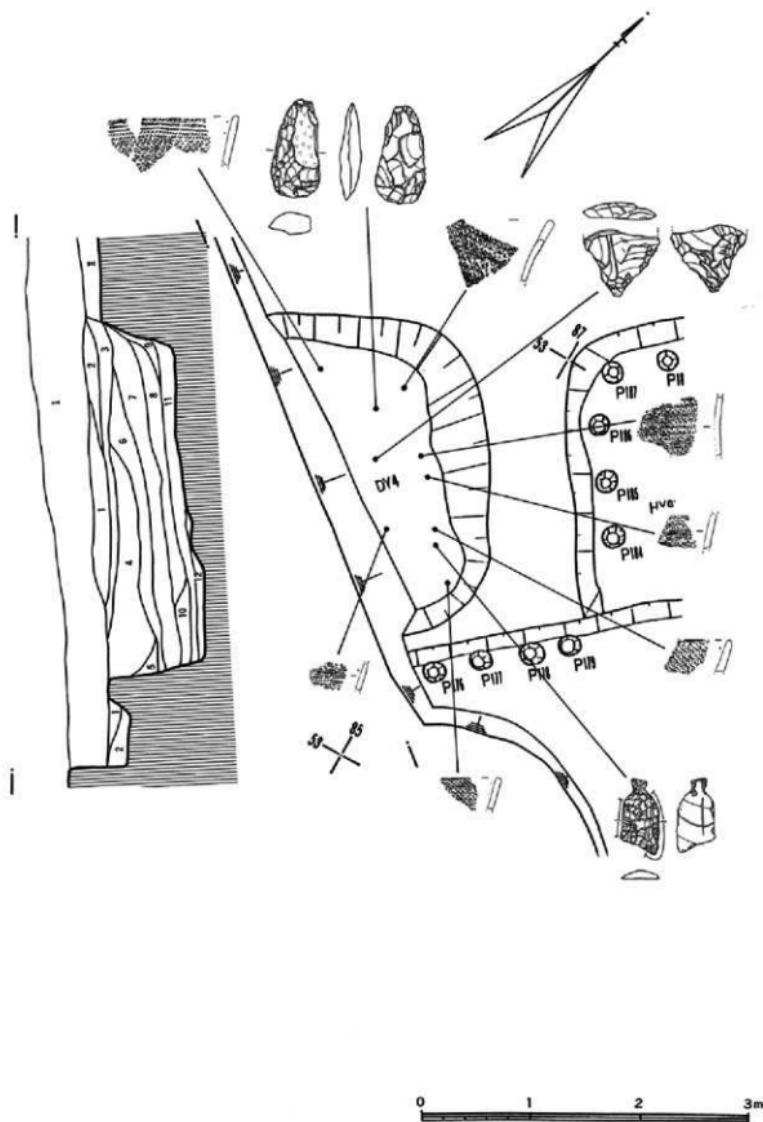
3m
2
1
0



第238図 一ノ坂造跡第V次調査 HY12平面図



第239図 一ノ坂遺跡第V次調査HY11・13平面図



第240図 一ノ坂遺跡第V次調査DY4平面図

ゆるやかに立上り、30cm前後であった。

〈覆土の状況〉

住居内部の覆土は4枚に分けられる。土色は、暗黒褐色と暗茶褐色で遺物は4層から床面にかけて認められた。

〈戸跡〉

確認されなかった。

〈検出遺物〉

土器片20点と石匙3点、石錐1点、凹石6点に剥片18点の計48点である。

2) 土 壤

調査区の西側から2基確認された。

・ D Y 2

平面形状が円形を示すもので、長径95cm、短径82cmを測る。底面の形状はボルトに掘込んでおり、確認面からの深さは23cmであった。遺物は自然疊以外は出土していない。

・ D Y 4 『第232図、第240図』

半分が調査区の西側に食い込んでいる。不整な方形を示すとみられ、現長が2.90cm、深さが98cmを測る。覆土は12枚で北寄りからの堆積状況を示していた。遺物は、土器片17点、剥片15点が底面付近より認められた。

II 検出された遺物

今回の調査で検出された遺物は、H Y 6～H Y 13の竪穴住居跡を中心にして1,430点が検出されている。ここでは土器と石器に大別し、概要を述べる。

1) 出土土器

『第241図～第242図、第244図、第248図、第250図、第251図、第252図』

土器は、住居跡出土の597点を筆頭にグリット出土が76点、D Y 4からの17点の計690点が検出されている。いずれも磨滅が著しく、文様の判別される土器としては僅かであった。182点を選別して以下、第1次調査の分類に従って簡単に説明を加える。

2) 出土土器の分類

第V次調査出土の土器には次の7群、10類が含まれる。

〈I群土器〉 ループ文を地文として構成するもの。

- ・ I群a1類=ループ文を全面に施すもの。

『第241図-1~7・13~21・23~25, 第242図-21~4, 143図版-50, 第244図-3~5・13~25, 第244図-40, 第248図-5~7・13~16・20・25, 第249図-9・13, 第250図-3・10, 第250図-17~192324, 第252図-5・6・8・9・14・15・17~19・23, 147図版161, 148図版-177・179』

- ・ I群a2類=ループ文を羽状に施すもの。

『第242図-22, 第251図-1・2, 第252図-11』

- ・ I群b類=ループ文を地文とし、無文帯の区画文様を構成するもの。

『第241図-8~12, 第244図-8・9・11, 144図版-73, 第248図-24第252図-5・13』

- ・ I群c1類=ループ文を地文とし、沈線文を主体に文様を構成するもの。

『第242図-30, 第244図-1, 第252図-10』

- ・ I群c2類=ループ文を地文とし、コンパス文を主体に文様を構成するもの。

『第244図-2・7』

〈II群土器〉 単節繩文を地文として構成するもの。

- ・ II群a類=単節繩文を全面に施すもの。

『第242図-15・17・19~23・27, 第242図-18・24・26・28, 第244図-28第244図-30・31・33・37・38・40, 第248図-8・9・17・21・23, 第249図-10・11, 第250図-4・5・9, 第251図-6, 第252図-21』

〈III群土器〉 羽状繩文を地文として構成するもの。

- ・ III群a1類=羽状繩文を全面に施すもの。

『第250図-6』

〈IV群土器〉 無節繩文を地文として構成するもの。

『第244図-6, 第244図-35・36, 第252図-24』

〈V群土器〉 複節繩文を地文として構成するもの。

『第244図-29, 第250図-2第251図-4, 第252図-25』

〈VI群土器〉 結束繩文を地文として構成するもの。

『第242図-25・26・34~36, 第244図-26・27, 第248図-4・18・22, 第250図-1・21・22, 第250図-20, 第251図-3・5・7, 第252図-7・12・20・22』

〈Ⅷ群土器〉 土器の部分片を一括したもので、沈線文・突刺文・竹管文等で文様を構成するものを本群とした。この中には地文を有するものも含まれる。

- ・Ⅷ群b類=竹管文を主体としたもの。

『第244図-6, 第250図-15・16, 第252図-7』

- ・Ⅷ群c類=突刺文を主体としたもの。

『第242図-31~33・38・39第244図-39・41・42』

- ・Ⅷ群e類=貼付文を主体としたもの。

『第250図-16』 以上、出土土器の詳細は下記の第28表を参照。

3) 出土石器

第V次調査出土の石器は、住居跡出土の455点を筆頭にグリット出土が270点、DY4からの15点の計740点が検出されている。

4) 出土石器の分類

分類石器は、I群石器2点、II群石器40点、III群石器1点、IV群石器4点、V群石器9点、VI群石器2点、VII群石器1点、IX群石器1点の、合計60点が出土した。VII群石器、X群石器の出土はなし。これらの石器について37点を作図した。分類・細類については、第I次調査に準じ「第29表一ノ坂遺跡第V次調査出土石器計測観察表」を作成した。

〈I群石器〉

石鎚に分類したもので、2点とも未完成の形態で、第149図版2は第II段階、同図版1は第III段階に細類した。剥離調整を断念した石鎚である。

〈II群石器〉

石匙に分類したもので、完成石器は14点存在し大半が使用痕を有する。出土地区は住居跡に集中。未完成品は第II段階～第VII段階までの形態が認められる。

〈III群石器〉

両尖匕首に分類したもので、HY12から1点出土。斜線の破損面を有する失敗品であり、III群VIIb類に細類した。

〈IV群石器〉

石鉈に分類したもので、全て住居跡からの出土である。形態は破損面を有する失敗品であり、第III段階～第VII段階に位置する。

〈V群石器〉

石錐に分類したもので、本群も住居跡で占められる。つまみ部を有するV群a類が5点、簡単な調整のV群b類が3点、棒状のV群c類が1点の出土。

〈VI群石器〉

石箇に分類したもので、VI群f類は小型の形態であり、使用痕を有する。VI群g類に細類した第152図版59は未完成品である。

〈VII群石器〉

搔器に分類したもので、HY6からの出土。VII群a類に分類した形態であり、作業縁辺となる刃部は厚味の形状をなす。この箇所には使用痕が観察された。

〈K群石器〉

磨製石器で、石材は蛇紋岩を使用している。この石材は当市には産出しないことから、他の地区から搬入されたと考えられる。刃部欠損。

5) 碓 器

凹石26点、磨石6点の合計32点が出土。住居跡からの出土が大半である。

第30表一ノ坂第V次調査出土礫器分類計測表を参照。

IV 要 約

第Ⅳ次調査で確認された住居跡群を解明するために、南側を拡張して実施したものであり、新たに8棟の住居跡が確認された。この中には、全長13.6mを有したHY7も存在し、さらに第Ⅳ次調査では3時期とみられていた住居跡は4時期の切り合いを示すことも判った。第Ⅳ次調査で確認された住居跡も加え年代的に列挙すれば次のようになる。

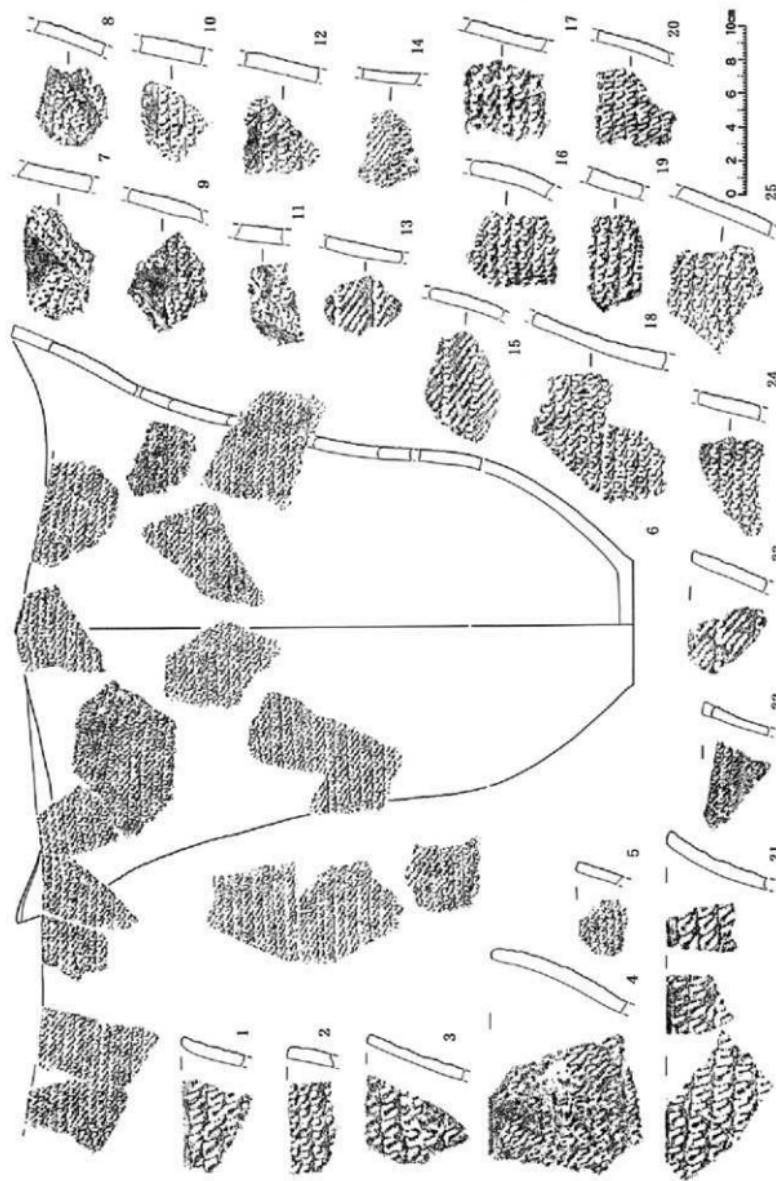
- 1期=HY1・HY9・HY11・HY12の4棟。
- 2期=HY2・HY7・HY10・HY13の4棟。
- 3期=HY3・HY5・HY8の3棟。
- 4期=HY4・HY6の2棟。

このように、1期・2期は4棟を有するが、3期は3棟、4期は2棟と時期が新しくなるにつれ、数が少なくなってくる。

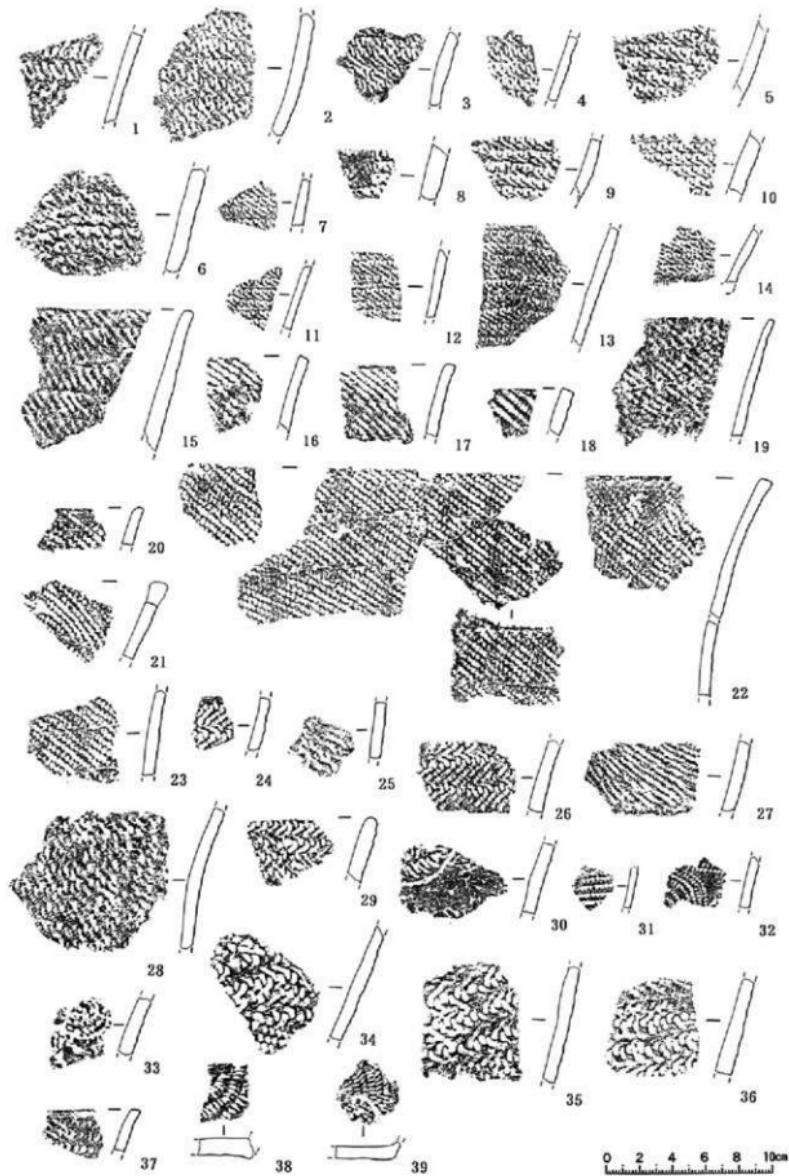
ここで注目されるのが第Ⅰ次調査で確認された大型住居跡である。大型住居は既に判明しているように、石器製作を行っていた工房跡であるが、時間的空間の中で、3回の整地を実施している。しかも、最初の第Ⅵの整地層の段階では、6基の地床炉が存在していたのが、第Ⅲの整地層では5基、第Ⅱの整地層で4基、第Ⅰの整地層面には3基と時間が経過するに従って、炉の数が減少、つまり意図的に埋めているのである。しかも炉の減少は、東端から順次削減されている。大型住居跡の炉の減少は、住居空間の機能の変化の推移とも考えられない訳でもないが、今回の住居跡の減少と共に通しているようにもみえる。

大型住居跡の確認面や覆土の様子、それに出土土器を第Ⅳ次・第Ⅴ次調査と比較したとき、特に年代的な相違はみいだせない。つまり、1期～4期の一連の住居跡とは並行関係にあった可能性が指摘されるのである。

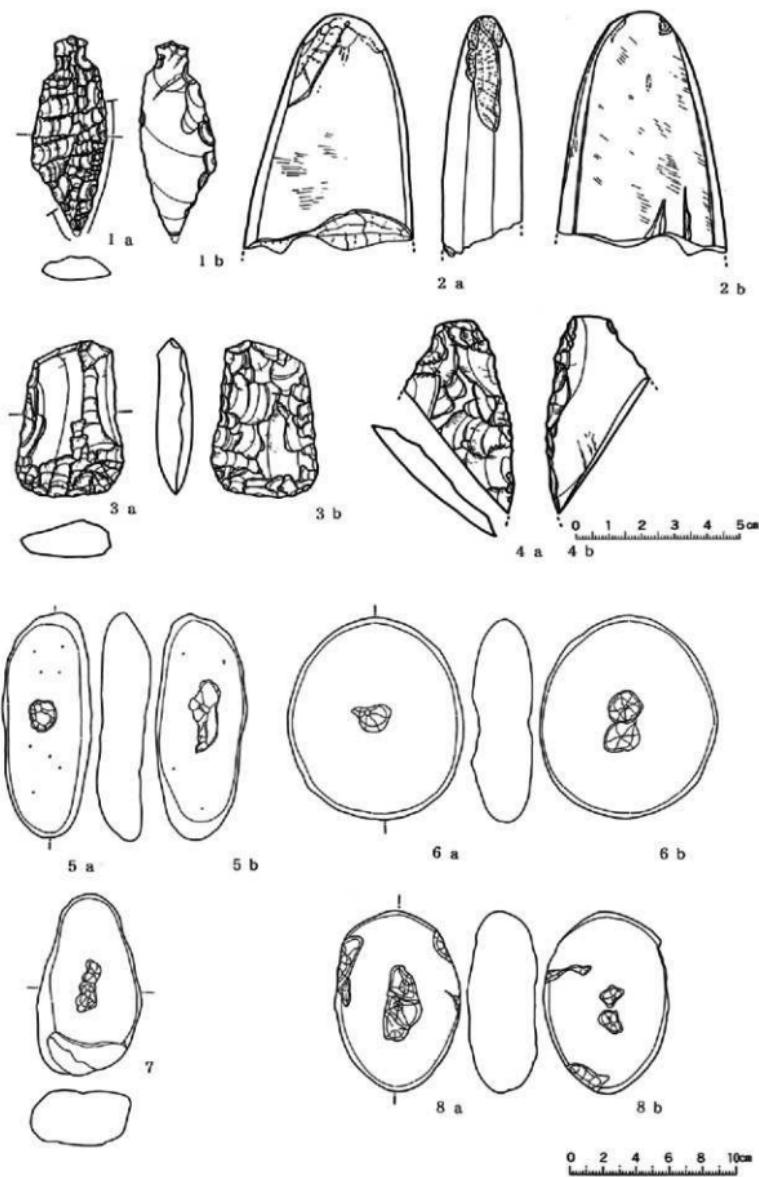
従って、大型住居跡の炉の減少と住居跡の減少は共通した背景から成立していると考えるべきで、強いて述べれば人口の減少などが推測される。



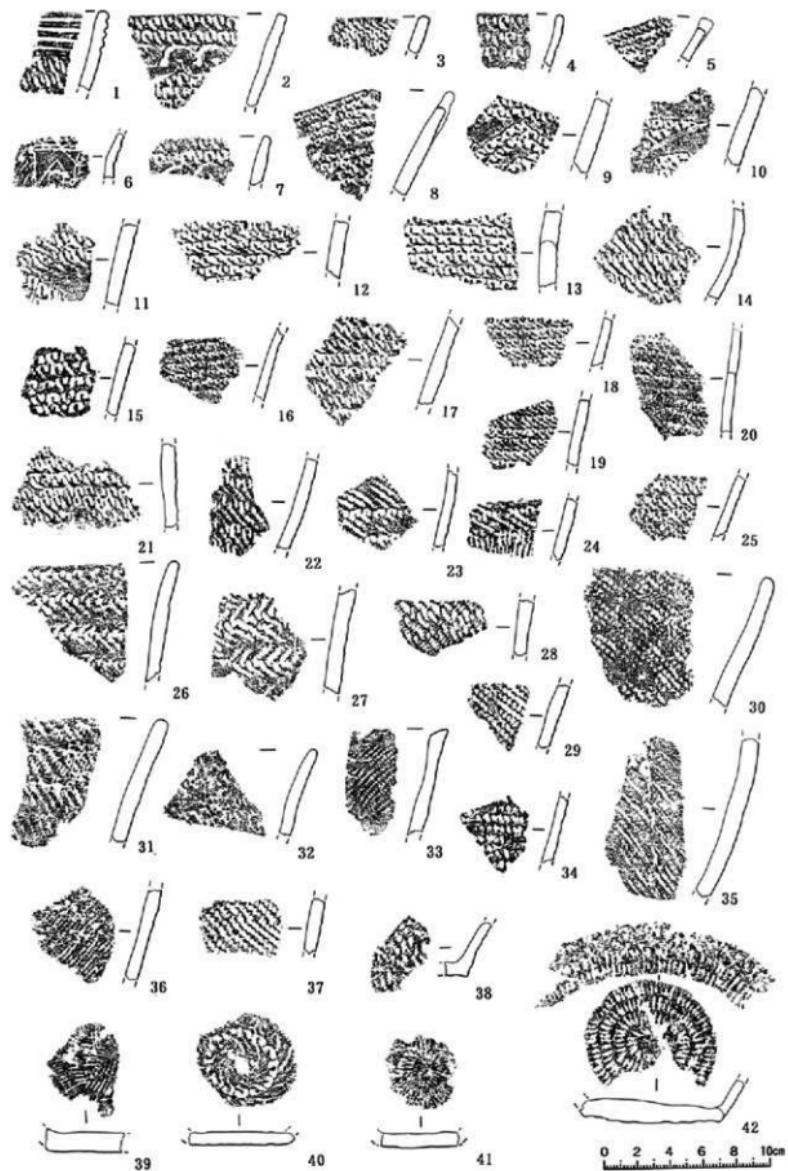
第241図 一ノ坂遺跡第V次調査出土土器拓影・石器実測図(1)



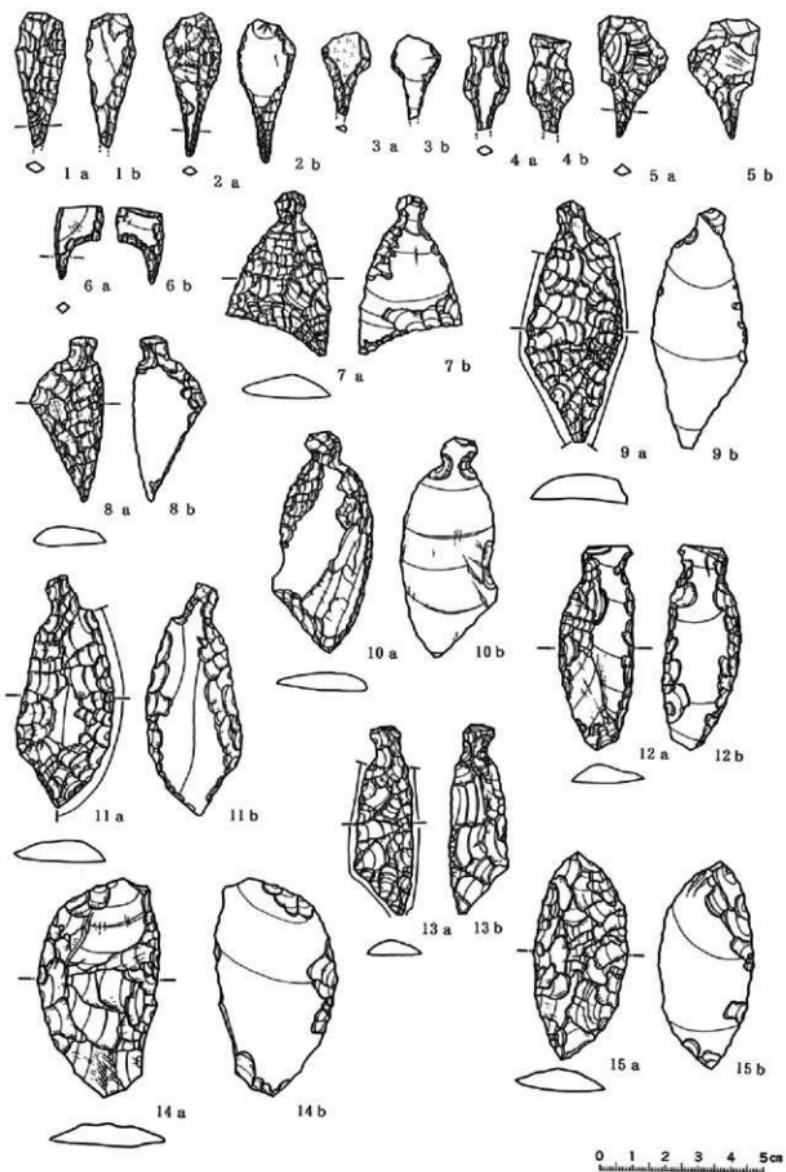
第242図 一ノ坂遺跡第V次調査出土土器拓影・石器実測図(2)



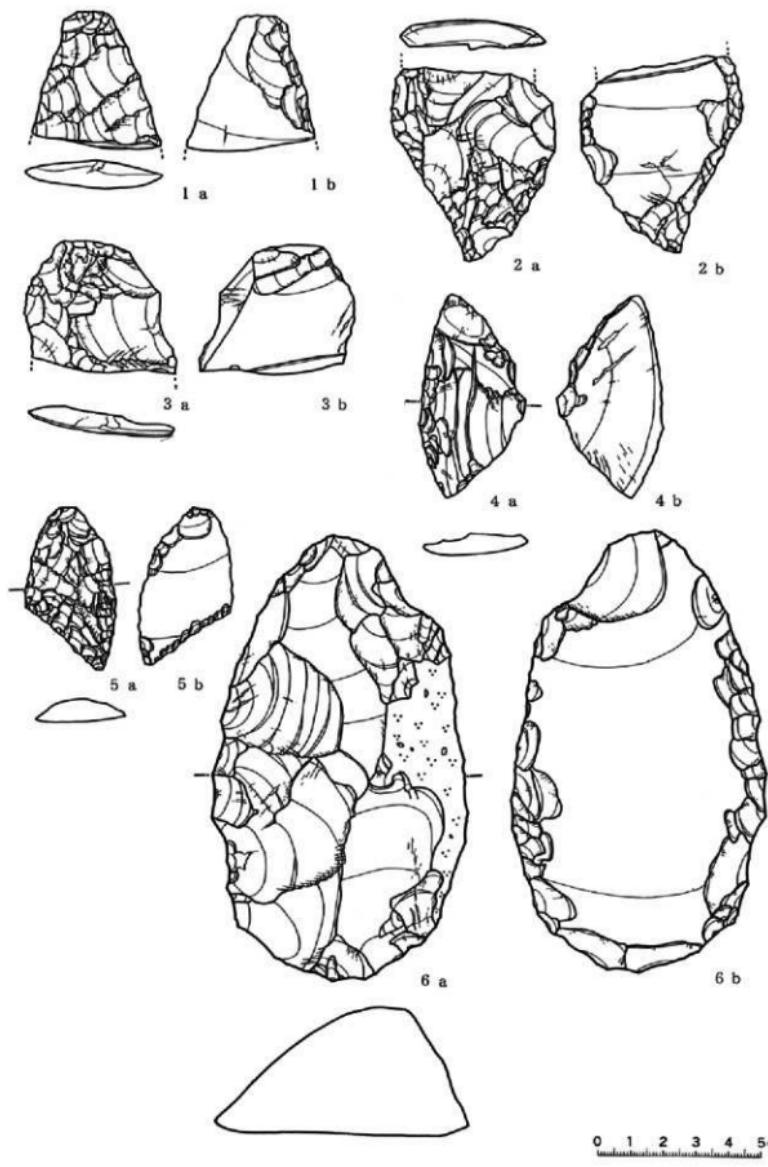
第243図 一ノ坂遺跡第V次調査出土土器拓影・石器実測図(3)



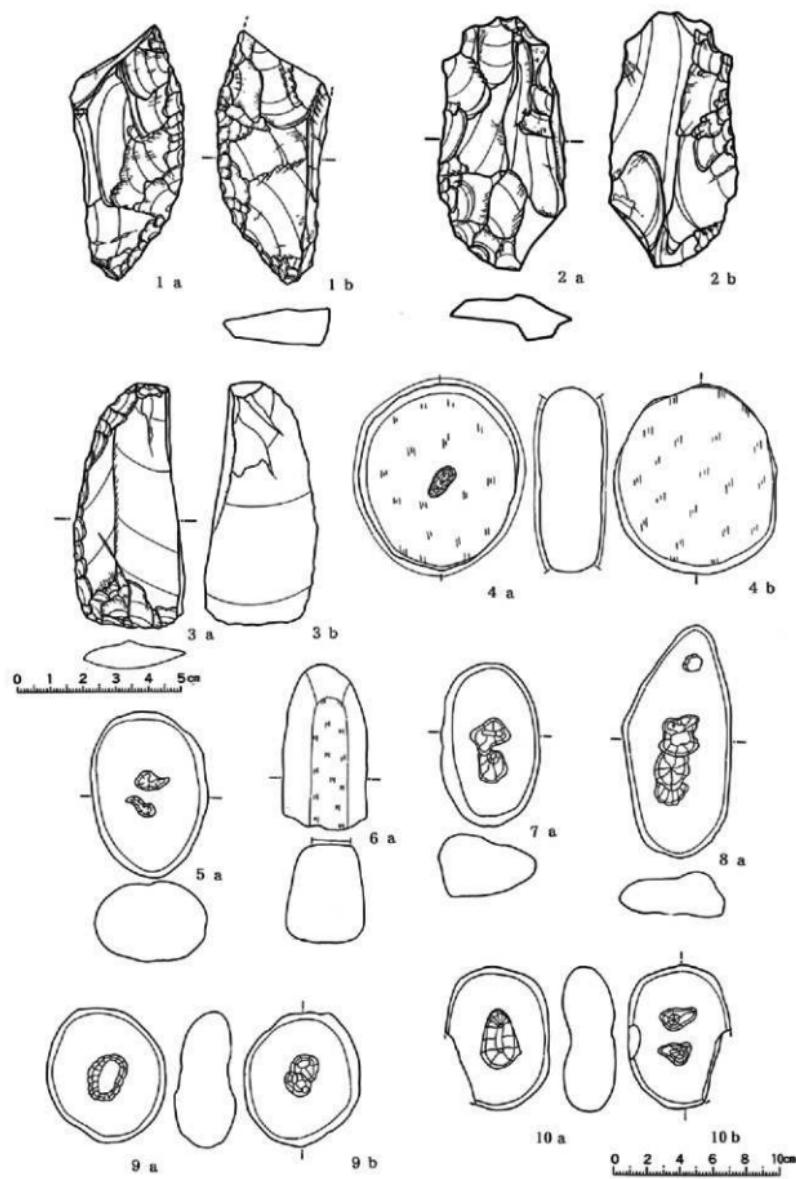
第244図 一ノ坂遺跡第V次調査出土土器拓影・石器実測図(4)



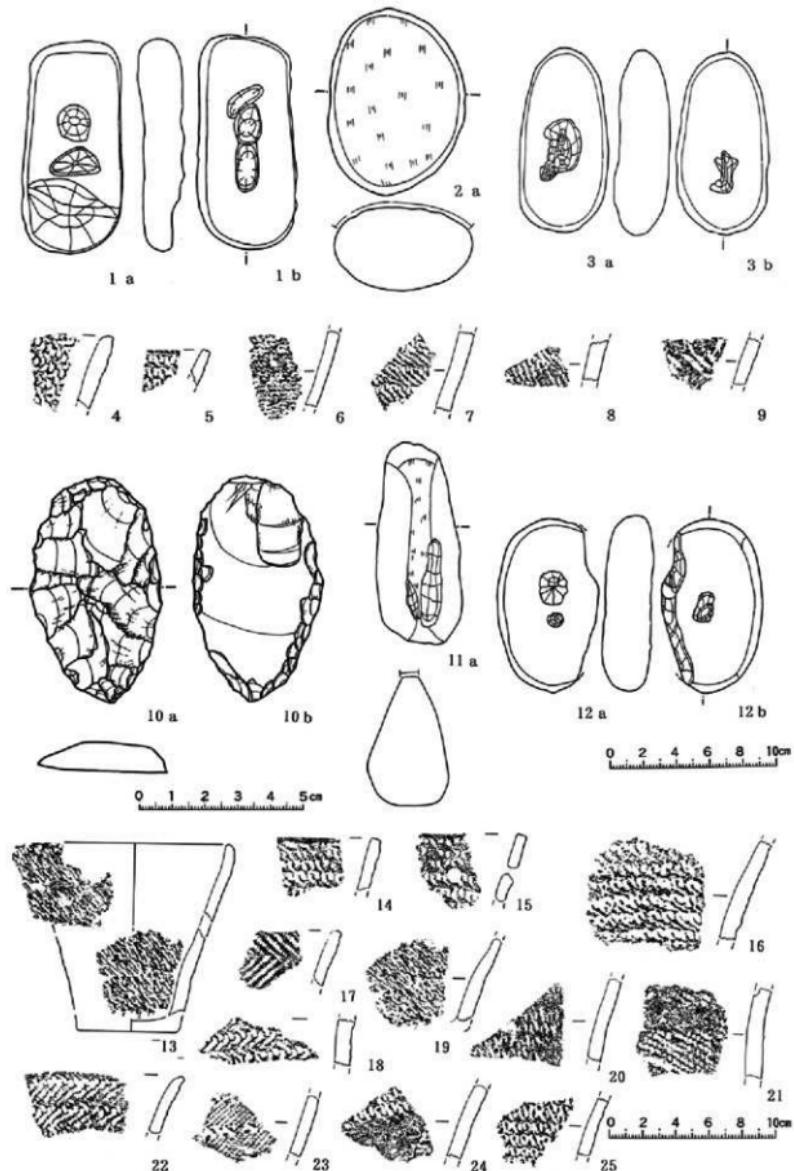
第245図 一ノ坂遺跡第V次調査出土土器拓影・石器実測図(5)



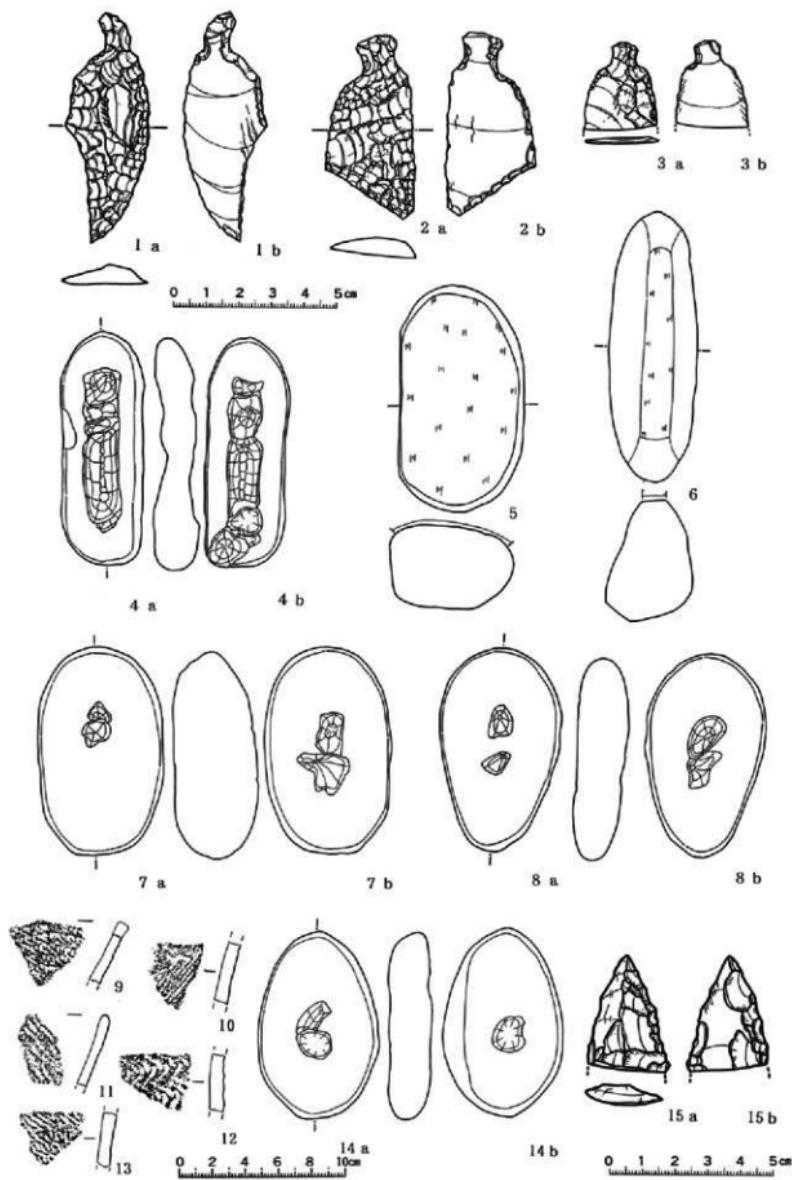
第246図 一ノ坂遺跡第V次調査出土土器拓影・石器実測図(6)



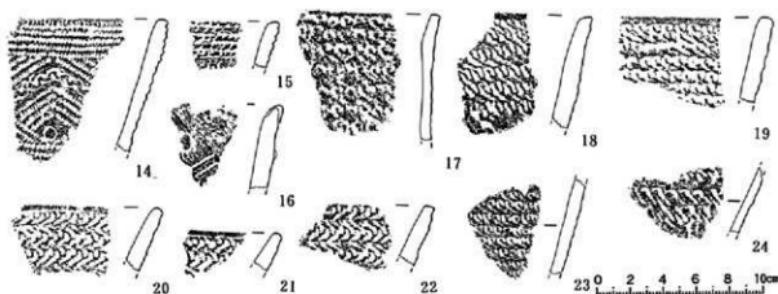
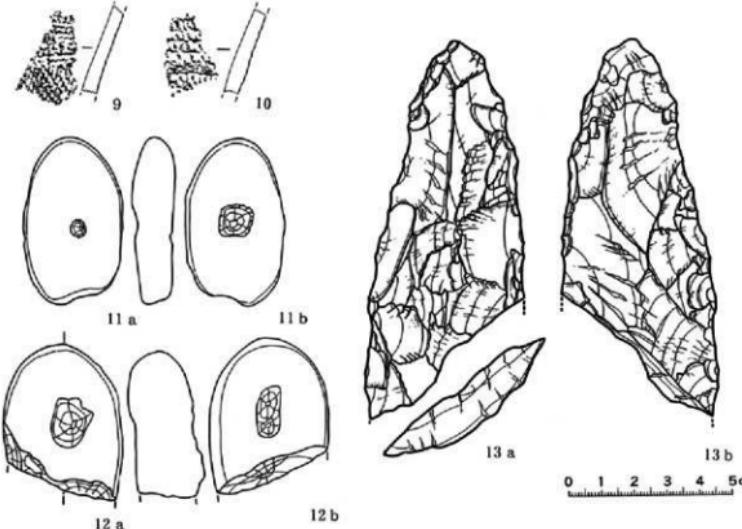
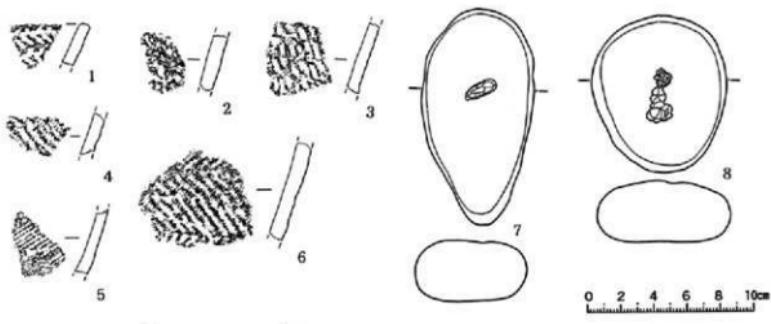
第247図 一ノ坂遺跡第V次調査出土土器拓影・石器実測図(7)



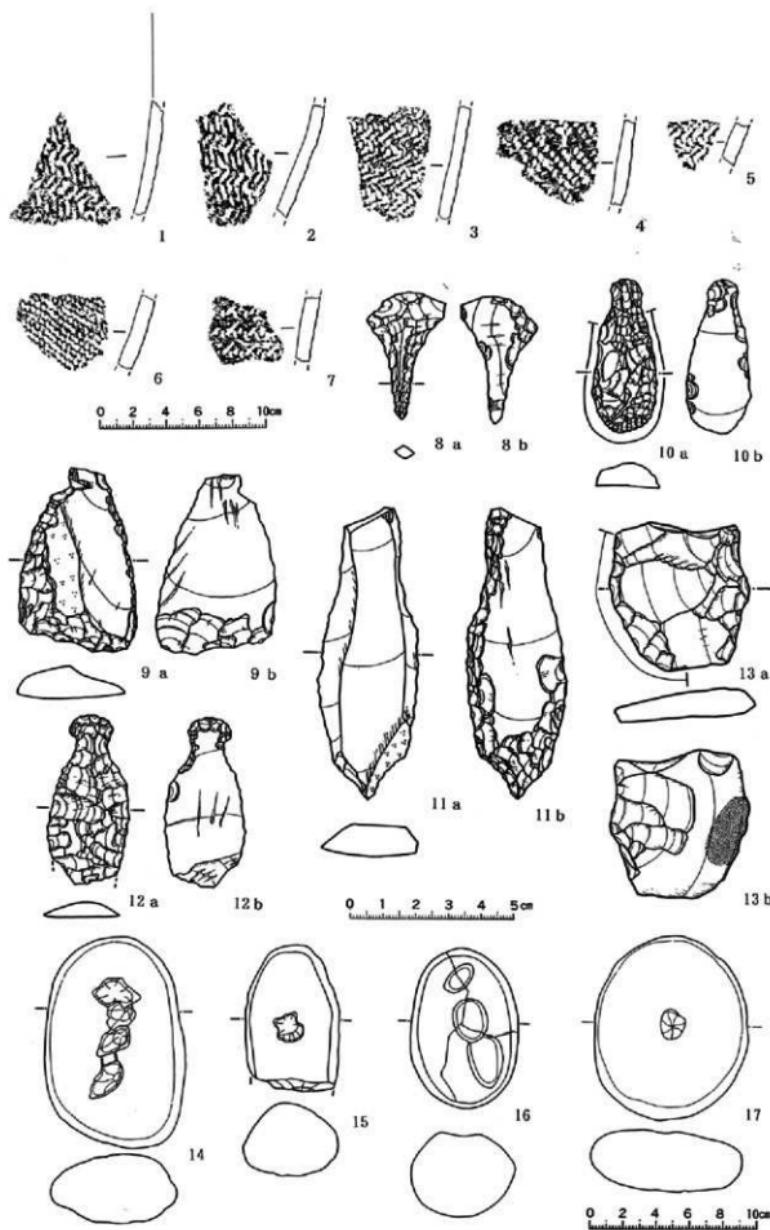
第248図 一ノ坂遺跡第V次調査出土土器拓影・石器実測図(8)



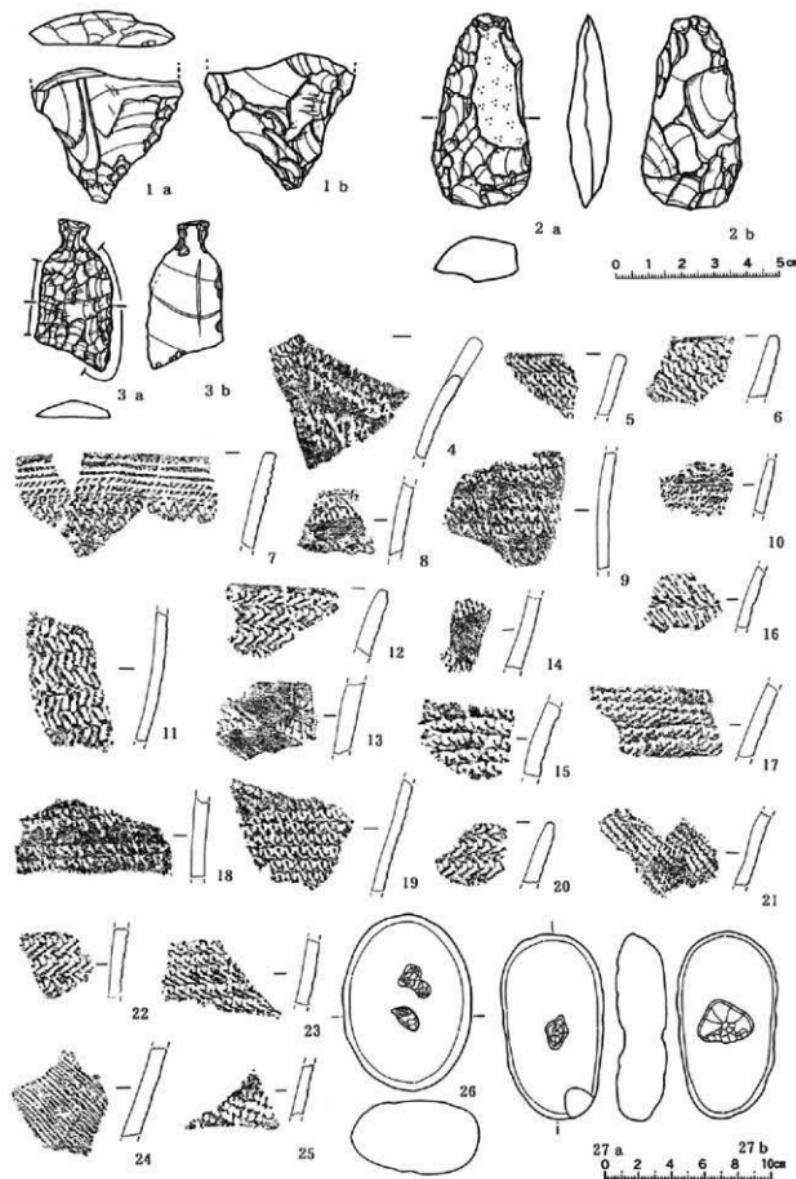
第249図 一ノ坂遺跡第V次調査出土土器拓影・石器実測図(9)



第250図 一ノ坂遺跡第V次調査出土土器拓影・石器実測図(10)



第251図 一ノ坂遺跡第V次調査出土土器拓影・石器実測図(11)



第252図 一ノ坂遺跡第V次調査出土土器拓影・石器実測図(12)

第28表 一ノ坂遺跡第V次調査出土土器観察表

通し No.	因数No.	博因No.	出土土地区	器形	体 部	萬文手法	文様構成	内面調整	分類
1	1428版- 1	第241回- 1	H Y6	深鉢形D	口縁部	ループC瓶	ミガキ横	I群 a'類	
2	1428版- 2	第241回- 2	H Y6	深鉢形H	口縁部	ループB瓶	ミガキ横	I群 a'類	
3	1428版- 3	第241回- 3	H Y6	深鉢形D	口縁部	ループB瓶	ミガキ縦	I群 a'類	
4	1428版- 4	第241回- 4	H Y6	深鉢形A	口縁部	ループC瓶	ミガキ横・縦	I群 a'類	
5	1428版- 5	第241回- 5	H Y6	深鉢形D	口縁部	ループA瓶	ミガキ横	I群 a'類	
6		第241回- 6	H Y6	深鉢形A	上半部	ループB瓶	ミガキ横・縦	I群 a'類	
7	1428版- 6	第241回- 7	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 a'類	
8	1428版- 7	第241回- 8	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 b類	
9	1428版- 8	第241回- 11	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 b類	
10	1428版- 9	第241回- 12	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 b類	
11	1428版- 10	第241回- 10	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 b類	
12	1428版- 11	第241回- 13	H Y6	深鉢形	胴 部	ループE瓶	ナデ・ミガキ横	I群 a'類	
13	1428版- 12	第241回- 9	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 b類	
14	1428版- 13	第241回- 14	H Y6	深鉢形	胴 部	ループC・E瓶	ミガキ横	I群 a'類	
15	1428版- 14	第241回- 23	H Y6	深鉢形	口縁部	単節繩文A'	ナデ横+ミガキ横・縦	I群 a'類	
16	1428版- 15	第241回- 16	H Y6	深鉢形	胴 部	ループC瓶	ミガキ横+ナデ斜	I群 a'類	
17	1428版- 16	第241回- 17	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ミガキ横	I群 a'類	
18	1428版- 17	第241回- 20	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	マメツ不明	I群 a'類	
19	1428版- 18	第241回- 24	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ミガキ横~縦	I群 a'類	
20	1428版- 19	第241回- 15	H Y6	深鉢形	胴 部	ループE瓶	ナデ・ミガキ横	I群 a'類	
21	1428版- 20	第241回- 19	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	マメツ不明	I群 a'類	
22		第241回- 21	H Y6	深鉢形D	口縁部	ループB瓶	ナデ・ミガキ横	I群 a'類	
23	1428版- 21	第241回- 25	H Y6	深鉢形	胴 部	ループC瓶	ナデ横+ミガキ横・斜	I群 a'類	
24	1428版- 22	第241回- 18	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 a'類	
25	1428版- 23	第241回- 22	H Y6	深鉢形D	口縁部	ループB瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 a'類	
26	1428版- 24	第242回- 1	H Y6	深鉢形	胴 部	ループC瓶による羽状繩文	ナデ・ミガキ横	I群 a'類	
27	1428版- 25	第242回- 2	H Y6	深鉢形	胴 部	ループC瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 a'類	
28	1428版- 26	第242回- 6	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 a'類	
29	1428版- 27	第242回- 5	H Y6	深鉢形	下胴部	ループB瓶	ナデ・ミガキ横	I群 a'類	
30	1428版- 28	第242回- 4	H Y6	深鉢形	胴 部	ループC瓶	ナデ横	I群 a'類	
31	1428版- 29	第242回- 3	H Y6	深鉢形	胴 部	ループC瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 a'類	
32	1428版- 30	第242回- 7	H Y6	深鉢形	胴 部	ループC瓶	ミガキ横	I群 a'類	
33	1428版- 31	第242回- 8	H Y6	深鉢形	胴 部	ループA瓶	ミガキ横	I群 a'類	
34	1428版- 32	第242回- 9	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ナデ横	I群 a'類	
35	1428版- 33	第242回- 10	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 a'類	
36	1428版- 34	第242回- 11	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ナデ横	I群 a'類	
37	1428版- 35	第242回- 12	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 a'類	
38	1428版- 36	第242回- 13	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ナデ横+ミガキ縦	I群 a'類	
39	1428版- 37	第242回- 14	H Y6	深鉢形	胴 部	ループB瓶	ミガキ縦	I群 a'類	
40	1428版- 38 a ~ d	第242回- 22	H Y6	深鉢形D	胴 部	単節繩文A'	ナデ・ミガキ横	II群 a 類	
41	1428版- 39	第242回- 21	H Y6	深鉢形	胴 部	単節繩文A'	ナデ・ミガキ横	II群 a 類	
42	1428版- 40	第242回- 17	H Y6	深鉢形D	口縁部	単節繩文A'	ナデ横	II群 a 類	
43	1428版- 41	第242回- 20	H Y6	深鉢形D	胴 部	単節繩文A'	ナデ横	II群 a 類	
44	1428版- 42	第242回- 19	H Y6	深鉢形I	口縁部	単節繩文A'	ナデ横+ミガキ縦	II群 a 類	
45	1428版- 43	第242回- 23	H Y6	深鉢形	胴 部	単節繩文A'	ナデ横・斜	II群 a 類	

通し No	図版No	博団No	出土地区	器形	体 部	無文手法	文様構成	内面調整	分 類
46	143回版- 44	第242回- 27	HY6	深鉢形	胴 部	單面織文A ²		ナデ模	Ⅱ群 a 類
47	143回版- 45	第242回- 15	HY6	深鉢形	胴 部	單面織文A ²		ミガキ模	Ⅱ群 a 類
48	—	第242回- 24	HY6	深鉢形	胴 部	結束織文B		ミガキ模	遺群土器
49	143回版- 46	第242回- 18	HY6	深鉢形D	口縁部	單面織文A ²		ナデ・ミガキ模	Ⅱ群 a 類
50	143回版- 47	第242回- 16	HY6	深鉢形D	口縁部	單面織文A ²		ナデ・ミガキ模	Ⅱ群 a 類
51	143回版- 48	第242回- 26	HY6	深鉢形	胴 部	結束織文B		ナデ模	遺群土器
52	143回版- 49	—	HY6	深鉢形	胴 部	單面織文A ²		ミガキ模	Ⅱ群 a 類
53	143回版- 50	—	HY6	深鉢形	胴 部	ループB類		ナデ・ミガキ模	I群 a'類
54	144回版- 51	第243回- 28	HY6	深鉢形	胴 部	單面織文A ²		ナデ模・ミガキ模	Ⅱ群 a 類
55	144回版- 52	第243回- 31	HY6	深鉢形	胴 部	突刺文C		ミガキ模	遺群 c 類
56	144回版- 53	第243回- 32	HY6	深鉢形	胴 部	突刺文C		ナデ模・ミガキ模	遺群 c 類
57	144回版- 54	第243回- 34	HY6	深鉢形	胴 部	結束織文A		ミガキ模	遺群土器
58	144回版- 55	第243回- 35	HY6	深鉢形	胴 部	結束織文A		ナデ模+ミガキ模・斜	遺群土器
59	144回版- 56	第243回- 36	HY6	深鉢形	胴 部	結束織文A		ミガキ模	遺群土器
60	144回版- 57	第243回- 29	HY6	深鉢形	口縁部	結束織文A		ミガキ模	遺群 c 類
61	144回版- 58	第243回- 37	HY6	深鉢形I	口縁部	突刺文C		ナデ模	遺群 c 類
62	144回版- 59	第243回- 25	HY6	深鉢形	胴 部	結束織文B		ミガキ模	遺群土器
63	144回版- 60	第242回- 33	HY6	深鉢形	胴 部	突刺文C	X d 文様考?	ナデ模	遺群 c 類
64	144回版- 61	第242回- 39	HY6	深鉢形	底 部	突刺文B			遺群 c 類
65	144回版- 62	第242回- 38	HY6	深鉢形	底 部	突刺文B			遺群 c 類
66	144回版- 63	第242回- 30	HY6	深鉢形	胴 部	ループF類・沈線文B		ミガキ模	I群 c'類
67	144回版- 64	第244回- 1	HY7	深鉢形H	胴 部	沈線文B+ループF類		ミガキ模・紙	I群 c'類
68	144回版- 65	第244回- 2	HY7	深鉢形D	胴 部	ループC類+コンバス文	K c 文様考	ナデ・ミガキ模	I群 c'類
69	144回版- 66	第244回- 3	HY7	深鉢形I	口縁部	ループB類		ミガキ模	I群 a'類
70	144回版- 67	第244回- 5	HY7	深鉢形A	口縁部	ループB類		ミガキ模	I群 a'類
71	144回版- 68	第244回- 6	HY7	深鉢形	胴上部	無刷織文+沈線文A	K a 文様考	ミガキ模	N・遺 d 類
72	144回版- 69	第244回- 7	HY7	深鉢形I	口縁部	ループC類+コンバス文	K c 文様考	ナデ模	I群 c'類
73	144回版- 70	第244回- 4	HY7	深鉢形I	口縁部	ループC類		ミガキ模	I群 a'類
74	144回版- 71	第244回- 11	HY7	深鉢形	胴 部	ループC類		ミガキ模	I群 b 類
75	—	第244回- 9	HY7	深鉢形	胴上部	ループB類	遺 b 文様考	ミガキ模・斜	I群 b 類
76	144回版- 72	第244回- 8	HY7	深鉢形A	口縁部	ループB類	II b 文様考	ミガキ・ナデ模	I群 b 類
77	144回版- 73	—	HY7	深鉢形	胴 部	ループA類	遺 a 文様考	ミガキ模・斜	I群 b 類
78	144回版- 74	第244回- 15	HY7	深鉢形	胴 部	ループB類		ミガキ模+ヘラ調整	I群 a'類
79	144回版- 75	第244回- 12	HY7	深鉢形	胴 部	ループB・C類		ナデ・ミガキ模	I群 a'類
80	144回版- 76	第244回- 15	HY7	深鉢形	胴 部	ループA類		ナデ模	I群 a'類
81	144回版- 77	第244回- 16	HY7	深鉢形	胴 部	ループB類		ナデ模・斜	I群 a'類
82	144回版- 78	—	HY7	深鉢形	胴 部	ループB類		ミガキ模	I群 a'類
83	144回版- 79	第244回- 18	HY7	深鉢形	胴 部	ループB類		ナデ模	I群 a'類
84	144回版- 80	第244回- 21	HY7	深鉢形	胴 部	ループB・C類		ナデ・ミガキ模	I群 a'類
85	144回版- 81	第244回- 22	HY7	深鉢形	胴 部	ループF類		ナデ・ミガキ模	I群 a'類
86	144回版- 82	第244回- 17	HY7	深鉢形	胴 部	ループC類		ミガキ模・綻	I群 a'類
87	144回版- 83	第244回- 20	HY7	深鉢形	胴 部	ループE類		ナデ・ミガキ模	I群 a'類
88	144回版- 84	第244回- 23	HY7	深鉢形	胴 部	ループE類		ナデ・ミガキ模	I群 a'類
89	145回版- 85	第244回- 19	HY7	深鉢形	胴 部	ループE類		ミガキ模・綻	I群 a'類
90	145回版- 86	第244回- 24	HY7	深鉢形	底辺部	ループE類+突刺文B		ナデ模	I群 a'類
91	145回版- 87	第244回- 25	HY7	深鉢形	下胴部	ループC類		ナデ模	I群 a'類

通し No	図版No	種別No	出土地区	型形	体 部	施文手法	文様構成	内面調整	分類
92	145図版- 88	第244図- 26	H Y7	深鉢形D	口縁部	結束織文A		ミガキ横	埴群土器
93	145図版- 89	第244図- 14	H Y7	深鉢形	胴 部	ループC類		ナデ・ミガキ横+縱	I群 a'類
94	145図版- 90	第244図- 27	H Y7	深鉢形	胴 部	結束織文B		マメツ不明	埴群土器
95	145図版- 91	第244図- 28	H Y7	深鉢形	胴 部	単節織文A ²		ナデ横	II群 a'類
96	145図版- 92	第244図- 31	H Y7	深鉢形D	口縁部	単節織文A ²		ミガキ横・斜	II群 a 類
97	145図版- 93	第244図- 32	H Y7	深鉢形D	口縁部	マメツ不明		マメツ不明	
98	145図版- 94	第244図- 29	H Y7	深鉢形	胴 部	複節織文		ミガキ横	V群土器
99	145図版- 95	第244図- 30	H Y7	深鉢形A	胴 部	単節織文A ¹		ナデ・ミガキ横	II群 a 類
100	145図版- 96	第244図- 36	H Y7	深鉢形	胴 部	無節織文		ミガキ横	IV群土器
101	145図版- 97	第244図- 38	H Y7	深鉢形	底辺部	単節織文A ²		ナデ横	II群 a 類
102	145図版- 98	第244図- 39	H Y7	深鉢形H	口縁部	単節織文A ¹		ナデ横・斜	II群 a 類
103	145図版- 99	第244図- 34	H Y7	深鉢形	胴 部	複節織文		ナデ横	V群土器
104	145図版- 100	第244図- 35	H Y7	深鉢形	下胴部	無節織文		ナデ横	IV群土器
105	145図版- 101	第244図- 37	H Y7	深鉢形	胴 部	単節織文A ¹		ナデ横・斜	II群 a 類
106	145図版- 102	第244図- 41	H Y7	深鉢形	底 部	突刺文B			V群 c 類
107	145図版- 103	第244図- 40	H Y7	深鉢形	底 部	単節織文A ² +ループE類			II a - I a'
108	145図版- 104	第244図- 39	H Y7	深鉢形	底 部	突刺文B			V群 c 類
109	145図版- 105	第244図- 42	H Y7	深鉢形	底 部	突刺文B			V群 c 類
110	146図版- 106	第248図- 4	H Y8	深鉢形D	口縁部	枯葉織文A		ナデ・ミガキ横	埴群土器
111	146図版- 107	第248図- 5	H Y8	深鉢形D	口縁部	ループA類		ミガキ横	I群 a'類
112	146図版- 108	第248図- 6	H Y8	深鉢形	下胴部	ループF類		ナデ横	I群 a'類
113	146図版- 109	第248図- 7	H Y8	深鉢形	胴 部	ループE類		ミガキ横	I群 a'類
114	146図版- 110	第248図- 8	H Y8	深鉢形	胴 部	単節織文A ¹		マメツ不明	II群 a 類
115	146図版- 111	第248図- 9	H Y8	深鉢形	下胴部	単節織文A ¹		ナデ斜	II群 a 類
116	146図版- 112	第248図- 13	H Y9	深鉢形I	部分体	ループF類		ナデ横+ミガキ横	I群 a'類
117	146図版- 113	第248図- 14	H Y9	深鉢形D	口縁部	ループB類		ナデ・ミガキ横	I群 a'類
118	146図版- 114	第248図- 16	H Y9	深鉢形	胴 部	ループC類		ミガキ横・斜	I群 a'類
119	146図版- 115	第248図- 20	H Y9	深鉢形	胴 部	ループI類		ナデ横+ミガキ斜	I群 a'類
120	146図版- 116	第248図- 15	H Y9	深鉢形D	口縁部	ループB類		ナデ・ミガキ横	I群 a'類
121	146図版- 117	第248図- 17	H Y9	深鉢形D	口縁部	単節織文B ²		ミガキ横	II群 a 類
122	146図版- 118	第248図- 23	H Y9	深鉢形	胴 部	単節織文A ¹		ミガキ横	II群 a 類
123	146図版- 119	第248図- 21	H Y9	深鉢形	胴 部	単節織文A ¹		ナデ横	II群 a 類
124	146図版- 120	第248図- 22	H Y9	深鉢形	口縁部	結束織文B		ナデ横・斜	埴群土器
125	146図版- 121	第248図- 18	H Y9	深鉢形	胴 部	結束織文B		ミガキ横	埴群土器
126	146図版- 122	第248図- 25	H Y9	深鉢形	胴 部	ループC類		ナデ横・斜	I群 a'類
127	146図版- 123	第249図- 9	H Y10	深鉢形A	口縁部	ループB類			I群 a'類
128	146図版- 124	第249図- 26	H Y9	深鉢形	胴 部	ループB類		ミガキ横~継	I群 b 類
129	146図版- 125	第249図- 10	H Y10	深鉢形	胴 部	単節織文A ¹		マメツ不明	II群 a 類
130	146図版- 126	第249図- 11	H Y10	深鉢形D	口縁部	単節織文A ¹		ミガキ横~継	II群 a 類
131	146図版- 127	第249図- 12	H Y10	深鉢形	胴 部	結束織文B		ミガキ横	埴群土器
132	146図版- 128	第249図- 13	H Y10	深鉢形D	口縁部	ループC - F類		ナデ横	I群 a'類
133	146図版- 129	第250図- 2	H Y11	深鉢形	胴 部	複節織文		ナデ横	V群土器
134	146図版- 130	第250図- 5	H Y11	深鉢形	胴 部	単節織文A ¹		ミガキ横	II群 a 類
135	146図版- 131	第250図- 1	H Y11	深鉢形D	胴 部	結束織文A		ミガキ横	埴群土器
136	146図版- 132	第250図- 3	H Y11	深鉢形	胴 部	ループB類		ミガキ横	I群 a'類
137	146図版- 133	第250図- 6	H Y11	深鉢形	胴 部	単節織文B ²		ミガキ横・斜	II群 a 類

通し No	国版No.	博団No.	出土地区	型形	体 部	筆文手法	文様模様	内面調整	分 類
138	1460版- 134	第25085- 9	HY12	深鉢形	胴 部	単筋縞文A ¹		ナデ・ミガキ縦	I群 a'類
139	1460版- 135	第25085- 10	HY12	深鉢形	胴 部	ループC類		マメツ不明	I群 a'類
140	1460版- 136	第25085- 4	HY11	深鉢形	胴 部	単筋縞文A ¹		ナデ横	I群 a'類
141	1460版- 137	第25085- 15	HY13	深鉢形II	口縁部	竹管文C		ナデ横	複群b類
142	1460版- 138	第25085- 21	HY13	深鉢形D	口縁部	結束縞文A		ミガキ横	複群土器
143	1460版- 139	第25085- 22	HY13	深鉢形D	口縁部	結束縞文A		ミガキ横	複群土器
144	1470版- 140	第25085- 14	HY13	深鉢形E	口縁部	変形C	Xb文様帶	ナデ横・縫	複群c類
145	1470版- 141	第25085- 17	HY13	深鉢形C	口縁部	ループC類		ミガキ横・縫	I群 a'類
146	1470版- 142	第25085- 18	HY13	深鉢形II	口縁部	ループC類		ナデ・ミガキ横・斜	I群 a'類
147	1470版- 143	第25085- 19	HY13	深鉢形D	口縁部	ループB類		マメツ不明	I群 a'類
148	1470版- 144	第25085- 20	HY13	深鉢形D	口縁部	結束縞文A		ミガキ縦	複群土器
149	1470版- 145	第25085- 16	HY13	深鉢形H	口縁部	竹管文B+貼付文		ナデ・ミガキ縦	複b・複e
150	1470版- 146	第25085- 23	HY13	深鉢形	胴 部	ループB類		ナデ・ミガキ縦	I群 a'類
151	1470版- 147	第25085- 24	HY13	深鉢形	胴 部	ループF		ミガキ横	I群 a'類
152	1470版- 148	第251回- 3	HY13	深鉢形	胴 部	結束縞文B		ナデ横+ミガキ縦	複群土器
153	1470版- 149	第251回- 4	HY13	深鉢形	胴 部	結束縞文		ナデ横+ミガキ縦	V群士器
154	1470版- 150	第251回- 5	HY13	深鉢形	胴 部	結束縞文B		ナデ横	複群土器
155	1470版- 151	第251回- 7	HY13	深鉢形	胴 部	結束縞文A		ナデ横+ミガキ縦	複群土器
156	1470版- 152	第251回- 6	HY13	深鉢形	胴 部	単筋縞文A ¹		マメツ不明	I群 a'類
157	1470版- 153	第251回- 1	HY13	深鉢形	胴 部	ループC帯による羽状縞文		ナデ横・縫	I群 a'類
158	1470版- 154	第251回- 2	HY13	深鉢形	胴 部	ループC帯による羽状縞文		ナデ横+ミガキ縦	I群 a'類
159	1470版- 155	第252回- 4	グリット	深鉢形A	口縁部	ループB類	N c 文様帶	ミガキ横	I群 b類
160	1470版- 156	第252回- 5	グリット	深鉢形D	口縁部	ループC類		ナデ・ミガキ横	I群 a'類
161	1470版- 157	第252回- 7	グリット	深鉢形D	口縁部	竹管文C+結束縞文A		ミガキ横・縫	複b・複e
162	1470版- 158	第252回- 6	グリット	深鉢形D	口縁部	ループC類		ミガキ横	I群 a'類
163	1470版- 159	第252回- 8	グリット	深鉢形	胴 部	ループB類		ミガキ横	I群 a'類
164	1470版- 160	第252回- 10	グリット	深鉢形	胴 部	ループB類+沈線文A	Va文様帶	ミガキ横	I群 a'類
165	1470版- 161	——	グリット	深鉢形	胴 部	ループC類		ナデ横	I群 a'類
166	1470版- 162	第252回- 22	グリット	深鉢形	胴 部	結束縞文A		ミガキ横	複群土器
167	1470版- 163	第252回- 20	グリット	深鉢形	胴 部	結束縞文A		ミガキ横	複群土器
168	1470版- 164	第252回- 17	グリット	深鉢形	胴 部	ループC類		ナデ横	I群 a'類
169	1480版- 165	第252回- 18	グリット	深鉢形	胴 部	ループB類		ミガキ横	I群 a'類
170	1480版- 166	第252回- 9	グリット	深鉢形	胴 部	ループB類		マメツ不明	I群 a'類
171	1480版- 167	第252回- 13	グリット	深鉢形	胴 部	ループA類	Va文様帶	ミガキ横	I群 b類
172	1480版- 168	第252回- 12	グリット	深鉢形	胴 部	結束縞文B		ミガキ横	複群土器
173	1480版- 169	第252回- 23	グリット	深鉢形	胴 部	ループC類		ミガキ横・縫	I群 a'類
174	1480版- 170	第252回- 14	グリット	深鉢形	胴 部	ループA類		ナデ横・ミガキ横	I群 a'類
175	1480版- 171	第252回- 19	グリット	深鉢形	胴 部	ループC類		ナデ横・ミガキ縦	I群 a'類
176	1480版- 172	第252回- 11	グリット	深鉢形	胴 部	ループC帯による羽状縞文		ナデ横・縫	I群 a'類
177	1480版- 173	第252回- 21	グリット	深鉢形	胴 部	単筋縞文A ¹		ナデ・ミガキ横・縫	I群 a'類
178	1480版- 175	第252回- 15	グリット	深鉢形	胴 部	ループB類		ナデ・ミガキ横	I群 a'類
179	1480版- 177	——	グリット	深鉢形	胴 部	ループB類		ナデ・ミガキ横	I群 a'類
180	1480版- 178	第252回- 24	グリット	深鉢形	胴 部	無筋縞文		ナデ横・縫	複群土器
181	1480版- 179	——	グリット	深鉢形	胴 部	ループB類		ナデ横・縫	I群 a'類
182	1480版- 180	第252回- 25	グリット	深鉢形	胴 部	度縞文		マメツ不明	V群土器

第29表 一ノ板遺跡第V次調査出土石器計測観察表

I群石器〔石鎚〕

登録番号	遺物名	出 収 番 号	種別番号	出土地区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	細 著	測定値	備考
1	BZ - 第14900番- 2			HY7	f	5.12	4.14	1.00	34.0	珪質岩	Ⅰ・Ⅲa b + R ²⁻⁴	未完成品	
2	BZ - 第14900番- 1			HY7	f	4.80	3.78	1.10	20.6	珪質岩	Ⅰ・Ⅲa b + R ²⁻⁴	未完成品	

II群石器〔石匙〕

登録番号	遺物名	出 収 番 号	種別番号	出土地区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	細 著	測定値	備考
3	BZ - 第15100番- 41			DY3	f	(3.95)	4.52	1.02	16.0	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳb類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴	破損面有り
4	BZ - 第15000番- 31			HY22	f	(4.30)	2.80	0.90	15.6	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳb類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴	破損面有り
5	BZ - 第15100番- 36			HY7	f	(4.36)	5.48	1.06	40.0	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳb類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴	破損面有り
6	BZ - 第15100番- 43	第25100- 13	HY13	f	(4.62)	4.28	0.76	18.2	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳb類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	破損面有り	
7	BZ - 第15100番- 50	第24600- 6	HY7	f	13.20	7.46	3.15	210.0	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳa類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴	未完成品	
8	BZ - 第15100番- 46	第24600- 3	HY7	f	(4.71)	4.32	0.84	19.4	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳb類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	破損面有り	
9	BZ - 第15100番- 35			HY7	f	14.70	4.46	0.82	25.0	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳb類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴	破損面有り
10	BZ - 第15000番- 22	第25100- 11	HY13	f	8.75	2.83	0.80	25.0	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳa類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴	未完成品	
11	BZ - 第15000番- 30	第24600- 2	HY7	f	(5.76)	5.14	1.16	29.6	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳb類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴	破損面有り	
12	BZ - 第15100番- 37			HY7	f	(4.45)	4.42	1.00	24.2	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳb類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴	破損面有り
13	BZ - 第15000番- 26			HY6	f	9.90	4.84	1.36	60.0	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳa類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴	未完成品
14	BZ - 第15000番- 34			HY7	f	(7.80)	(3.45)	1.24	30.6	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳa類	破損面有り	
15	BZ - 第15100番- 38	第24300- 4	HY6	f	(5.22)	3.42	0.86	12.2	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳb類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	破損面有り	
16	BZ - 第15000番- 26			HY6	f	6.25	(2.80)	0.88	18.4	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳb類	Ⅱb + R ²⁻⁴	破損面有り
17	BZ - 第15000番- 28	第24600- 25	HY7	f	(4.24)	3.82	0.70	13.0	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳb類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	破損面有り	
18	BZ - 第15000番- 33			HY7	f	(3.70)	2.50	0.65	4.5	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳb類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	破損面有り
19	BZ - 第14900番- 7	第24300- 1	HY6	f	(5.84)	2.27	0.60	7.3	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳa類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	使用痕有り	
20	BZ - 第14900番- 3	第24300- 13	HY7	H	5.66	1.80	0.58	5.1	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳa類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴	使用痕有り	
21	BZ - 第14900番- 11	第24300- 2	HY9	f	5.36	2.66	0.55	9.9	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳa類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	使用痕有り	
22	BZ - 第14900番- 8	第24300- 1	HY9		6.84	2.60	0.58	7.8	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳc類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴		
23	BZ - 第14900番- 9	第24300- 12	HY7	f	6.11	2.30	0.75	10.4	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳd類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴		
24	BZ - 第14900番- 17			HY7	f	(3.15)	2.49	0.50	5.8	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳd類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	欠損面有り
25	BZ - 第14900番- 16	第25100- 12	HY13	f	(5.10)	2.43	0.47	6.3	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳd類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	破損面有り	
26	BZ - 第14900番- 5	第24300- 9	HY7	f	7.29	2.94	0.60	13.2	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳc類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	使用痕有り	
27	BZ - 第14900番- 4	第24500- 11	HY7	f	6.98	2.92	0.70	14.6	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳc類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴	使用痕有り	
28	BZ - 第14900番- 6	第24500- 10	HY7	f	6.67	2.96	0.65	10.2	珪質岩	Ⅱ・Ⅲb - Ⅳc類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴		
29	BZ - 第15000番- 27		G54-88	H	5.24	3.68	0.65	14.4	珪質岩	ⅢC群 - Ⅰa類	H a + R ²⁻⁴		
30	BZ - 第15000番- 29			HY7	f	7.34	3.36	0.76	25.4	珪質岩	ⅢC群 - Ⅱb類	I b + R ²⁻⁴	破損面有り
31	BZ - 第15000番- 25	第24600- 4	HY7	f	6.90	3.20	0.98	14.2	珪質岩	ⅢC群 - Ⅲa類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	未完成品	
32	BZ - 第14900番- 18			HY7	f	6.89	4.00	0.84	27.4	珪質岩	ⅢC群 - Ⅲa類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	未完成品
33	BZ - 第15000番- 22			HY7	f	(6.30)	4.82	0.80	29.0	珪質岩	ⅢC群 - Ⅲb類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴	破損面有り
34	BZ - 第15000番- 24	第24300- 14	HY7	f	6.55	3.64	0.92	20.4	珪質岩	ⅢC群 - Ⅲa類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	未完成品	
35	BZ - 第14900番- 19	第24300- 15	HY7	f	6.29	2.90	0.88	14.6	珪質岩	ⅢC群 - Ⅲa類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	未完成品	
36	BZ - 第15000番- 21	第24600- 5	HY7	f	4.95	2.80	0.65	7.7	珪質岩	ⅢC群 - Ⅲa類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	未完成品	
37	BZ - 第15000番- 23			HY13	f	5.50	3.50	1.00	15.8	珪質岩	ⅢC群 - Ⅲa類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	未完成品
38	BZ - 第14900番- 15	第24900- 3	HY9	f	(4.62)	2.16	0.30	1.8	珪質岩	ⅢC群 - Ⅲb類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	破損面有り	
39	BZ - 第14900番- 12	第24300- 7	HY7	f	4.38	3.20	0.50	6.5	珪質岩	ⅢC群 - Ⅲb類	I - Ⅲa b + R ²⁻⁴		
40	BZ - 第14900番- 14		DY3	f	4.56	2.28	0.60	5.1	珪質岩	ⅢC群 - Ⅲc類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴		
41	BZ - 第14900番- 10	第24300- 8	HY7	f	4.94	2.26	0.60	5.1	珪質岩	ⅢC群 - Ⅲc類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴		
42	BZ - 第14900番- 13	第25100- 10	HY13	f	4.58	1.97	0.60	6.2	珪質岩	ⅢC群 - Ⅲd類	I - Ⅲb + R ²⁻⁴	使用痕有り	

III群石器〔兩尖匕首〕

通 番 号	遺物名	国 族 番 号	辨認番号	出土地区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	形 態	測量調整	備 考
43	BZ_11	第15208E- 52	第2508E- 12	HY12	f	01.46	4.60	1.86	70.0	珪質頁岩	双鋒一通彎頭	I - II a b + R ²⁻⁸	破損面有り

IV群石器〔石鉗〕

通 番 号	遺物名	国 族 番 号	辨認番号	出土地区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	形 態	測量調整	備 考
44	BZ_ -	第15208E- 56	——	HY6	f	18.30	5.20	1.68	53.5	珪質頁岩	双鋒一通彎頭	I - II a b + R ²⁻⁸	破損面有り
45	BZ_38	第15208E- 54	——	HY7	f	15.17	3.46	0.77	12.8	珪質頁岩	双鋒一通彎頭	I - II a b + R ²⁻⁸	破損面有り
46	BZ_ -	第15208E- 57	——	HY9	f	15.22	4.12	0.93	18.5	珪質頁岩	双鋒一通彎頭	I - II a b + R ²⁻⁸	破損面有り
47	BZ_21	第15208E- 53	第24905- 15	HY10	f	13.48	2.50	0.72	4.8	珪質頁岩	双鋒一通彎頭	I - II a b + R ²⁻⁸	破損面有り

V群石器〔石錐〕

通 番 号	遺物名	国 族 番 号	辨認番号	出土地区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	形 態	測量調整	備 考
48	BZ_17	第15104E- 49	第24505- 3	HY7	f	2.52	1.50	0.24	0.3	珪質頁岩	V鋒-a頭	I - II a b + R ⁴	自然面有り
49	BZ_41	第15104E- 47	第24505- 6	HY7	f	2.15	1.38	0.46	0.4	珪質頁岩	V鋒-a頭	I - II a b + R ⁴	
50	BZ_34	第15104E- 49	第24505- 4	HY7	f	3.00	1.49	0.54	1.9	珪質頁岩	V鋒-a頭	I - II a b + R ⁴⁻⁵	欠損面有り
51	BZ_9	第15104E- 49	第24505- 5	HY7	f	3.65	2.36	0.76	2.9	珪質頁岩	V鋒-a頭	I - II a b + R ⁴⁻⁵	
52	BZ_33	第15104E- 45	第25104- 8	HY13	f	3.06	2.40	0.61	2.7	珪質頁岩	V鋒-a頭	I - II a b + R ⁴⁻⁵	
53	BZ_26	第15104E- 42	第24505- 2	HY7	f	4.23	1.64	0.34	1.6	珪質頁岩	V鋒-b頭	I - II a b + R ⁴⁻⁵	
54	BZ_ -	第15104E- 44	——	HY9	f	4.76	2.33	0.81	7.3	珪質頁岩	V鋒-b頭	I - II a b + R ⁴⁻⁵	
55	BZ_ -	第15104E- 39	——	HY9	柱穴	4.93	1.60	0.54	2.6	珪質頁岩	V鋒-b頭	I - II a b + R ⁴⁻⁵	ハサケ面有り
56	BZ_35	第15104E- 54	第24505- 1	HY7	f	4.10	1.48	0.50	2.8	珪質頁岩	V鋒-c頭	I - II a b + R ⁴⁻⁵	欠損面有り

VI群石器〔石箇状石器〕

通 番 号	遺物名	国 族 番 号	辨認番号	出土地区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	形 態	測量調整	備 考
57	BZ_35	第15205E- 55	第25205- 2	DY4	f	8.40	3.10	1.25	23.8	珪質頁岩	双鋒- E頭	I - II a b + R ⁴⁻⁸	使用底有り
58	BZ_43	第15205E- 59	第24705- 2	HY7	f	7.62	3.80	1.50	29.8	珪質頁岩	双鋒- E頭	I - II a b + R ⁴⁻⁸	未完成石器

VII群石器〔櫛器〕

通 番 号	遺物名	国 族 番 号	辨認番号	出土地区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	形 態	測量調整	備 考
59	BZ_28	第15205E- 60	第24305- 3	HY6	f	4.63	3.30	1.06	4.3	珪質頁岩	双鋒- E頭	I - II a b + R ⁴⁻⁷	使用机有り

第30表 一ノ坂遺跡第V次調査出土器物分類計測表

通し 番号	遺物番号	出土地名	種別	場所	分類	長径 (cm)	幅径 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	石 材	採出番号	備考
1	348	HY6	磨利	f	1B+ⅢA+C3	13.3	5.2	2.8	310	砂 岩	第24308-	5
2	349	HY6	磨利	f	1A+ⅢA+C3	12.2	10.5	3.9	700	閃緑岩	第24308-	6
3	316	HY6-71	磨利	f	1B+ⅢA+C3	11.0	7.3	4.7	520	閃緑岩	第24308-	8
4	%ナシ	HY6	磨利	f	1B+ⅢA+C6	11.0	6.9	3.1	300	閃緑岩	第24308-	7
5	342	HY7	磨利	f	1A+ⅢA+C3	8.2	6.9	3.7	300	閃緑岩	第24708-	9
6	335	HY7	磨利	f	1B+ⅢA+C3	10.8	5.4	3.2	200	砂 岩	第24808-	3
7	394	HY7	磨利	f	1B+ⅢA+C3	8.6	(6.4)	3.2	230	砂 岩	第24708-	10
8	347	HY7	磨利	f	1B+ⅢA+C6	9.7	5.8	3.5	300	安山岩	第24708-	7
9	418	HY7	磨利	f	1B+ⅢD+C9	12.7	5.9	2.7	300	砂 岩	第24808-	1
10	317	HY7	磨利	f	1B+ⅢA+C9	10.0	6.9	4.7	470	安山岩	第24708-	5
11	341	HY7	磨利	f	1B+ⅢA+C10	14.0	6.4	3.1	300	安山岩	第24708-	8
12	346	HY7	磨利	f	1A+ⅢD+D'2	11.1	9.5	4.1	600	砂 岩	第24708-	4 タクナ例有り
13	343B	HY7	磨利	f	1B+ⅢA+D'1	11.0	8.1	4.9	630	砂 岩	第24808-	2
14	344	HY7	磨利	f	1B+ⅢA+D'1	(9.5)	6.3	5.0	500	砂 岩	第24708-	6
15	322	HY8	磨利	f	1B+ⅢA+C3	10.2	(4.9)	2.6	240	砂 岩	第24808-	12 欠損例有り
16	323	HY8	磨利	f	1B+ⅢA+D'1	13.0	8.5	5.0	750	安山岩	第24808-	11
17	415	HY9	磨利	f	1B+ⅢA+C7	12.5	7.7	5.4	750	安山岩	第24908-	7
18	400	HY9	磨利	f	1B+ⅢA+C7	12.0	7.0	3.2	390	砂 岩	第24908-	8
19	407	HY9	磨利	f	1B+ⅢA+C13	14.0	4.9	2.9	230	泥 岩	第24908-	4
20	405B	HY9	磨利	f	1B+ⅢC+D'3	16.5	7.0	4.9	850	安山岩	第24908-	6
21	404	HY9	磨利	f	1B+ⅢA+D'1	13.5	7.7	5.0	820	安山岩	第24908-	5
22	332	HY10	磨利	f	1B+ⅢA+C3	11.2	7.2	2.7	350	閃緑岩	第24908-	14
23	336	HY11	磨利	f	1B+ⅢA+C1	12.8	6.7	4.1	500	安山岩	第25008-	7
24	334	HY11	磨利	f	1A+ⅢA+C6	9.4	8.0	3.7	420	閃緑岩	第25008-	8
25	414	HY12	磨利	f	1B+ⅢA+C2	10.1	5.9	2.5	190	砂 岩	第25008-	11
26	337	HY12	磨利	f	1B+ⅢA+C3	(9.1)	7.2	3.8	350	砂 岩	第25008-	12 欠損例有り
27	401B	HY13	磨利	f	1A+ⅢD+C1	8.5	8.1	(2.4)	220	安山岩	第25108-	17
28	412	HY13	磨利	f	1B+ⅢA+C1	(8.8)	5.6	4.5	310	砂 岩	第25108-	15
29	384	HY13	磨利	f	1A+ⅢA+C10	12.7	8.4	4.3	680	安山岩	第25108-	14
30	329	HY13	磨利	f	1B+ⅢA+C10	9.5	6.5	5.2	420	砂 岩	第25108-	16 構成面有り
31	428	アリーナ (遺構外)	磨利	f	1B+ⅢA+C6	10.6	7.8	4.3	480	安山岩	第25208-	26
32	375	アリーナ (遺構外)	磨利	f	1B+ⅢA+C9	11.2	6.1	3.0	250	安山岩	第25208-	27

第5節 第VI次調査

I 調査の経過『第253図、第254図』

今年度の調査区には、第I次調査区（大型住居跡）の南東地域であり、河岸段丘の直下に位置している。平成2年度に実施した第IV次調査と北西方向が一部重複し、さらに平成3年度調査の第V次調査区とも重複する。

調査面積はトレント調査箇所も含め、約262m²であった。

調査開始にあたり、発掘作業や記録作業等を計画的に進めるため、調査区全体に2m×2mを一単位として、グリットを設定した。このグリット設定は、遺跡全体を把握するため、第I次から第V次調査時のグリットと整合する。

次いで、遺構確認面まで手掘での表土剥離を行う。

今回の調査区の遺構確認面は平成2年度及び平成3年度の遺構検出面の下層に存在し、既に第V次調査時で下層にも遺構が存在することが判明していることから、その状況を確認する目的で実施するものであり、今回の遺構確認面は、表土から約1m～1.5mに相当する。

面整理後、遺構確認を行った結果、住居跡5棟を確認した。南側のBトレントからは、縄文前期初頭の土器片よりも縄文中期の土器片が比較的多く確認された。

この調査区は地山がシルト質であり、トレント南方には縄文中期に位置する遺構の存在が推測される。

トレントの西方部にはHY18の存在が明らかになる。第254図で示すようにHY18とHY16の間には2棟から3棟存在するものと予想される。これらの住居跡群の中でHY14を、床面まで掘り下げる。

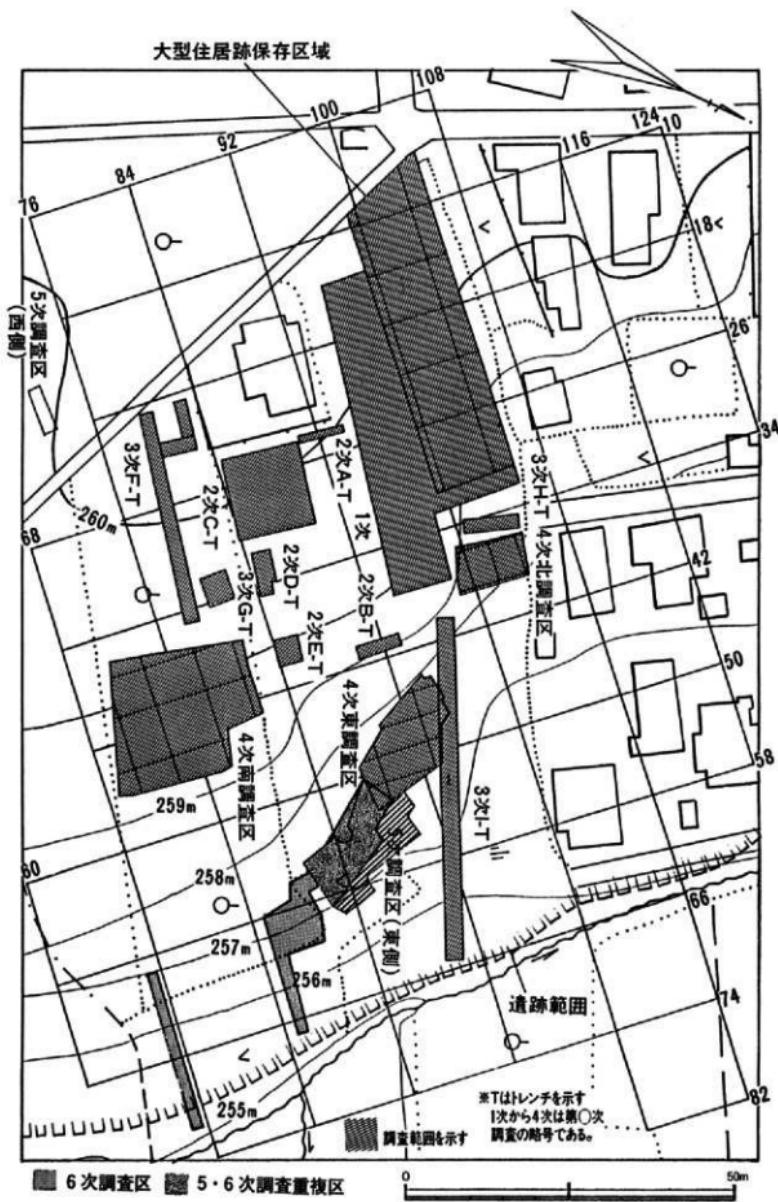
11月14日から掘り下げを開始し、11月17日で完了した。遺物は大型住居跡と比較すると少ないが、第VI次調査・第V次調査で確認された住居跡にはほぼ共通している。

11月13日に文化庁の河原主任調査官が来遣し、今回の住居跡群を仮称「連房式住居跡」と呼んではどうかと、提案された。来年度も維続して調査を実施することにし、11月20日に埋め戻した。11月21日に発掘用具を撤収し、VI次調査を終了する。

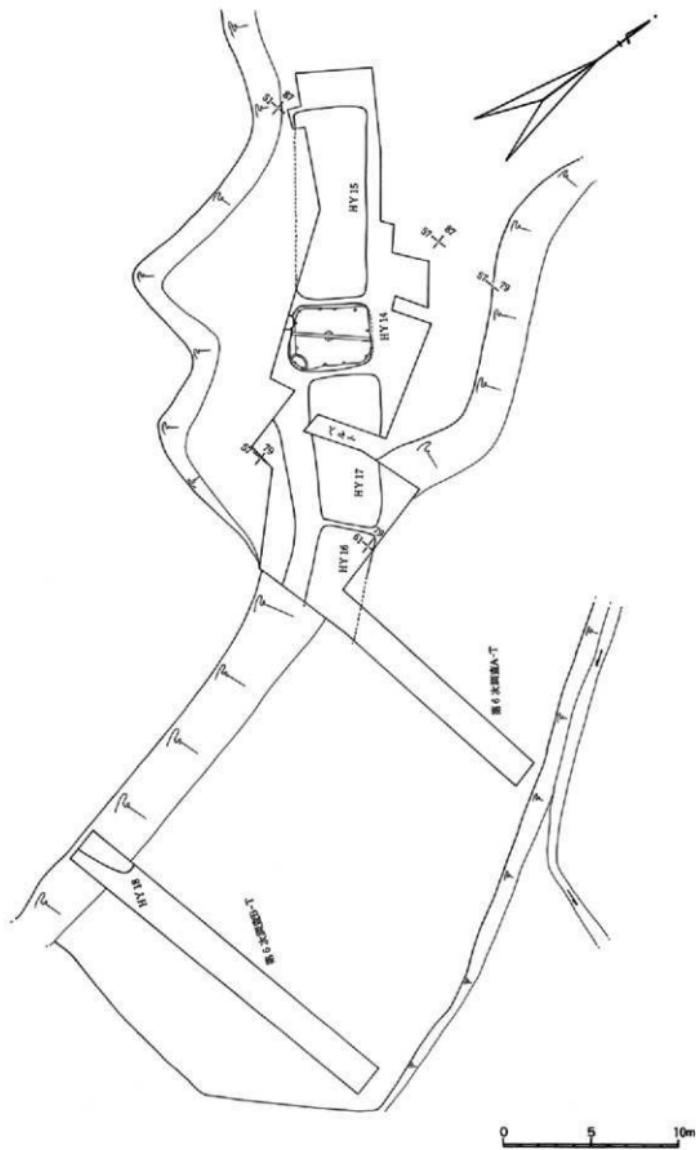
II 検出された遺構

今回のVI次調査で検出した遺構は、竪穴住居跡HY14～HY18の5棟とDY5の土壙1基であった。第254図で示すように、竪穴住居跡は段丘直下の調査区全域にわたって認められ、このうちHY14を完掘した。他の住居跡はプラン確認で留める。

これらの竪穴住居群は、第IV次・第V次調査区の下層面からの検出で、地山を掘込んで構築



第253図 一ノ坂遺跡第1次～第VI次調査グリッド配図



第254図 一ノ坂遺跡第VI次調査造構全体図

している。このことは、第Ⅰ次調査で検出された大型竪穴住居跡の年代との関係が今後の課題となる。

平面形状は、長方形を呈するのが基本であるが、完掘したHY14は隅丸方形プランを示していた。これらの遺構群について、下記に述べる。

1) 竪穴住居跡

北よりHY15、14、17、16、18の5棟がある。

- HY14『第254図、第255図』

〈平面形状〉

HY17とHY15の間にあり、東西方向に主軸長を有し、長径4.6m、短径3.4mを測る。

〈柱穴跡〉

柱穴は、P1～P13の13本が確認された。柱の間隔は80cm～100cmで、深さは20cm～60cmと深い。柱の太さは20cmと一定している。

〈壁の状況〉

壁は内側に入り込んだフラスコ状をなし、北壁のみが直角に立ち上がる。覆土は22枚で、人工堆積状況を呈し、砂利、礫を多量に含んでいる。意図的に埋められたものと推測される。

〈炉跡〉

床面は平坦で、西から東にかけて僅かに傾斜しており、中央部に炉跡が認められる。炉跡は浅いポール状を呈し、長径141cm、短径123cm、深さ6cmを測り、焼土が認められた。

〈検出遺物〉

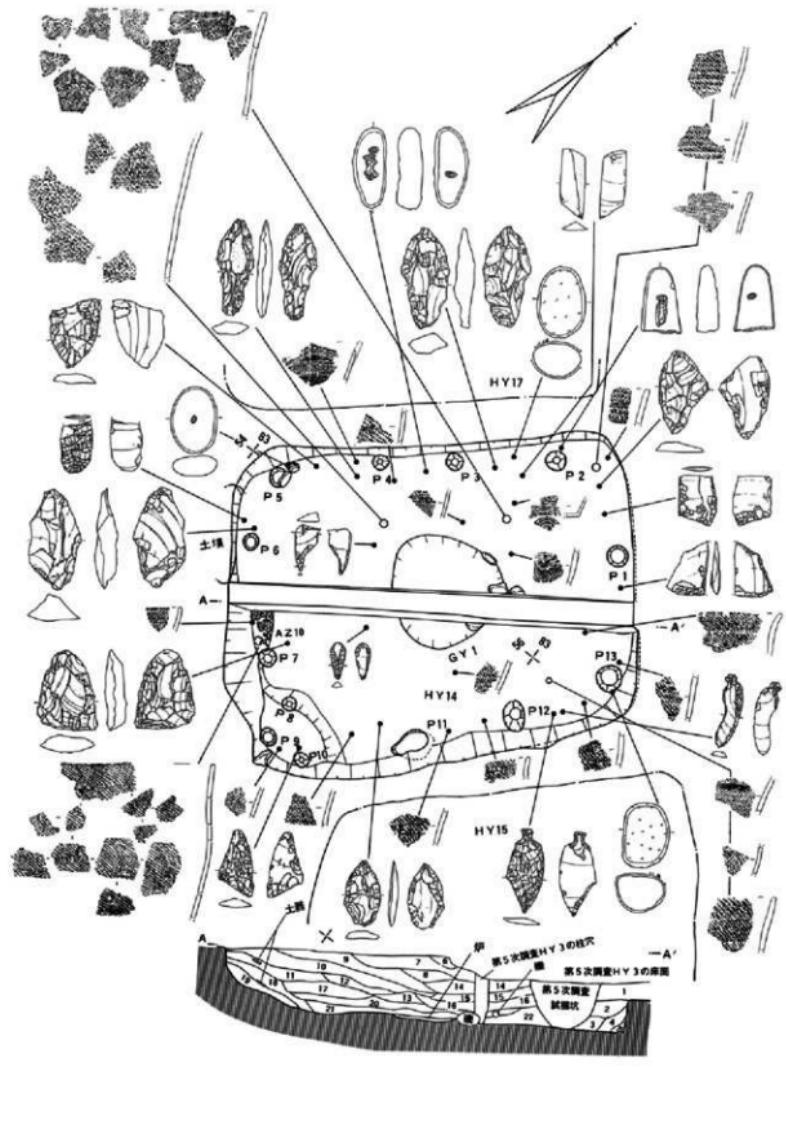
遺物は石匙3点、石鋸2点、石錐3点等の分類石器16点と剥片187点、一括土器2点を含む土器片229点、それに礫器5点の437点がある。他にクルミの炭化物少量が出土している。剥片はチップが3分の1を占める。第255図の平面図で示すように、中央部にセクションベルトを残しており、一括土器AZ10がセクションベルトの中にも認められた。

- HY15『第254図』

HY14の北に位置し、今回検出した住居跡の中では、最も大型の住居跡である。長軸は11mを測り、短軸4mを有す。覆土に多量の礫、砂利を含む。第Ⅳ次調査の土壌が一部、重複する。平面の確認で留めた。

- HY16『第254図』

南側の調査区からの検出で、長さは不明であるが、HY15と同様な長方形プランを呈するものと想定している。住居跡の幅は3.3mを測る。覆土に少量の礫、砂利を含む。HY14の南に位置し、長軸8.6m、幅4mを測る。Aトレーンにより、プランを確認した。平面の確認で留



第255図 一ノ坂遺跡第VII次調査HY14平面図

めた。

・HY17『第254図』

HY14とHY16の間から確認されたもので、幅が4mを有し、長さが10m前後を占めると思われたが、第VII次調査で、さらにHY24が存在することが判明している。平面の確認で留めた。

・HY18『第254図』

Bトレーニチの西側から検出されたもので、南コーナー部が確認された。平面の確認で留めた。

2) 土壙

土壙はHY14の西側、壁直上に位置し、円形プランを示すもので、直径が約1mをなす。今回はプラン確認だけに留めた。

II 検出された遺物

VII次調査区から出土した遺物は、堅穴住居を中心に総数730点であった。これらの遺物は、石器・土器・礫器に分けられる。

以下に土器と石器に大別して述べる。

1) 出土土器『第256図、第257図、第259図、第260図』

土器は、HY14の住居跡出土の229点を筆頭に住居跡の確認面とグリット出土が141点の計370点が検出されている。いずれも磨滅が著しく、文様の判別される土器としては僅かであった。

ここでは、文様の良好に認められる57点を選別して以下、第1次調査の分類に従って簡単に説明を加える。

2) 出土土器の分類

第V次調査出土の土器には次の6群、8類が含まれる。

〈I群土器〉

ループ文を地文として構成するもので、I群a1類を中心にa1類・a2類・c1類めc1類の4類が含まれている。

・I群a1類=ループ文を全面に施すもの。

『第256図-3・4・6・8・9・12、第257図-8、第259図-7・9・10・12~15、160図版-43・46、第260図-11・13・14』

・I群a2類=ループ文を羽状に施すもの。

『第259図-11』

- ・ I群 b類=ループ文を地文とし、無文帯の区画文様を構成するもの。

『第256図-2・14』

- ・ I群 c1類=ループ文を地文とし、沈線文を主体に文様を構成するもの。

『第259図-8』

〈II群土器〉 単節繩文を地文として構成するもの。

- ・ II群 a類=単節繩文を全面に施すもの。

『第256図-1・7第2~6図第260図-1・2・15第260図-3・11・12』

- ・ II群 c1類=単節繩文を地文とし、沈線文を主体に文様を構成するもの。

『第257図-1』

〈V群土器〉 複節繩文を地文として構成するもの。

『第256図-5・10, 第259図-16, 第260図-16・17』

〈VI群土器〉 組紐繩文を地文として構成するもの。

『第259図-5』

〈VII群土器〉 結束繩文を地文として構成するもの。

『第256図-13・15, 第257図-7, 第259図-17, 第260図-4, 160図版-52』

〈VIII群土器〉

土器の部分片を一括したもので、沈線文・突刺文・竹管文等で文様を構成するものを本群とした。この中には地文を有するものも含まれているものと考えられる。

- ・ VIII群 b類=竹管文を主体としたもの。

『第260図-5』

- ・ VIII群 c類=突刺文を主体としたもの。

『第257図-9・10, 第259図-4・6, 第260図-10』

以上、出土土器の詳細は下記の第31表を参照。

3) 出土石器

第VI次調査出土の石器は、HY14の住居跡出土の208点を筆頭に住居跡の確認面とグリット出土が152点の計360点が検出されている。

4) 出土石器の分類

分類石器は、I群石器1点、II群石器26点、IV群石器3点、V群石器3点、VI群石器4点、VII群石器3点の合計40点が出土している。III群石器・VIII群石器・IX群石器・X群石器の出土は

認められなかった。

これらの石器について20点を作図した。分類・細類については、第Ⅰ次調査に準じ「第32表
一ノ坂遺跡第Ⅵ次調査出土石器観察表」を作成した。

〈I群石器〉

石錐に分類したもので、HY14からIA群IIb類に細類した形態が出土した。

〈II群石器〉

石匙に分類したもので、住居跡内の出土で占められる。両面調整で整形するIIA群が6点、
一ノ坂技法による片面調整で整形するIIB群が14点、薄型剥片を素材とする片面調整で整形す
るIIC群が6点となる。

これらII群石器の中で、完成品はIIB群の3点だけである。他は製作工程における断念品・
失敗品である。

IIA群は第Ⅰ段階での失敗品であるIIA群IA類が1点、第Ⅱ段階での失敗品であるIIA群
IIb類が1点、第V段階の失敗品であるIIA群V段階の断念品が1点、第VI段階での断念品・
失敗品が各1点ずつ出土。他のIIB類・IIC類も同様に細類した。

〈IV群石器〉

石錐に分類したもので、完成直前の第IX段階であるIV群K a類（2点）、第VII段階のIV群VI
a類（1点）の2形態がある。3点とも製作途上の断念品と考えられる。

〈V群石器〉

石錐に分類したもので、出土した3点ともつまみ部を整形したV群a類に細類される。錐部
・尖端部に使用痕は認められない。

〈VI群石器〉

石錐に分類したもので、基部が尖状を呈す形態のVI群a類が3点、小型のVI群f類が1点出
土。

VI群a類の第163図版34・37には、刃部再生が認められる。

〈VII群石器〉

搔器に分類したもので、第161図版10は削器に細類される。縁辺に使用痕が認められた。
他の同図版13・14は、本群石器の未完成品と考えられる。

5) 磨 器

凹石10点、磨石2点の合計12点が出土。第33表を参照。

VI 要 約

第V次調査でのHY7の住居跡の床面の精査の段階で、さらに下層にも遺構が存在することから、第V次調査で確認された住居跡群が南側にも存在するかどうかと下層の遺構の確認を前提に実施したものである。

その結果、第IV次調査と第V次調査で確認されたような竪穴住居は認められず、逆に下層より住居跡群が規則的に確認された。

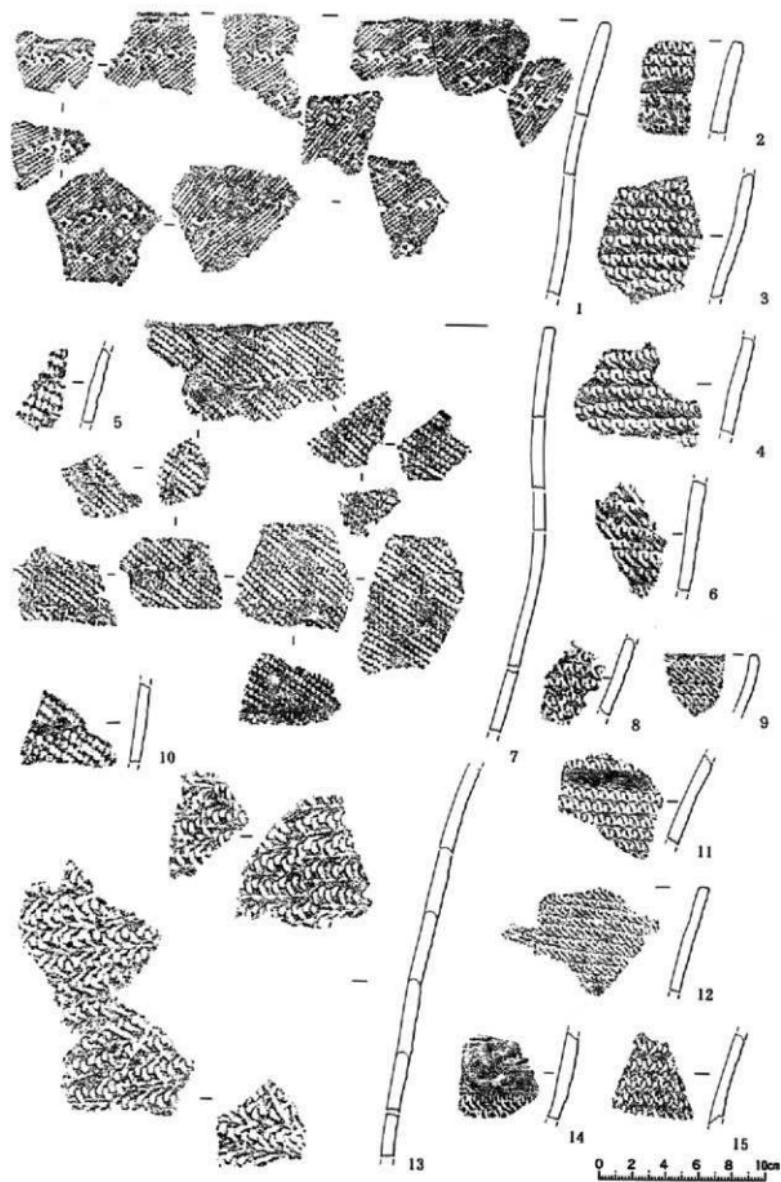
一部未調査のHY11・HY12等の4棟住居跡は、段丘側が果樹のため全面的な検出是不可能であったが、南側に認められなかったことで、ほぼ、第IV次と第V次調査の範囲に限定されると考えてよい。

しかも、今回新たに確認された住居跡は、土層の検討により、機能が失った直後に埋め戻され、客土を加えて整地し、第IV次・第V次調査で検出した住居後群を構築したことも判っている。

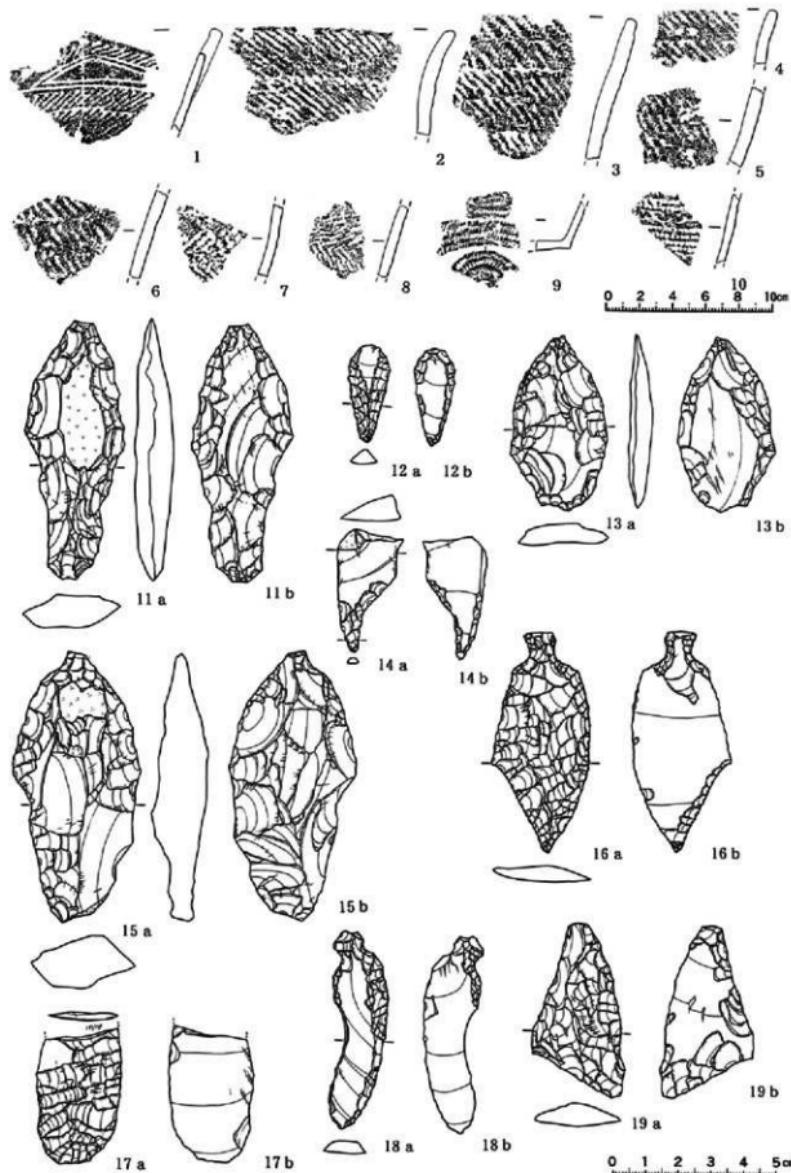
さて、今回の竪穴住居跡群は、段丘に沿って、南北に4棟が同一方向で構築されている。住居跡との間隔を30cm～50cmと極端に狭いのが特徴で、さらに南側に続いていることも判った。

この竪穴住居跡は、異常に隣接しているが、切り合い関係は認められず、また、個々の住居跡として存在するものとは考えられないことから単一の大型住居の変形と考えたい。

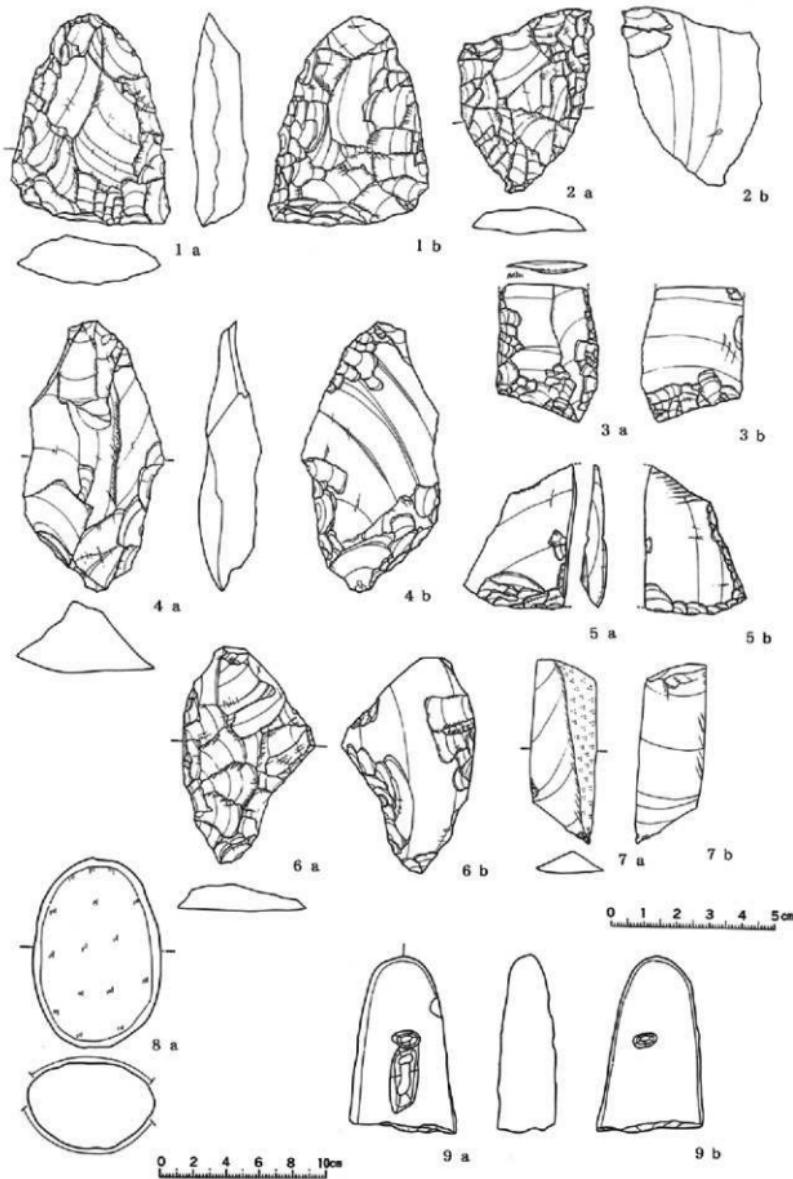
この種の住居跡は、これまでの縄文時代の遺跡から検出された例はなく、特異なものであることから「連房式竪穴住居」と仮称した。



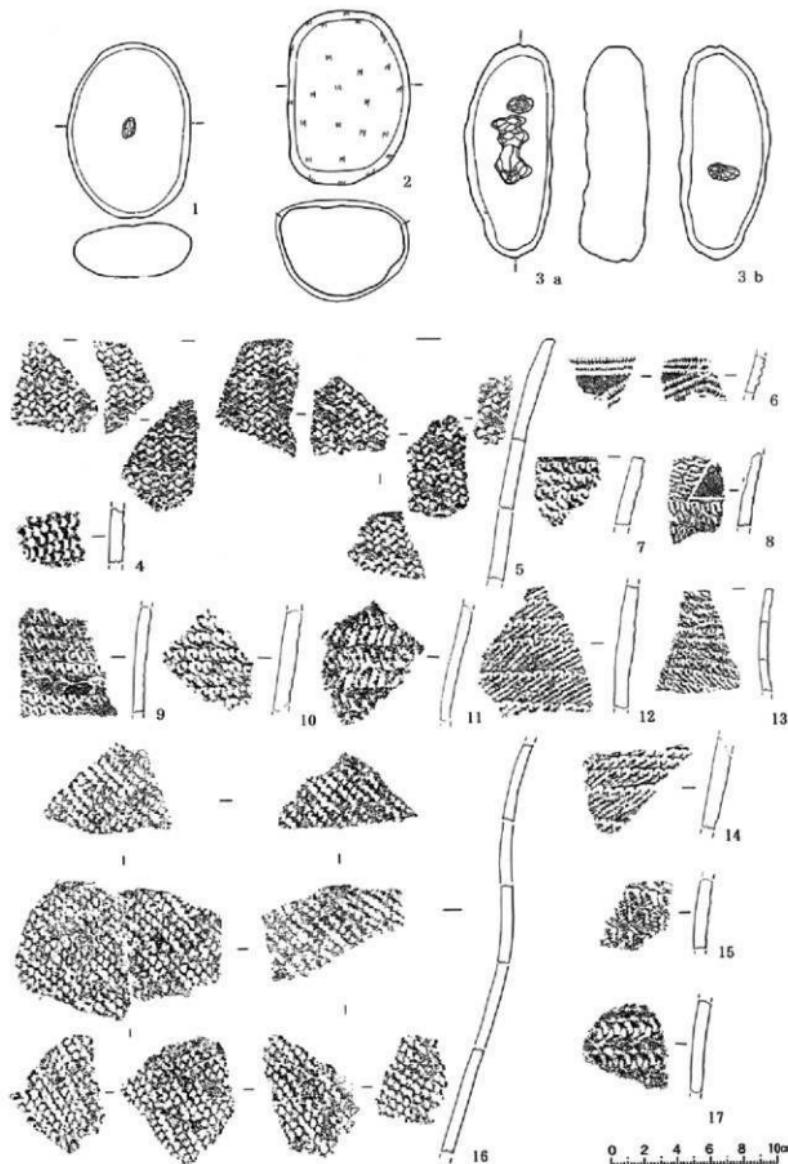
第256図 一ノ坂遺跡第Ⅵ次調査出土土器拓影・石器実測図(1)



第257図 一ノ坂遺跡第VI次調査出土土器拓影・石器実測図(2)



第258図 一ノ坂遺跡第VI次調査出土土器拓影・石器実測図(3)



第259図 一ノ板遺跡第VI次調査出土土器拓影・石器実測図(4)